

男 女 共 同 参 画 に 関 する

ア ン ケ ー ト

＝ 調 査 結 果 報 告 書 ＝

1. 調査概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査の概要	1
(3) 報告書の見方	1
2. 回答者の属性	3
(1) 性別	3
(2) 年齢	4
(3) 職業	5
(4) 婚姻状況	6
(5) 配偶者、パートナーの職業	7
(6) 家族構成	8
(7) 中学校区	9
3. 家庭生活の意識	10
(1) 家事・日常的な行為を行っている人	10
(2) 家事・育児に携わる平均的な時間	12
(3) 家庭生活に関する意識	13
4. 子育てに関する意識	16
(1) 男らしさ・女らしさについて	16
(2) 子どもの育て方について	17
(3) 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てた方がよい理由	18
(4) 個性を尊重するように育てた方がよい理由	19
(5) 子育てをしながら働く悩み	20
(6) 子どもの男女共同参画意識を育てるために力を入れること	21

5. 仕事と生活の調和	22
(1) 就業の理由	22
(2) 仕事をやめざるを得なかったことの有無	23
(3) 仕事をやめざるを得なかった理由	24
(4) 女性の仕事について望ましい形	25
(5) 育児や介護のための休業制度について	26
(6) 休業制度の取得について	28
(7) 育児や介護のための休業制度を取得できなかった理由	29
(8) 男性の育児・介護休業制度の取得について	30
(9) 職場での待遇について	31
(10) 職場での待遇の具体的な事例	32
(11) 生活の中で優先させたいもの（希望）・優先しているもの（現実）	33
(12) ワーク・ライフ・バランスの認知度	35
(13) ワーク・ライフ・バランス実現のための努力	36
(14) ワーク・ライフ・バランス実現のためにしていること	37
(15) ワーク・ライフ・バランス実現のために必要なもの	38
6. 地域活動	39
(1) 地域活動への参加状況	39
(2) 参加している地域活動	40
(3) 地域活動に参加しない理由	41
(4) 今後地域で活動したいもの	42
7. ドメスティック・バイオレンス	43
(1) ドメスティック・バイオレンスの有無	43
(2) ドメスティック・バイオレンスの相談	45
(3) だれにも相談しなかった理由	46
(4) ドメスティック・バイオレンスに対して必要な行政の対応	47
8. 男性と女性の立場やありかた	48
(1) 男性・女性の立場やありかたについて	48
9. 市政への女性意見の反映	51
(1) 社会問題や市政への関心の有無	51
(2) 市の施策への女性の意見の反映	52
(3) 市の施策に女性の意見が反映されていない理由	53
10. 男女共同参画に関する考え方	54
(1) 男女共同参画に対してできること	54
11. 自由意見	55
12. 調査票	66

1

調査概要

(1) 調査の目的

本調査は、市民の男女共同参画に対する意識を把握するとともに、平成24年度に予定している第3次安城市男女共同参画プランの基礎資料とすることを目的として実施しました。

(2) 調査の概要

調査対象は、安城市に在住の20歳以上の男女の中から無作為に抽出した2,000名を対象に配布・回収を行い、平成23年12月1日から12月15日までを調査期間として実施しました。

配布数2,000票に対し回収数は972票、回収率は48.6%でした。このうち無効票(回答のないもの)が3票あり、有効回収数は969票、有効回収率は48.5%となりました。

表1-1 配布・回収結果

調査対象	安城市在住の20歳以上の男女
抽出方法	無作為抽出
調査方法	行政連絡員による配布と郵送による回収
調査時期	平成23年12月
配布数	2,000票
回収数	972票
回収率	48.6%
無効票数	3票(無回答)
有効回収数	969票
有効回収率	48.5%

(3) 報告書の見方

○グラフは、帯グラフ、ダンゴグラフの2種類を必要に応じて使い分けています。具体的には、単数回答の単純集計、クロス集計結果には横帯グラフを使用し、複数回答のクロス集計にはダンゴグラフを使用しています。

○図中の構成比(%)は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのため、複数回答はもちろんのこと、単数回答の場合でも必ずしも合計は100.0%になりません。

○グラフ内の「n=〇〇」は、その回答母数を表しています。

○一部のグラフについて、クロス集計上の「回答なし」を省略しているものがあります。

○表、グラフ等の見出しおよび文章中の選択肢の表現については、趣旨が変わらない程度に簡略化しているものがあります。

○性別・年齢別などクロス集計の結果については、全体と比較しておよそ±5%以上の差異がある場合に、分析結果を言及しています。

2 回答者の属性

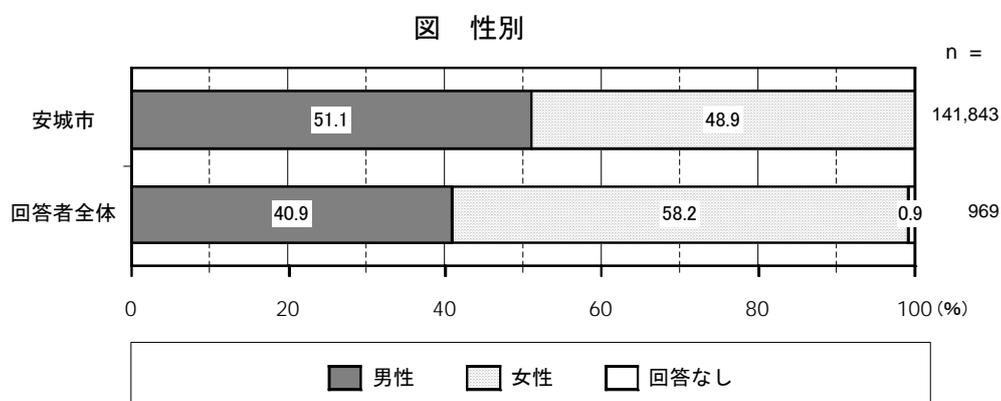
(1) 性別

問1 あなたの性別をお答えください。【○は1つ】

◆回答者の性別は、「男性」が40.9%、「女性」が58.2%と、女性が男性を上回っています。

○回答者の性別は、「男性」が40.9%、「女性」が58.2%と、女性の割合が高くなっており、女性の関心が高い傾向が伺えます。

○安城市の男女の構成割合（住民基本台帳：平成23年4月1日現在）は、「男性」が51.1%、「女性」が48.9%であり、回答者の性別と比較すると、男性で10.2ポイント低く、「女性」で9.3ポイント高くなっています。



(2) 年齢

問2 あなたの年齢をお答えください。【○は1つ】(平成23年12月1日現在)

◆回答者の年齢は、若年者層(20歳代・30歳代)で31.1%、壮年者層(40歳代・50歳代)で43.5%、高齢者層(60歳代・70歳代以上)で24.6%となっています。

○安城市の年齢構成は、「20歳代」が16.0%、「30歳代」が21.3%で、これらを合わせた若年者層は37.3%となっています。

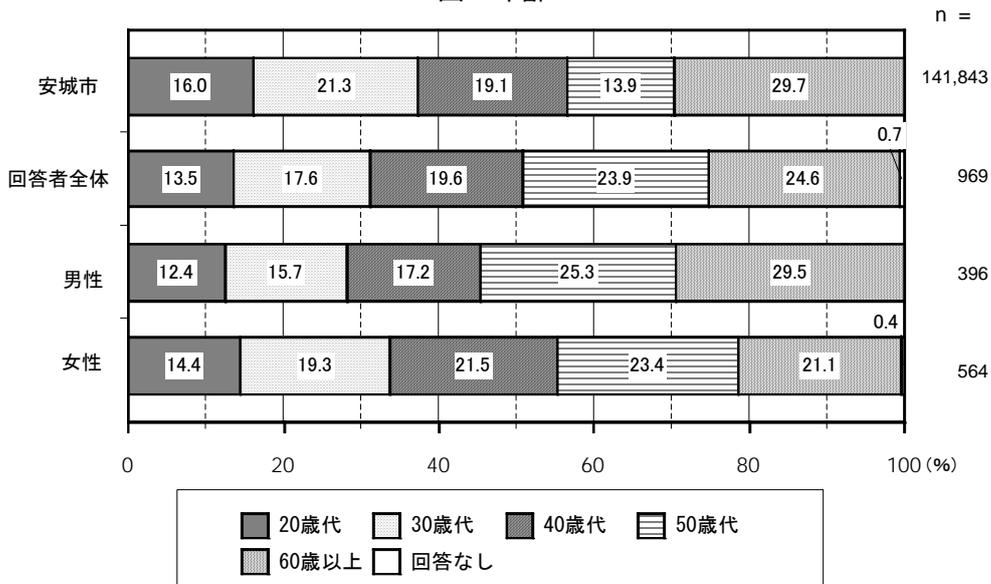
○壮年者層は、「40歳代」が19.1%、「50歳代」が13.9%で、これらを合わせ33.0%となっています。

○高齢者層は、「60歳代」が15.2%、「70歳代」が14.4%で、これらを合わせ29.7%となっています。

○回答者の年齢傾向を安城市の年齢構成と比較すると、“若年者層”で6.2ポイント低く、“壮年者層”で10.5ポイント高くなっています。

○性別でみると、ほとんどの年代で性別による回答割合に大きな差はありませんが、60歳以上のみ、男性が29.5%、女性が21.1%と男性の割合が若干高くなっています。

図 年齢



(3) 職業

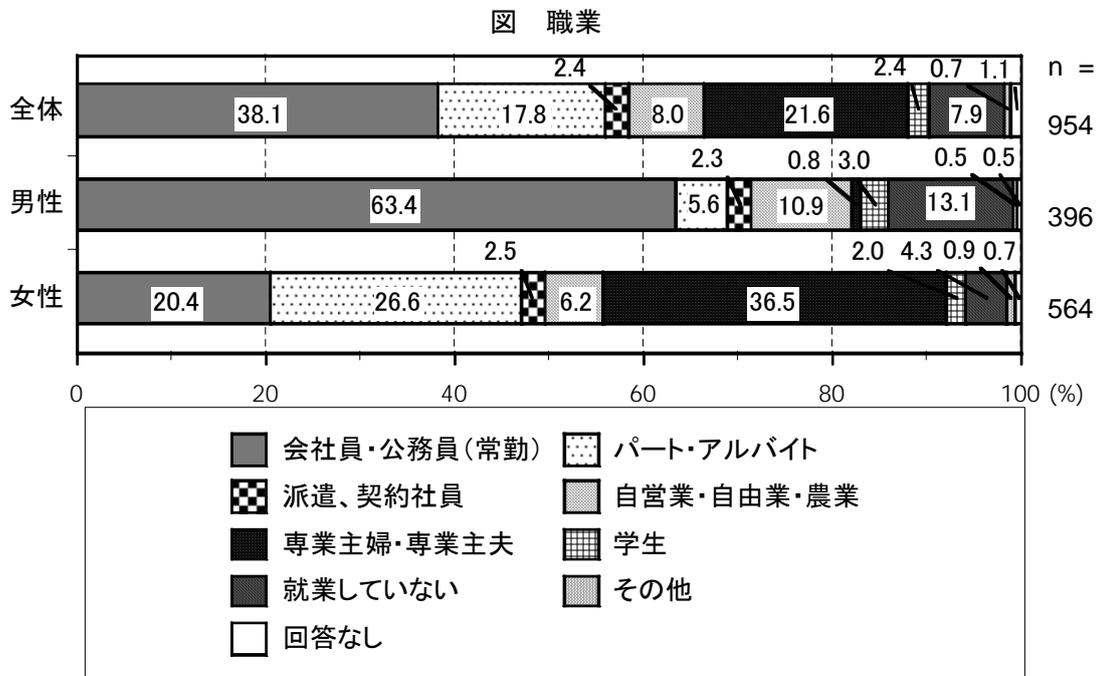
問3 あなたの主な職業についてお答えください。【〇は1つ】

◆就業者の割合は67.0%と非就業者の31.9%を上回っており、特に「会社員・公務員(常勤)」が全体の38.1%を占め、最も多くなっています。

○回答者の職業については、「会社員・公務員(常勤)」が38.1%と最も多くを占め、次いで、「専業主婦・専業主夫」が21.6%、「パート・アルバイト」が17.8%となっています。

○「専業主婦・専業主夫」(21.6%)と「学生」(2.4%)、「就業していない」(7.9%)を合わせた“非就業者”は、31.9%を占めています。また、この“非就業者”と「その他」(0.7%)「回答なし」(1.1%)を除いた、67.0%が“就業者”となっています。

○性別でみると、男性の82.2%が“就業者”であり、一方女性においては、“就業者”が55.7%、“非就業者”が42.8%となっており、おおよそ半々になっています。



(4) 婚姻状況

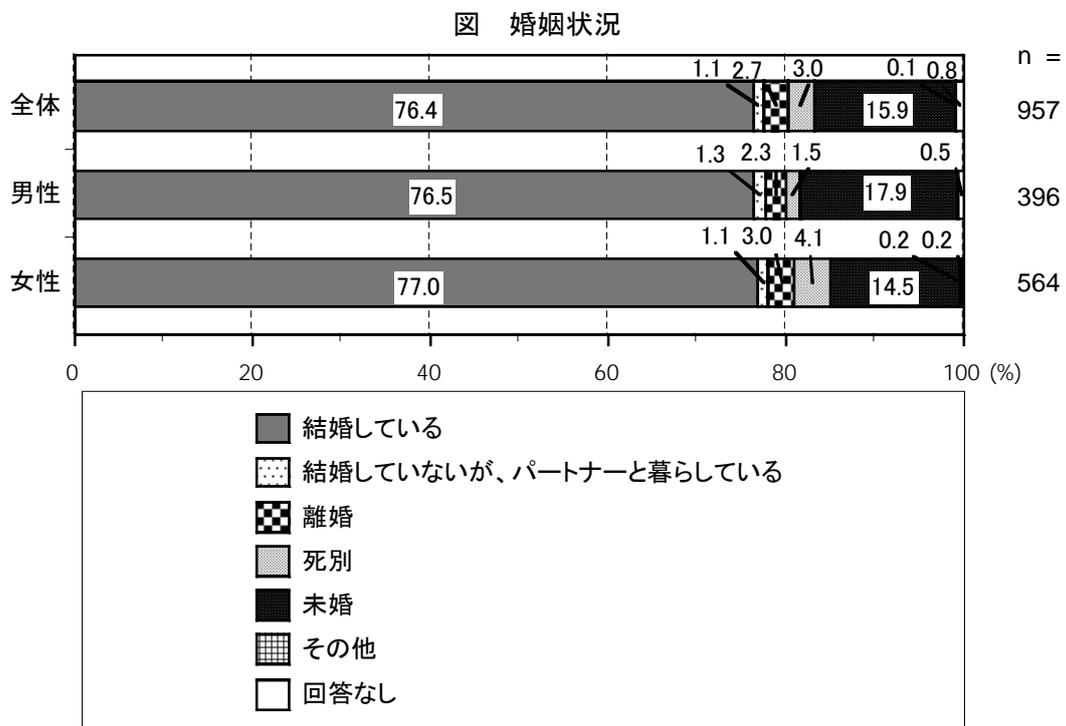
問4 あなたは、結婚していますか。【○は1つ】

◆回答者の婚姻状況は、「結婚している」が最も多く、76.4%を占めており、離婚・死別(5.7%)や「未婚」15.9%を上回っています。

○回答者の婚姻状況については、「結婚している」が76.4%と最も多くを占め、次いで、「未婚」が15.9%、「死別」が3.0%となっています。

○「既婚」(76.4%)と、「離婚」と「死別」を合わせた“離婚・死別”(5.7%)、「未婚」(15.9%)となっています。

○性別でみると、ほとんどの項目で性別による回答割合に大きな差はありません。



問4で「1」が「2」と答えた方におたずねします。

(5) 配偶者、パートナーの職業

問4-1 配偶者又はパートナーの主な職業についてお答えください。

◆回答者の配偶者、パートナーの職業は、就業者が72.4%、非就業者が25.6%となっており、特に「会社員・公務員(常勤)」が全体の46.2%を占め、最も多くなっています。

- 回答者の配偶者、パートナーの職業については、「会社員・公務員(常勤)」が46.2%と最も多くを占め、次いで、「パート・アルバイト」が14.1%、「専業主婦・専業主夫」が13.0%、「就業していない」が12.6%となっています。
- 「専業主婦・専業主夫」(13.0%)と「学生」(0.0%)、「就業していない」(12.6%)を合わせた“非就業者”は、25.6%を占めています。また、この“非就業者”と「その他」(0.5%)、「回答なし」(1.3%)を除いた、72.6%が“就業者”となっています。
- 性別で見ると、男性の配偶者の58.4%が“就業者”であり、女性の配偶者の82.3%が“就業者”である。女性の配偶者は、「会社員・公務員(常勤)」が65.0%で、男性の配偶者の19.5%を大きく上回っています。
- また、問3とクロス集計を行ったところ、回答者の共働きの状況は、“共働きである”が51.9%、“共働きでない”が46.2%となっています。

図 配偶者、パートナーの職業

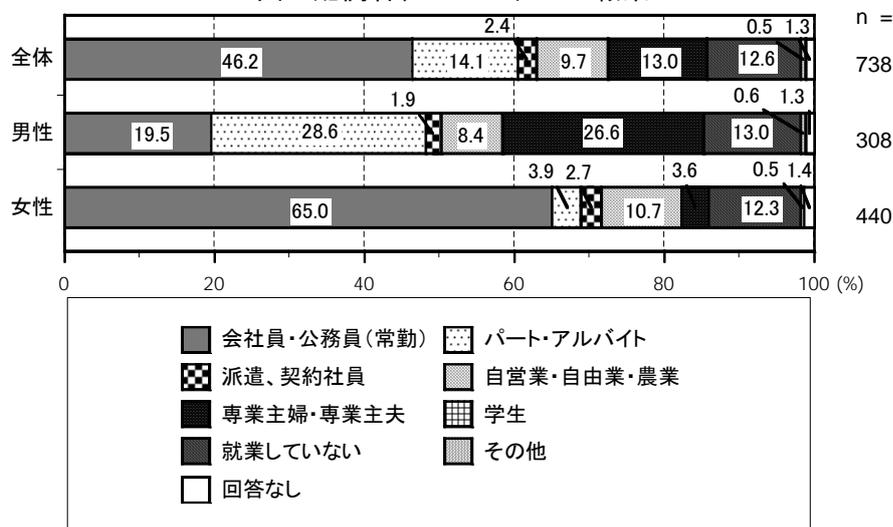
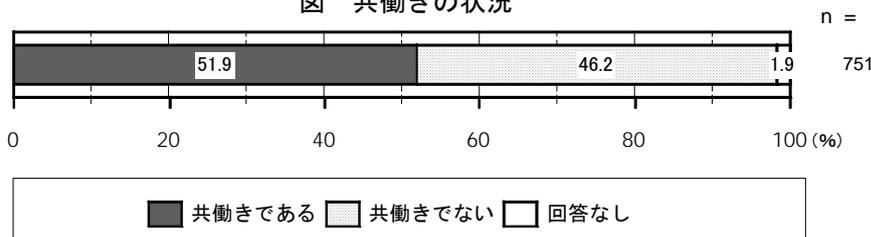


図 共働きの状況



(6) 家族構成

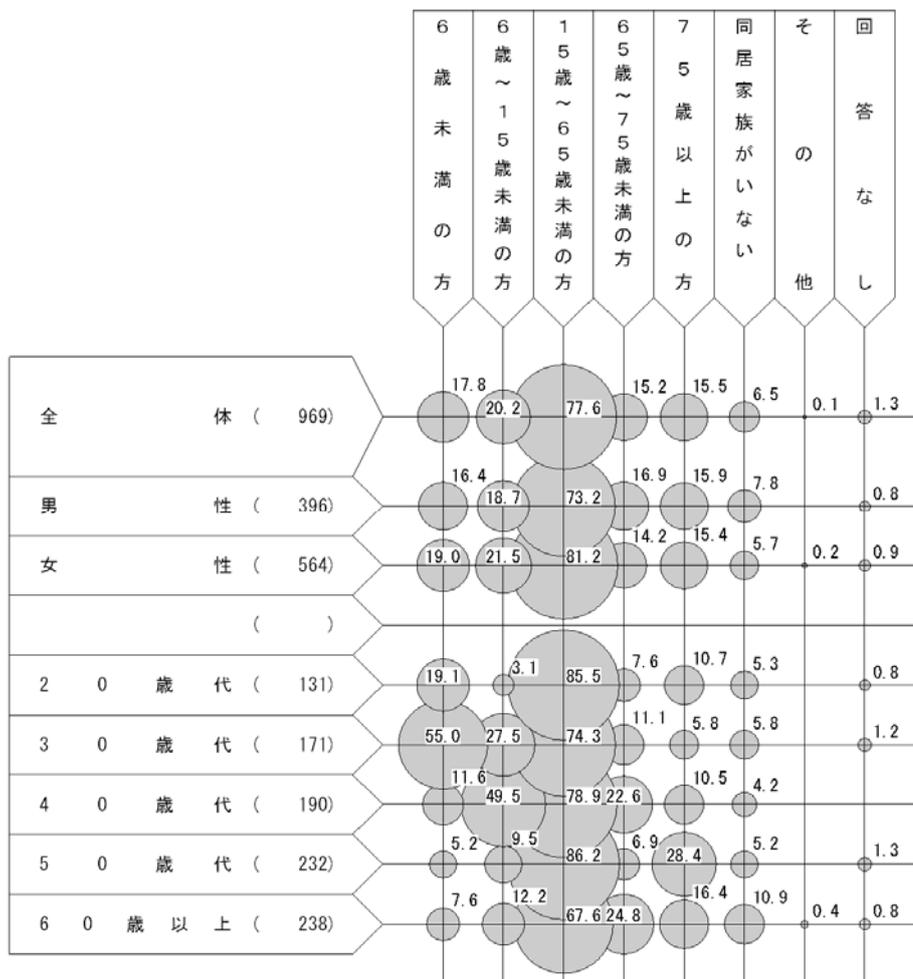
問5 あなた以外の同居家族を教えてください。【あてはまるものすべてに○】
(平成23年12月1日現在)

◆年齢別にみると、30歳代で「6歳未満の方」が55.0%と、他の年代よりも多くなっており、40歳代では「6歳～15歳未満の方」が49.5%と他の年代よりも多くなっています。

○回答者の同居家族について、「15歳～65歳未満の方」が、77.6%と最も多く、次いで、「6歳～15歳未満の方」が20.2%、「6歳未満の方」が17.8%となっています。

○年齢別にみると、30歳代で「6歳未満の方」が55.0%と、他の年代よりも多くなっており、40歳代では「6歳～15歳未満の方」が49.5%と他の年代よりも多くなっています。

図 家族構成



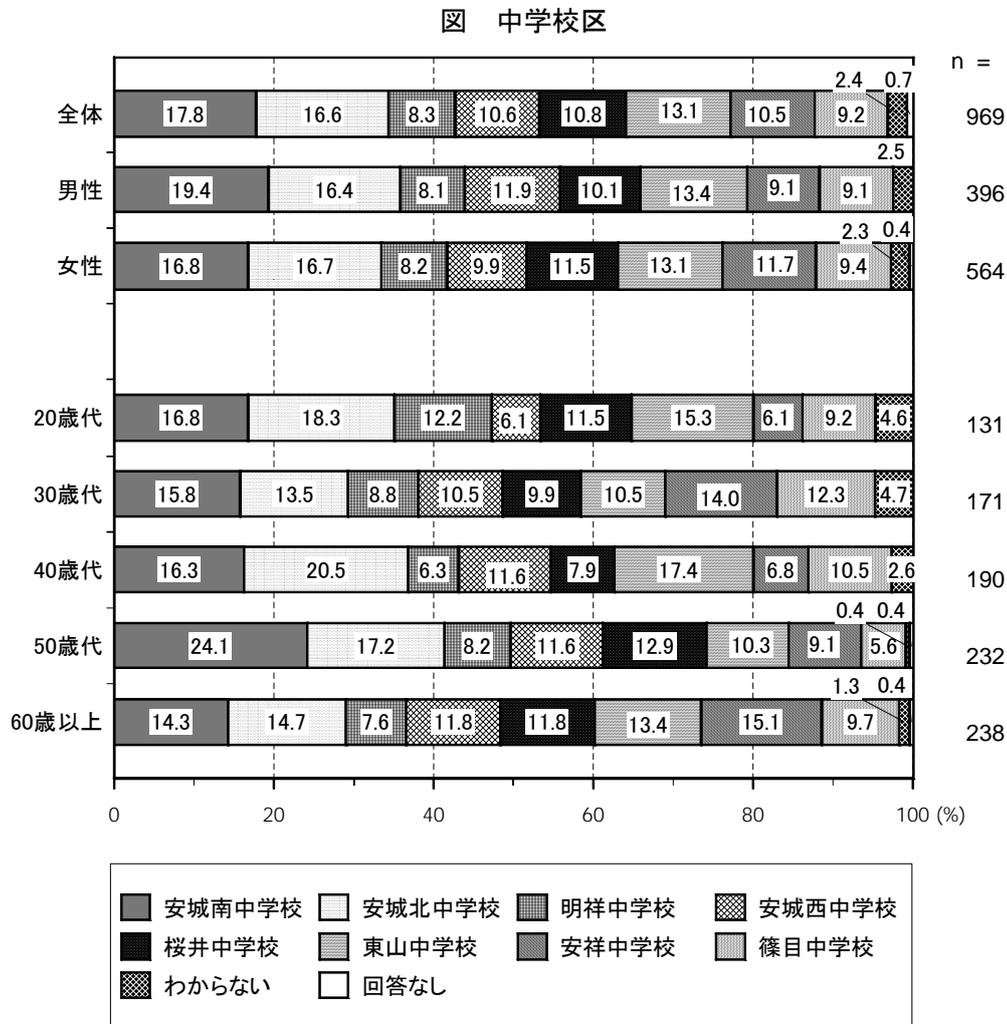
(7) 中学校区

問6 あなたが、現在お住まいの中学校区はどこですか。【○は1つ】
中学校区がわからない場合は、ご住所をお書きください。

◆○回答者が居住する中学校区は、「安城南中学校」が最も多く、17.8%、次いで、「安城北中学校」、「東山中学校」となっています。

○回答者が居住する中学校区は、「安城南中学校」が17.8%、「安城北中学校」が16.6%、「東山中学校」が13.1%、「桜井中学校」が10.8%、「安城西中学校」10.6%、「安祥中学校」が10.5%となっています。

○年齢別にみると、20歳代では「安城北中学校」が18.3%と最も高く、30歳代では「安城南中学校」が15.8%、40歳代では「安城北中学校」が20.5%、50歳代では「安城南中学校」が24.1%、60歳以上では「安祥中学校」15.1%となっています。



3

家庭生活の意識

(1) 家事・日常的な行為を行っている人（現状・理想）

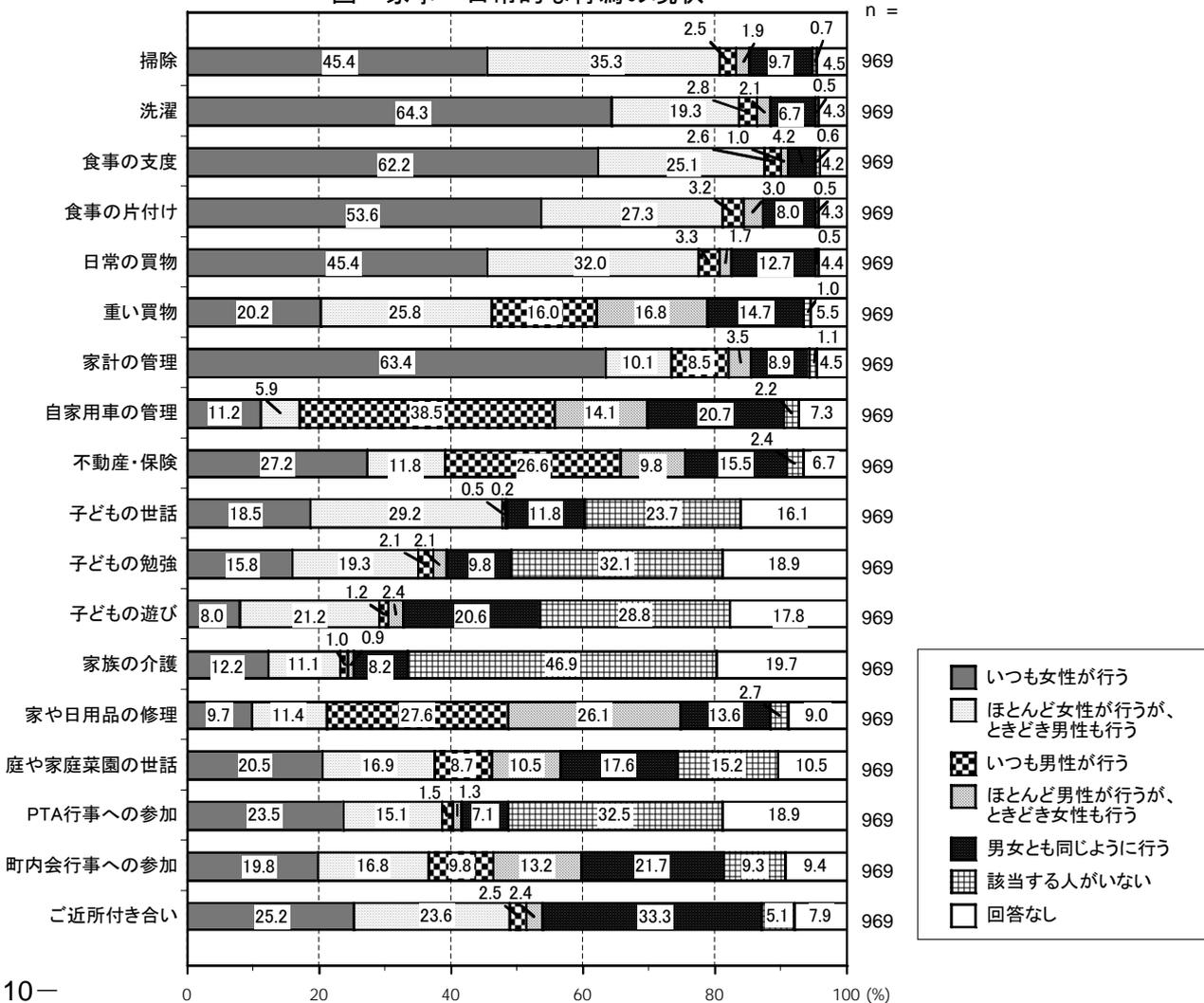
問7 次にあげる家事または日常的な行為は、だれが行っていますか。
現状と理想のそれぞれの枠に、1～6の数字を記入してください。

◆回答者の現状は、女性が主に行う家事・日常的な行為が、18項目中9項目となっており、特に「食事の支度」が8割を占め、最も多くなっています。

○「いつも女性が行う」と「ほとんど女性が行うが、ときどき男性も行う」を合わせた“女性が主に行う”家事・日常的な行為は、食事の支度が87.3%で最も多く、次いで、洗濯が83.6%、食事の片付けが80.9%、掃除が80.7%、日常の買い物が77.4%、家計の管理が73.5%となっており、7割を超えています。また、半数近くのものとして、ご近所付き合いが48.8%、子どもの世話が47.7%、重い買物が46.0%と、“女性が主に行う”家事・日常的な行為は、18項目中9項目となっています。

○一方、「いつも男性が行う」と「ほとんど男性が行うが、ときどき女性も行う」を合わせた“男性が主に行う”家事・日常的な行為で半数を超えているものは、家や日用品の修理（53.7%）、自家用車の管理（52.6%）の2項目に留まっており、女性の家事・日常の行為の負担の大きさが伺えます。

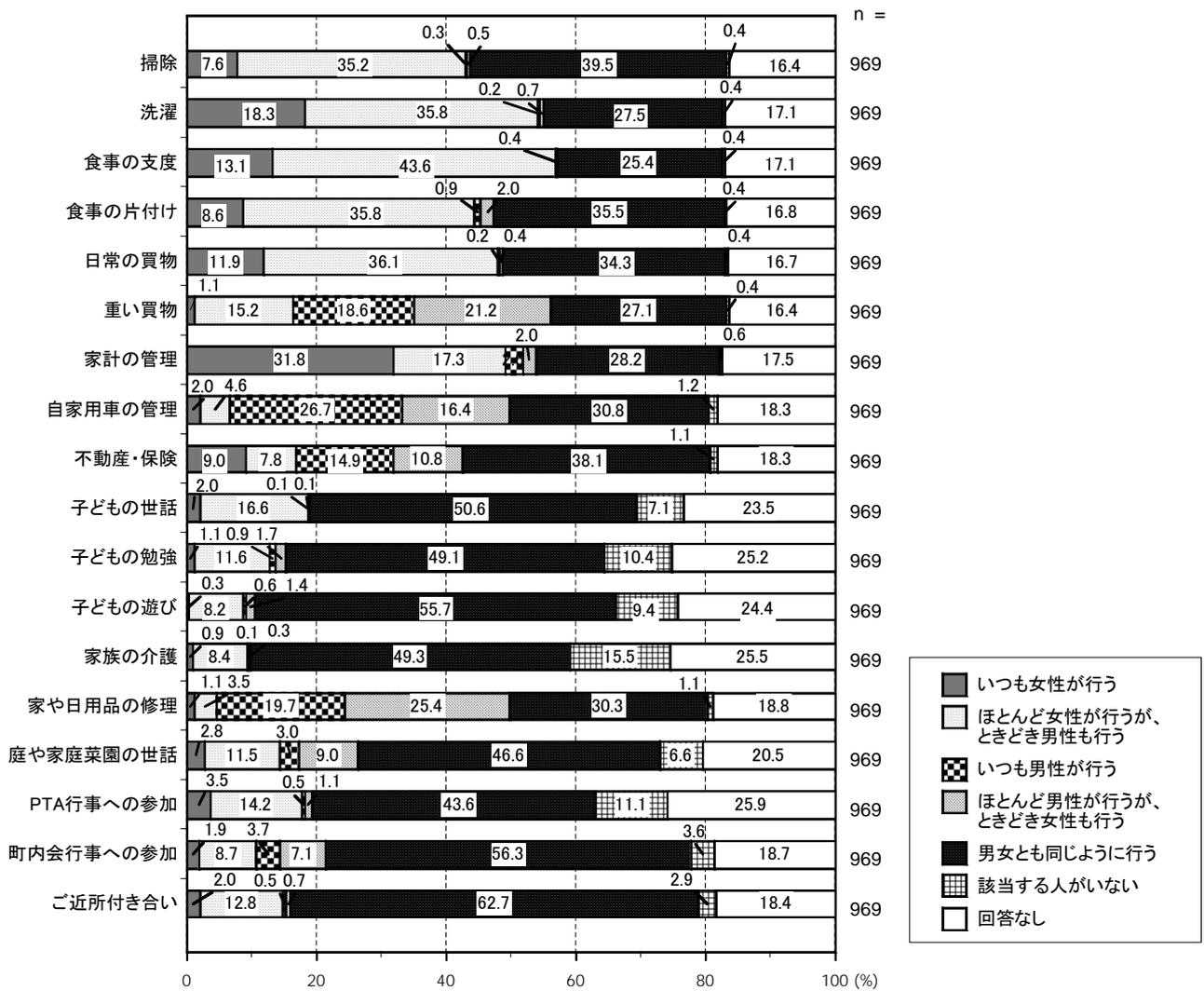
図 家事・日常的な行為の現状



◆回答者の理想は、女性が主に行う家事・日常的な行為は、食事の支度や洗濯、家計の管理などがおおよそ半数となっていますが、全ての項目で、「男女とも同じように行う」と回答している人の割合が、多くなっており、「家族の介護」(現状8.2%、理想49.3%)が41.1ポイント差と最も大きくなっています。

- 「いつも女性が行う」と「ほとんど女性が行うが、ときどき男性も行う」を合わせた“女性が主に行う”家事・日常的な行為は、食事の支度が56.7%で最も多く、次いで、洗濯が54.1%、家計の管理が49.1%、日常の買い物が48.0%、食事の片付けが44.4%、掃除が42.8%となっています。
- 一方、「いつも男性が行う」と「ほとんど男性が行うが、ときどき女性も行う」を合わせた“男性が主に行う”家事・日常的な行為は、家や日用品の修理が45.1%で最も多く、自家用車の管理が43.1%となっています。
- 現状と比較すると、全ての項目で、「男女とも同じように行う」と回答している人の割合が、多くなっており、「家族の介護」(現状8.2%、理想49.3%)が41.1ポイント差と最も大きくなっています。

図 家事・日常的な行為の理想



(2) 家事・育児に携わる平均的な時間

問8 あなたが、家事・育児に携わる平日一日あたりの平均的な時間はどのくらいですか。【○は1つ】

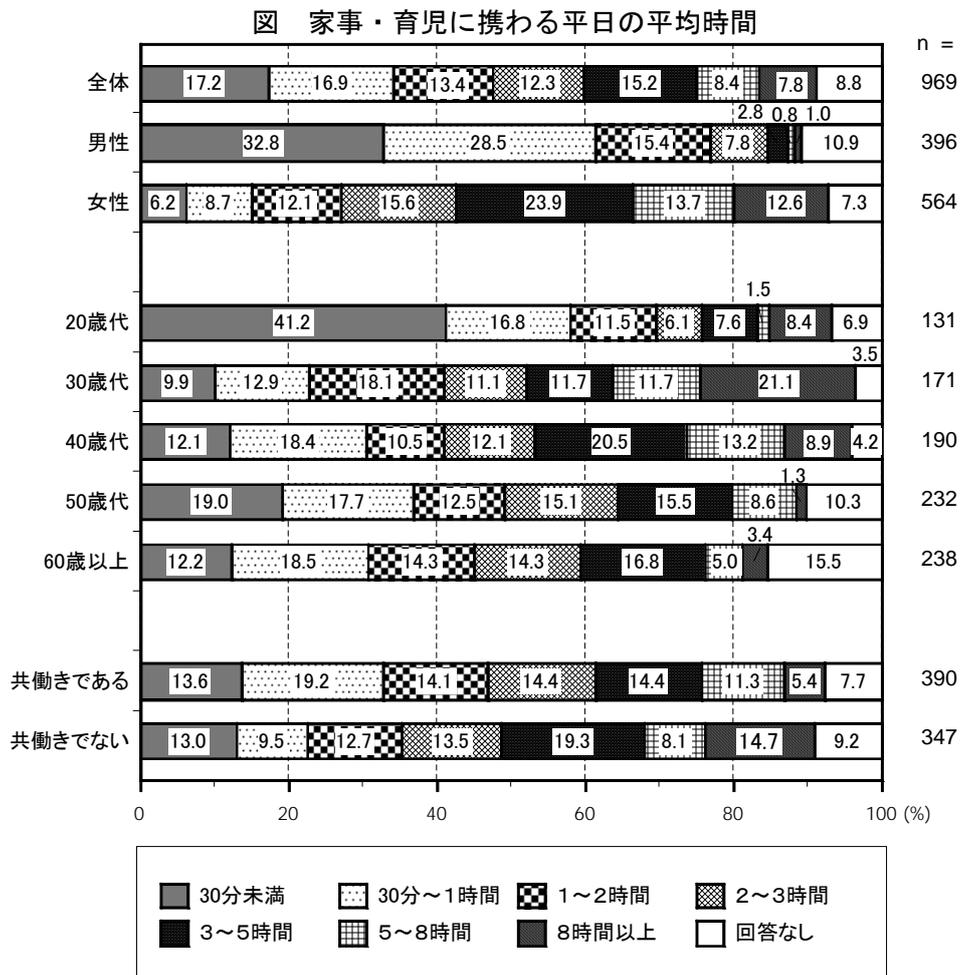
◆男性では、「30分未満」(32.8%)と「30分～1時間」(28.5%)を合わせた“短時間”が61.3%となっており、半数近くを占めていますが、女性では、14.9%に留まっています。

○家事・育児に携わる平均時間は、「30分未満」が17.2%と最も多く、「8時間以上」が7.8%と最も少なく、ほとんどの項目で回答割合に大きな差はありません。

○性別でみると、男性では、「30分未満」(32.8%)と「30分～1時間」(28.5%)を合わせた“短時間”が61.3%となっており、半数近くを占めています。また、女性では、“短時間”が14.9%に留まっています。

○年齢別にみると、20歳代では「30分未満」が41.2%であり、他の年代に比べ、高い割合になっていますが、これは、未婚や既婚でも子どものいない場合があるためだと推察されます。

○共働き別にみると、「30分未満」と「30分～1時間」を合わせた“短時間”は、共働きが32.8%であり、共働きでない22.5%と比較すると、10.3ポイントの上回っています。また、「5～8時間」と「8時間以上」を合わせた“長時間”は、共働きで16.7%であり、共働きでない22.8%と比較すると6.1ポイント下回っています。



(3) 家庭生活に関する意識

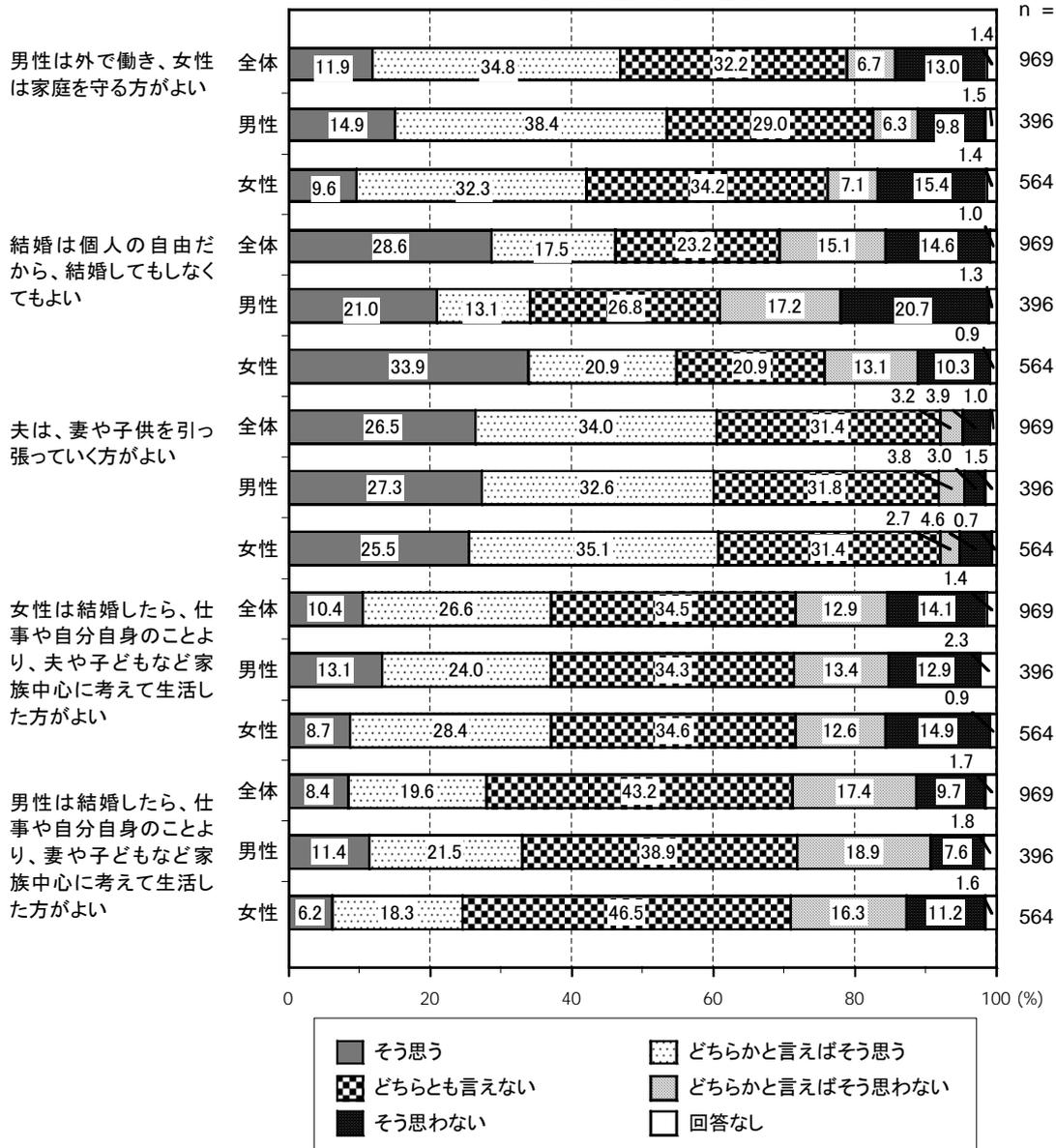
問9 次にあげる考え方について、あなたはどのように思いますか。それぞれの項目について、該当するものを選んでください。【それぞれ1つに○】

◆夫は、妻や子供を引っ張っていく方がよい、男性は外で働き、女性は家庭を守る方がよい、結婚は個人の自由だから、結婚してもしなくてもよいという考え方については、「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせた“賛成”が、おおよそ半数を占めています。

○夫は、妻や子供を引っ張っていく方がよいでは、「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせた“賛成”が60.5%、男性は外で働き、女性は家庭を守る方がよいについては46.7%、結婚は個人の自由だから、結婚してもしなくてもよいについては46.1%と、おおよそ半数を占めています。

○性別でみると、結婚は個人の自由だから、結婚してもしなくてもよいについては、“賛成”が女性では54.8%であり、男性の34.1%と比較すると、20.7ポイント上回っています。男性は外で働き、女性は家庭を守る方がよいについては、男性では53.3%であり、女性の41.9%と比較すると、11.4ポイント上回っています。

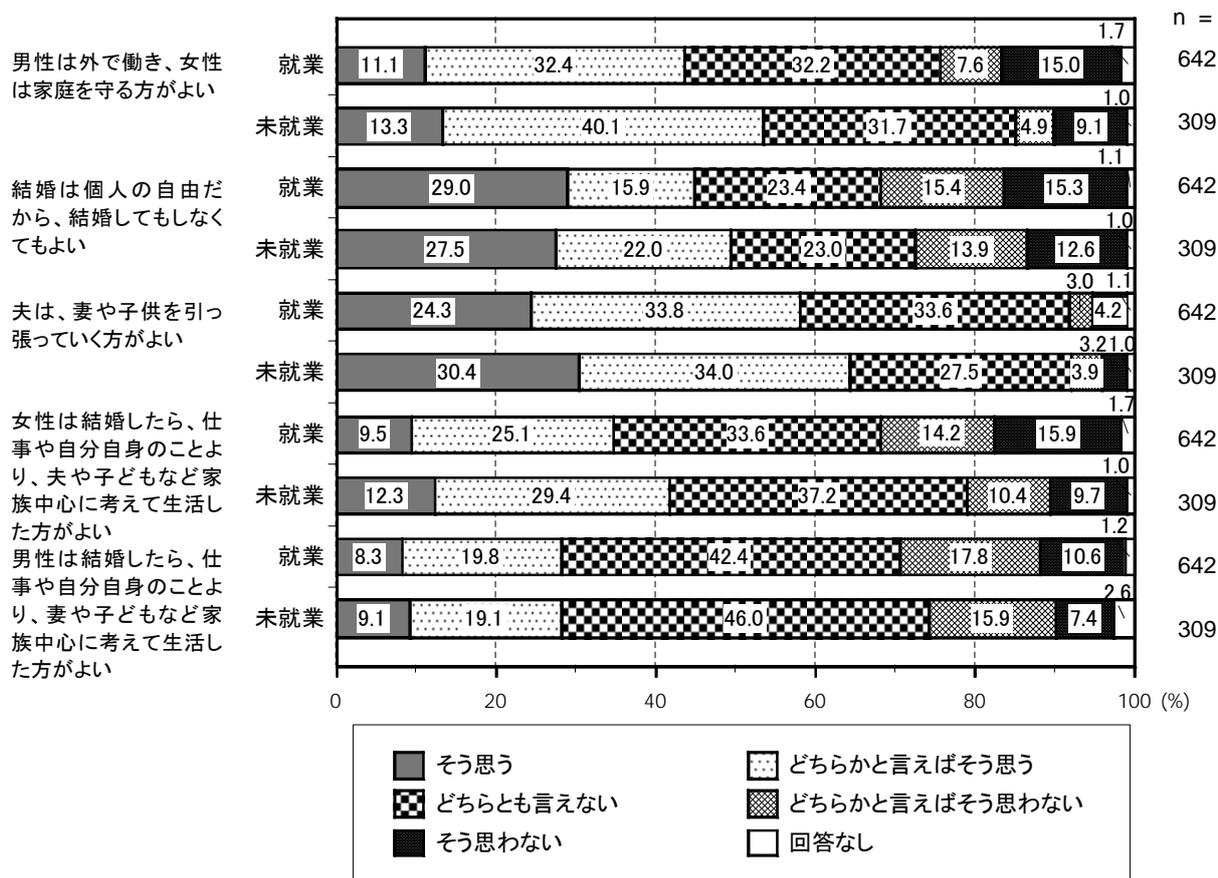
図 家庭生活の意識



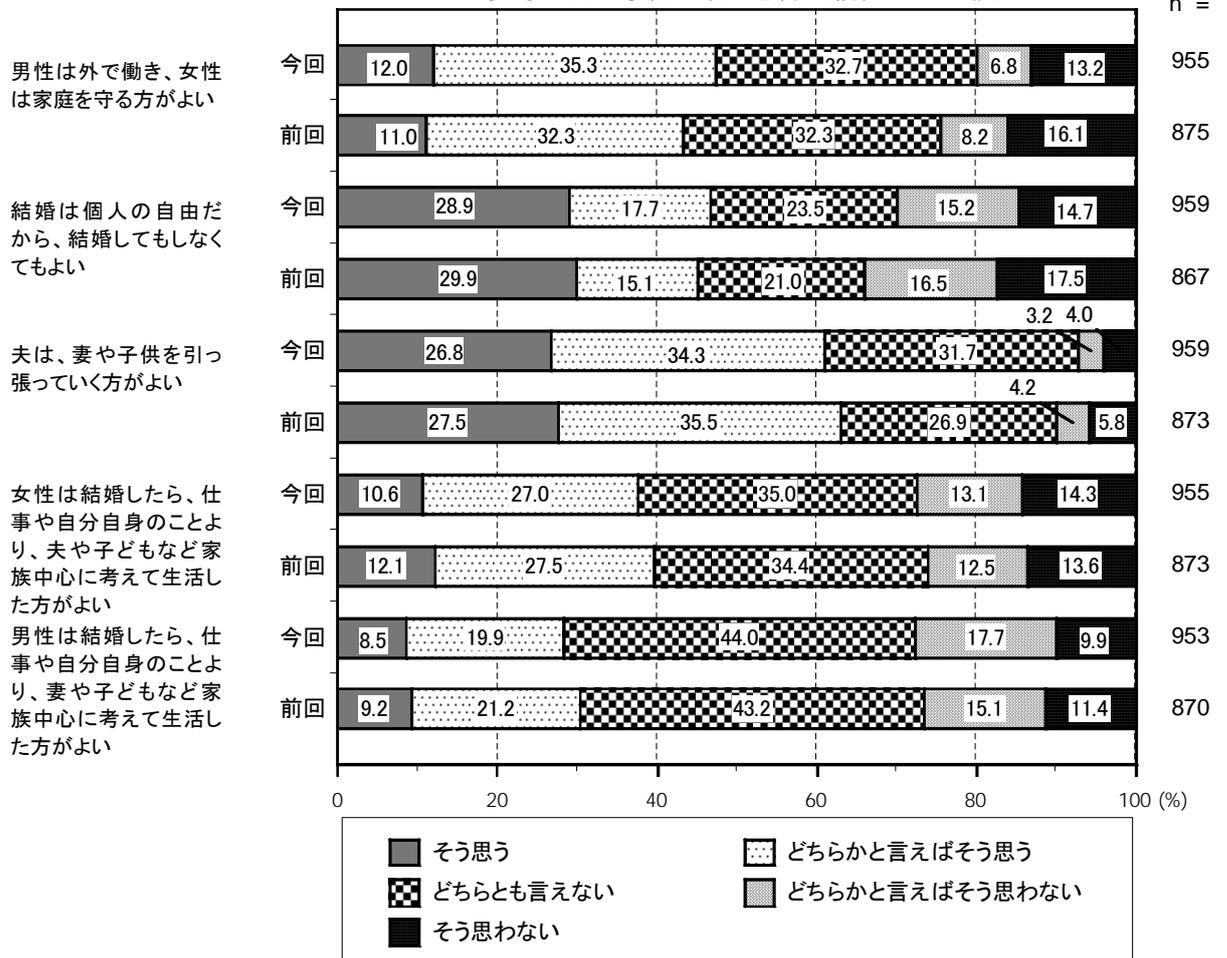
◆夫は、妻や子供を引っ張っていく方がよいについては、“賛成”が未就業は64.4%、就業の58.1%となっており、比べると、6.3ポイント上回っています。

○夫は、妻や子供を引っ張っていく方がよいについては、「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせた“賛成”が、未就業は64.4%となっており、就業の58.1%と比べると、6.3ポイント上回っています。

図 家庭生活の意識



＜参考＞図 家庭生活の意識（前回との比較）



※回答なしを集計していないため、他のグラフと数値が異なる

4

子育てに関する意識

(1) 男らしさ・女らしさについて

問10

あなたが考える、「男らしさ」「女らしさ」とはどんなことですか。それぞれの枠に、あなたの考えにもっとも近いものを1つずつ、下の1～18から選んで、数字を記入してください。

◆男らしさについては、「頼れる」が36.4%と最も多く、女らしさについては、「気配りができる」が53.6%と最も多くなっています。

○回答者が考える、男らしさについては、「頼れる」が36.4%と最も多く、次いで、「決断力がある」が14.9%、「経済力がある」が13.2%となっています。また、女らしさについては、「気配りができる」が53.6%で最も多く、次いで、「優しい」が12.8%、「家事能力がある」が8.7%となっています。

図 男らしさについて

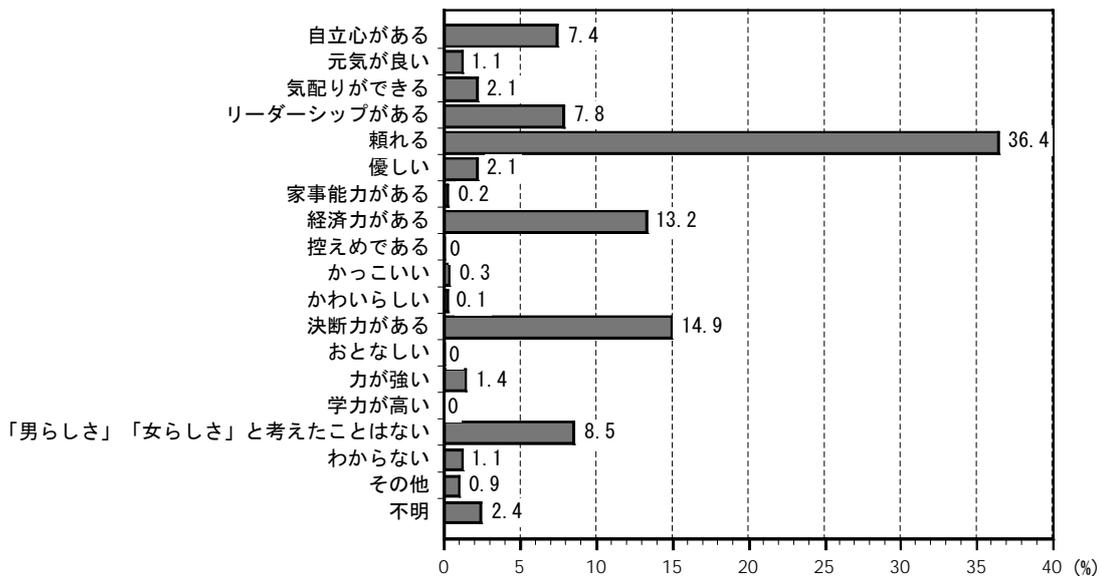
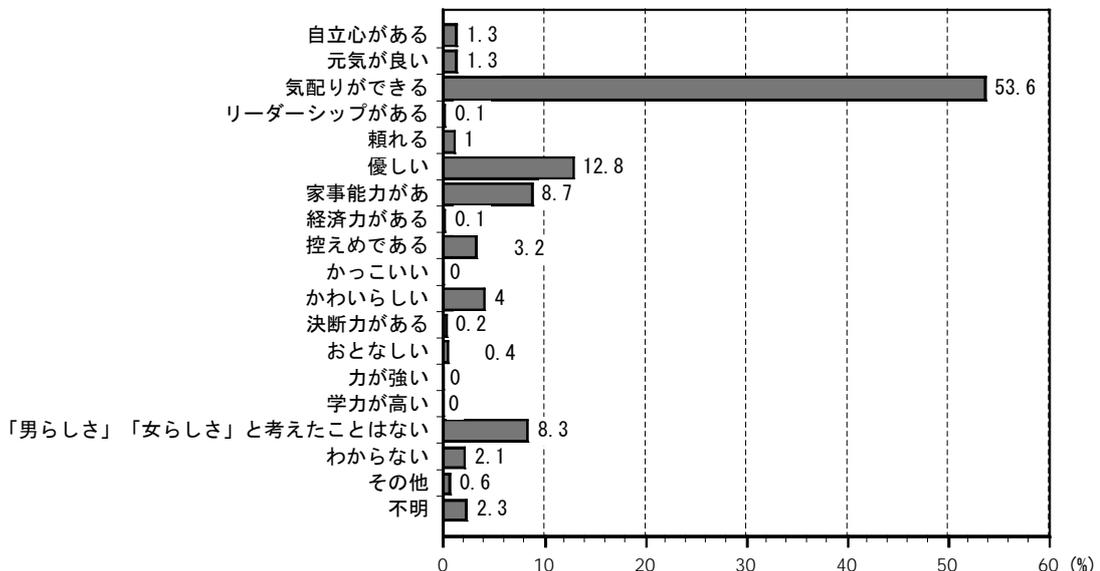


図 女らしさについて



(2) 子どもの育て方について

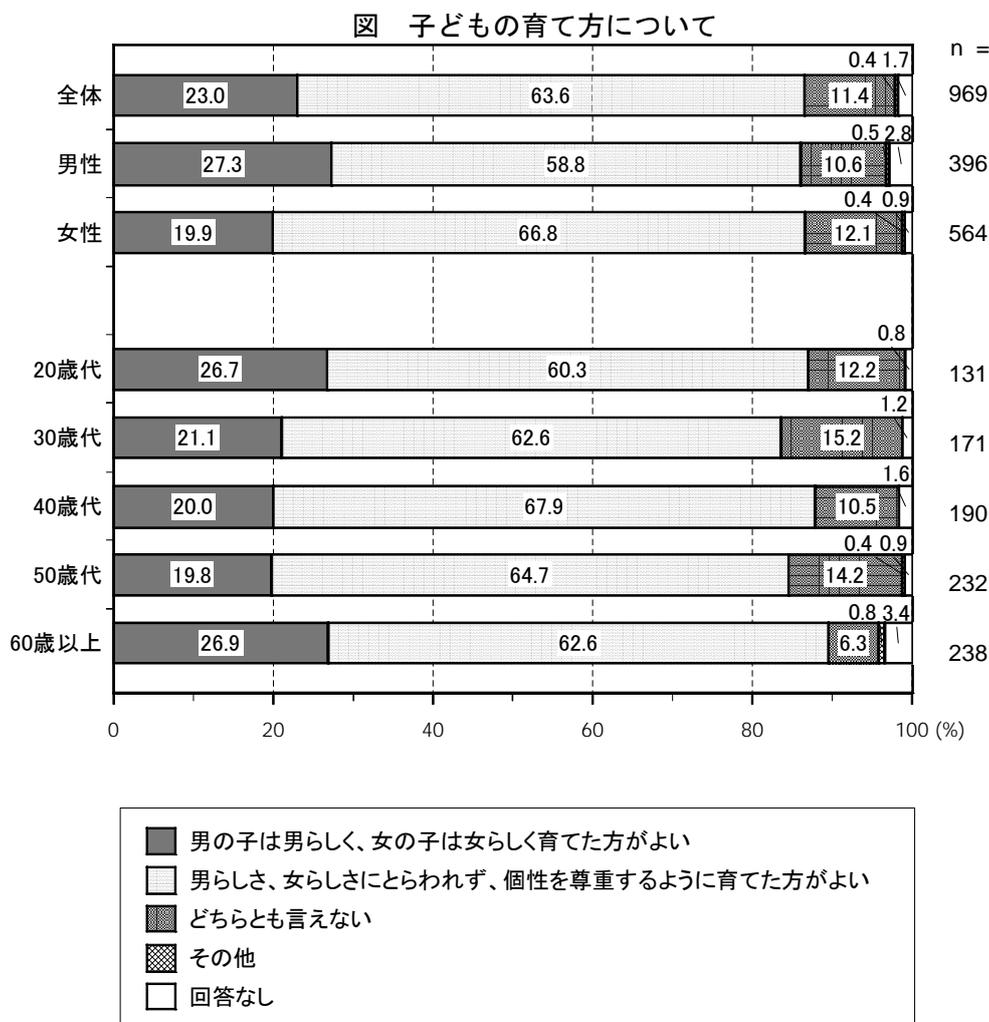
問11 「男の子は男らしく、女の子は女らしく」という子どもの育て方について、どの様に考えますか。(〇は1つ)

◆子どもの育て方について、「男らしさ、女らしさにとらわれず、個性を尊重するように育てた方がよい」が、約6割と最も多く、「男の子は男らしく、女の子は女らしく育てた方がよい」が、約2割となっています。

○子どもの育て方について、「男らしさ、女らしさにとらわれず、個性を尊重するように育てた方がよい」が、63.6%と最も多く、次いで、「男の子は男らしく、女の子は女らしく育てた方がよい」が、23.0%となっています。

○性別にみると、どちらの考え方でも、性別による回答割合に大きな差はありません。

○年齢別にみると、「男の子は男らしく、女の子は女らしく育てた方がよい」について、20歳代では26.7%、60歳以上では、26.9%となっており、他の年代と比べて、上回っています。



問11で「1」と答えた方におたずねします。

(3)「男の子は男らしく、女の子は女らしく育てた方がよい」理由

問11-1 そう思う主な理由は何ですか。【○は1つ】

◆男の子は男らしく、女の子は女らしく育てた方がよい、と思う主な理由は、「性別が違うのだからできることも違う」が半数を超えています。

○男の子は男らしく、女の子は女らしく育てた方がよい、と思う主な理由は、「性別が違うのだからできることも違う」が62.8%と最も多く、次いで、「将来的に子どものためになる」が22.0%となっています。

○性別でみると、男性で「性別が違うのだからできることも違う」が66.7%であり、女性の58.9%と比較すると、7.8ポイント上回っています。

○男の子は男らしく、女の子は女らしく育てた方がよい、と思う主な理由は、「性別が違うのだからできることも違う」が62.8%であり、前回と比較すると、5.1ポイント上回っています。また、「将来的に子どものためになる」が22.0%であり、前回と比較すると、5.8ポイント下回っています。

図 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てた方がよい、と思う主な理由

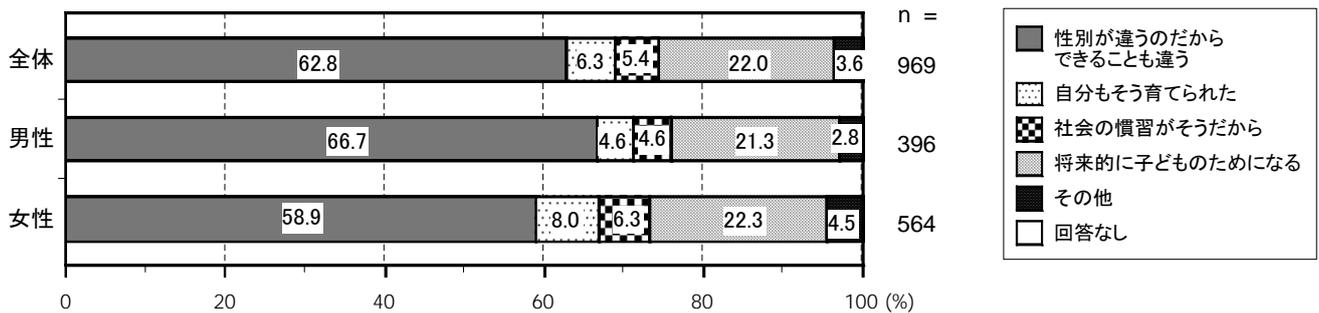
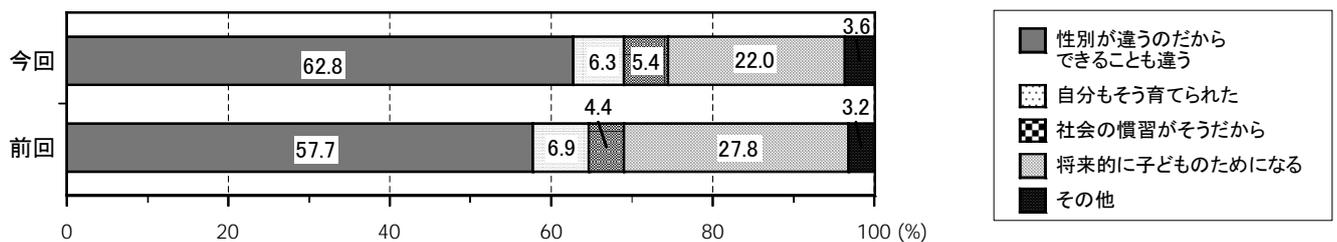


図 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てた方がよい、と思う主な理由（比較）



※回答なしを集計していないため、他のグラフと数値が異なる

問11で「2」と答えた方におたずねします。

(4) 個性を尊重するように育てた方がよい理由

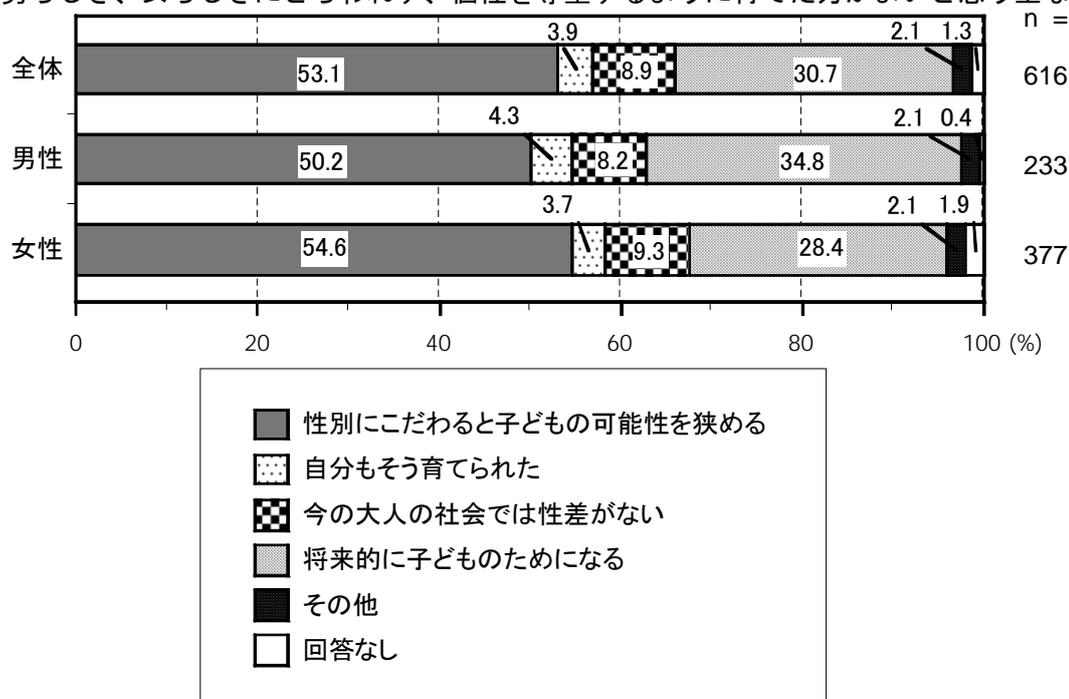
問11-2 そう思う主な理由は何ですか。【○は1つ】

◆男らしさ、女らしさにとらわれず、個性を尊重するように育てた方がよいと思う主な理由は、「性別にこだわると子どもの可能性を狭める」が約5割、次いで、「将来的に子どものためになる」が約3割となっています。

○男らしさ、女らしさにとらわれず、個性を尊重するように育てた方がよい、と思う主な理由は、「性別にこだわると子どもの可能性を狭める」が53.1%と最も多く、次いで、「将来的に子どものためになる」が30.7%となっています。

○性別でみると、男性で「将来的に子どものためになる」が34.8%で、女性の28.4%と比較すると、6.4ポイント上回っています。

図 男らしさ、女らしさにとらわれず、個性を尊重するように育てた方がよいと思う主な理由



(5) 子育てをしながら働く悩み

問12

子育てをしながら働いている、あるいは働いていた方におたずねします。子育てをしながら働く中で悩んでいること、あるいは悩んでいたことはありますか。【○は3つまで】

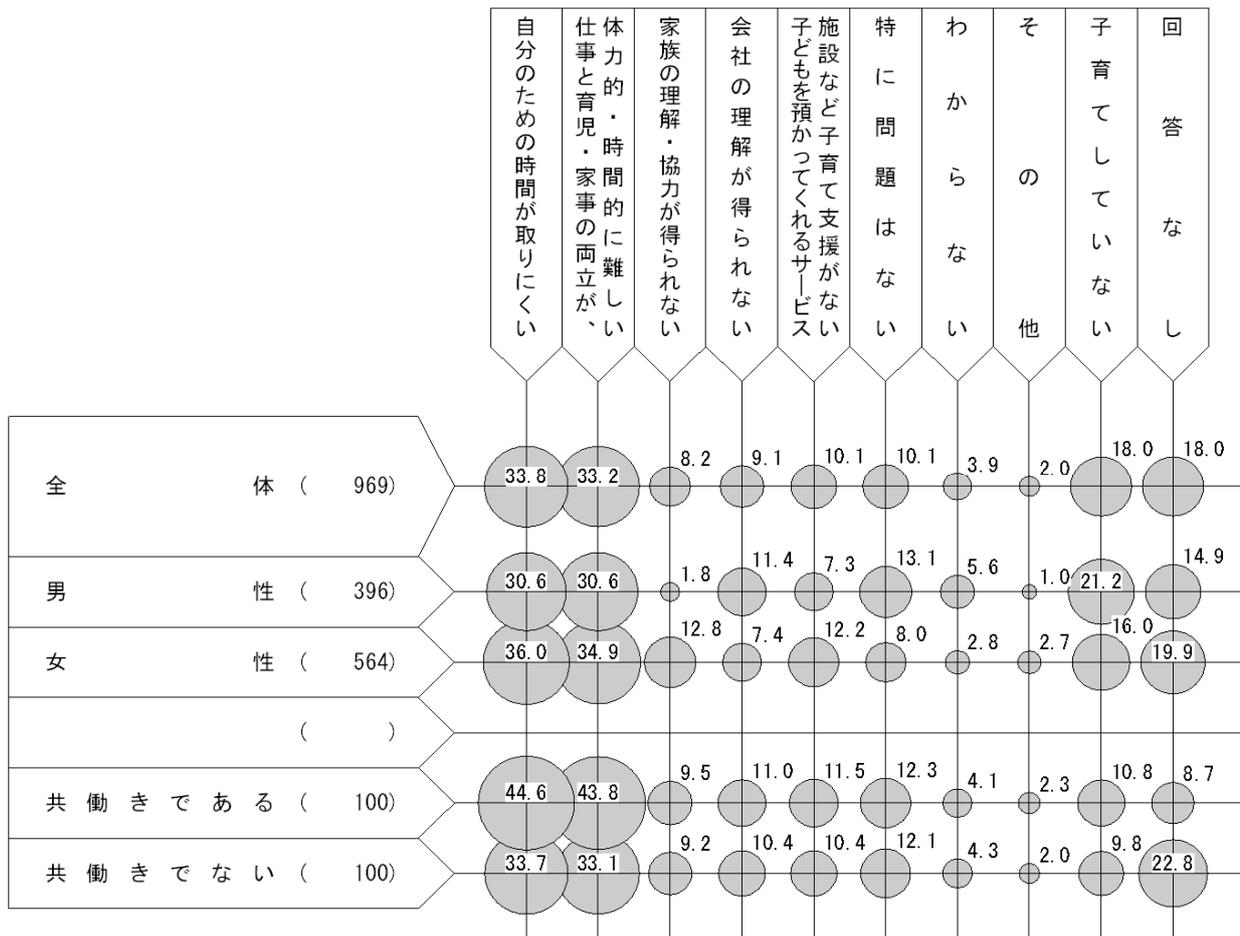
◆子育てをしながら働く中で悩んでいることでは、「自分のための時間が取りにくい」、「仕事と育児・家事の両立が、体力的・時間的に難しい」が多く、特に共働きである回答者の割合が高くなっています。

○子育てをしながら働く中で悩んでいることでは、「自分のための時間が取りにくい」が33.8%と最も多く、「仕事と育児・家事の両立が、体力的・時間的に難しい」が33.2%となっています。

○性別でみると、男性では、「特に問題はない」が、13.1%であり、女性の8.0%を上回っています。また、女性では、「家族の理解・協力が得られない」が12.8%であり、男性の1.8%を上回っています。

○共働き別にみると、共働きである回答者で「自分のための時間が取りにくい」が共働きでない回答者と比べると、10.9ポイント、「仕事と育児・家事の両立が、体力的・時間的に難しい」が、10.7ポイント上回っており、時間の確保が難しいという悩みが伺えます。

図 子育てをしながら働く悩み



(6) 子どもの男女共同参画意識を育てるために力を入れること

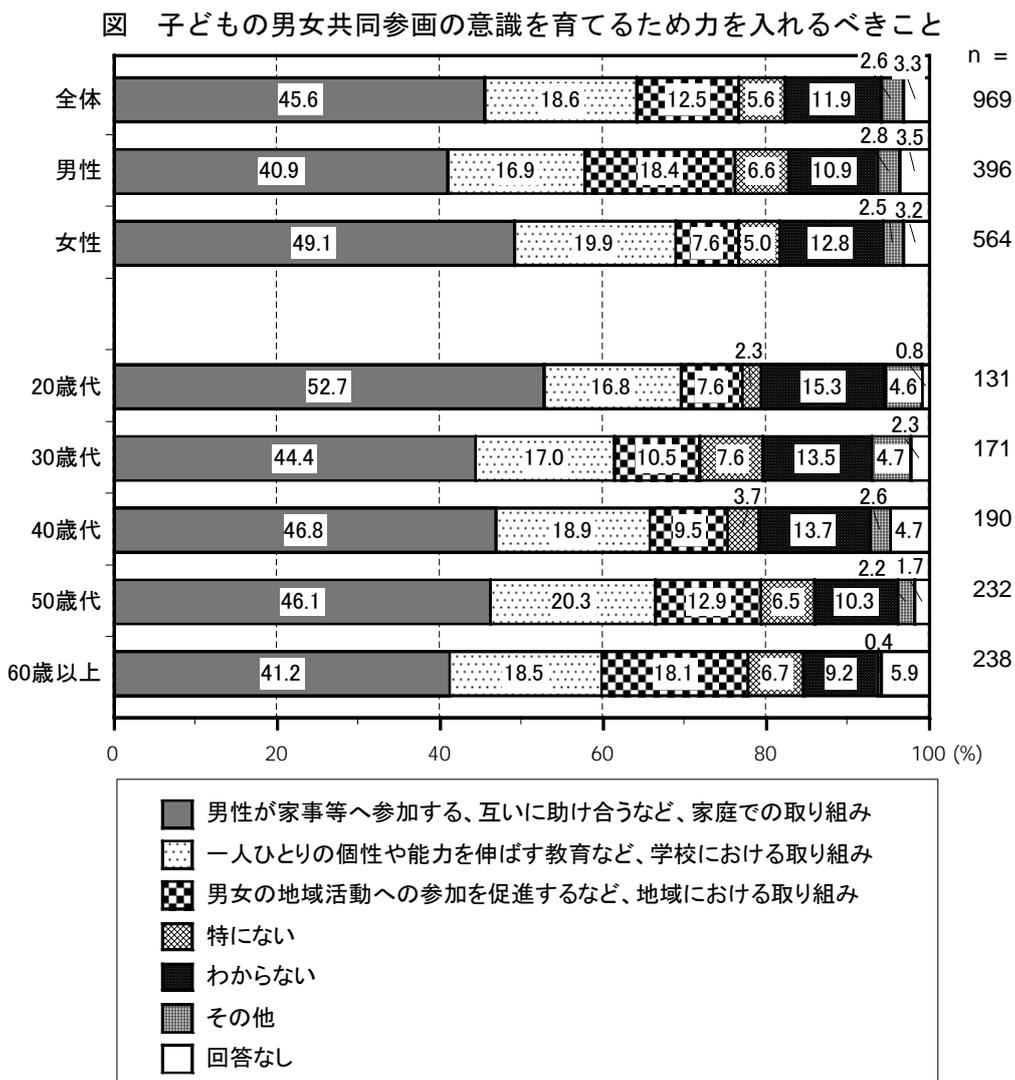
問13

子どもの男女共同参画の意識を育てるために、特にどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。【○は1つ】

◆男性では、「男女の地域活動への参加を促進するなど、地域における取り組み」が、18.4%と最も多く、女性では、「男性が家事等へ参加する、互いに助け合うなど、家庭での取り組み」が12.8%と最も多くなっています。

○子どもの男女共同参画の意識を育てるために、特に力を入れるべきことは、「男性が家事等へ参加する、互いに助け合うなど、家庭での取り組み」が45.6%と最も多く、次いで、「一人ひとりの個性や能力を伸ばす教育など、学校における取り組み」が18.6%となっています。

○性別でみると、男性では、「男女の地域活動への参加を促進するなど、地域における取り組み」が、18.4%であり、女性の7.6%を上回っています。また、女性では、「男性が家事等へ参加する、互いに助け合うなど、家庭での取り組み」が12.8%であり、男性の1.8%を上回っています。



5

仕事と生活の調和

(1) 就業の理由

問14

あなたが考える就業の理由の主なものは何ですか。【○は3つまで】

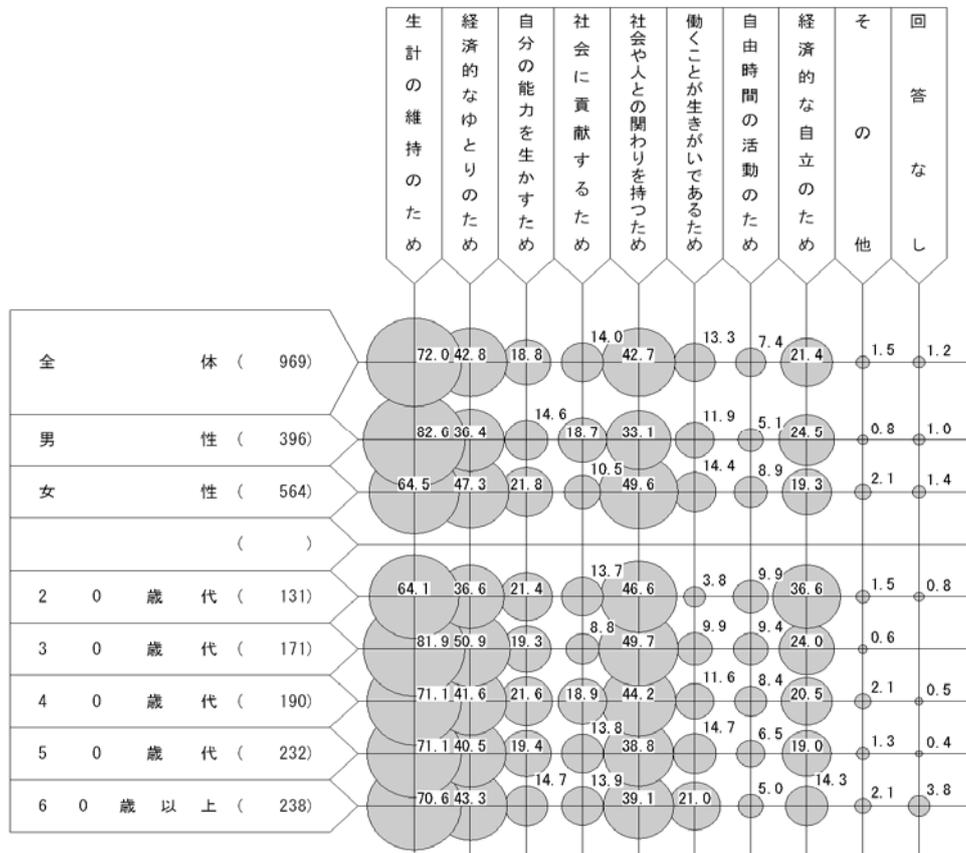
◆就業の理由の主なものは、「生計の維持のため」が約7割をしめています。女性では、「社会や人との関わりを持つため」の割合が、男性よりも上回っています。

○就業の理由の主なものは、「生計の維持のため」が72.0%と最も多く、次いで、「経済的なゆとりのため」が42.8%、「社会や人との関わりを持つため」が42.7%となっています。

○性別で見ると、男性では、「生計の維持のため」が82.6%と女性の64.5%を18.1ポイント上回っています。また、女性では、「社会や人との関わりを持つため」が49.6%と16.5ポイント上回っています。

○年齢別で見ると、20歳代で「生計の維持のため」が64.1%と、「経済的なゆとりのため」が36.6%と他の年代と比べて低い割合となっていますが、一方で、「経済的な自立のため」は36.6%と高い割合となっています。

図 就業の理由



(2) 仕事をやめざるを得なかったことの有無

問15

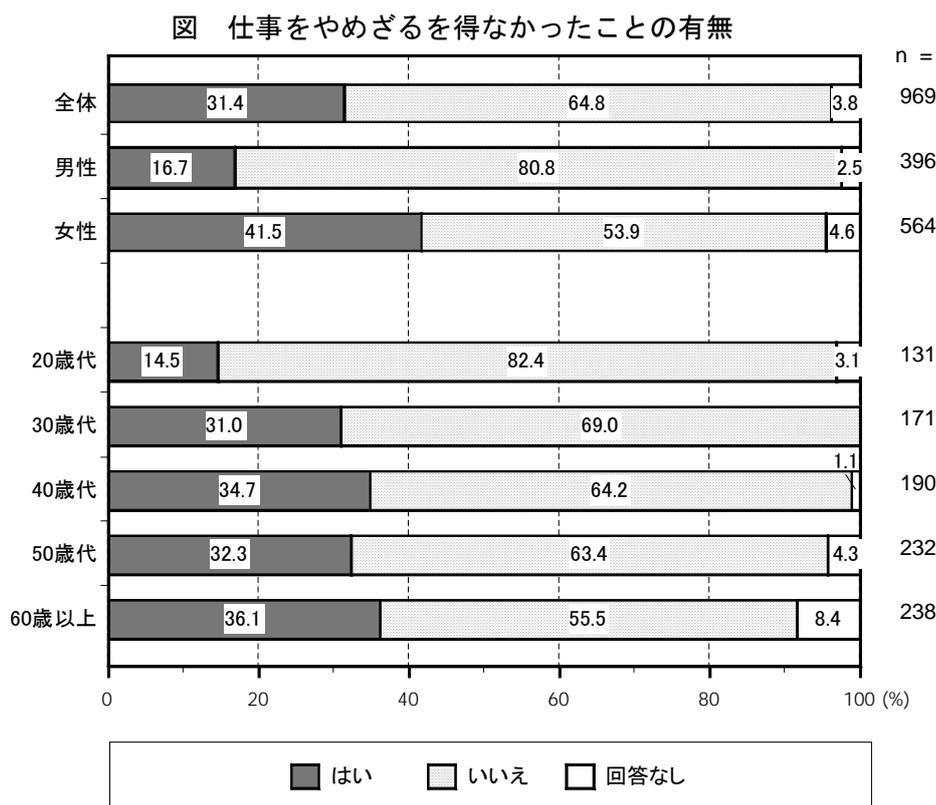
あなたは、働き続けたいけれど、仕事をやめざるを得なかったことはありますか。
【〇は1つ】

◆仕事をやめざるを得なかったことがあるかという設問に対しては、「はい」が31.4%。「いいえ」が64.8%となっています。女性では、「はい」が41.5%と、男性に比べて、女性が仕事をやめざるを得ない現状が伺えます。

○仕事をやめざるを得なかったことがあるかという設問に対しては、「はい」が31.4%。「いいえ」が64.8%となっており、やめざるを得なかったことのない人の割合の方が高くなっています。

○性別でみると、男性では「はい」が16.7%、「いいえ」が80.8%と、64.1ポイント上回っています。また、女性では、「はい」が41.5%、「いいえ」が53.9%と12.4ポイント上回るにとどまっております。女性が仕事をやめざるを得ない現状が伺えます。

○年齢別でみると、20歳代で「はい」が14.5%となっており、他の年代と比べて、低い割合となっています。



問15で「1」と答えた方におたずねします。

(3) 仕事をやめざるを得なかった理由

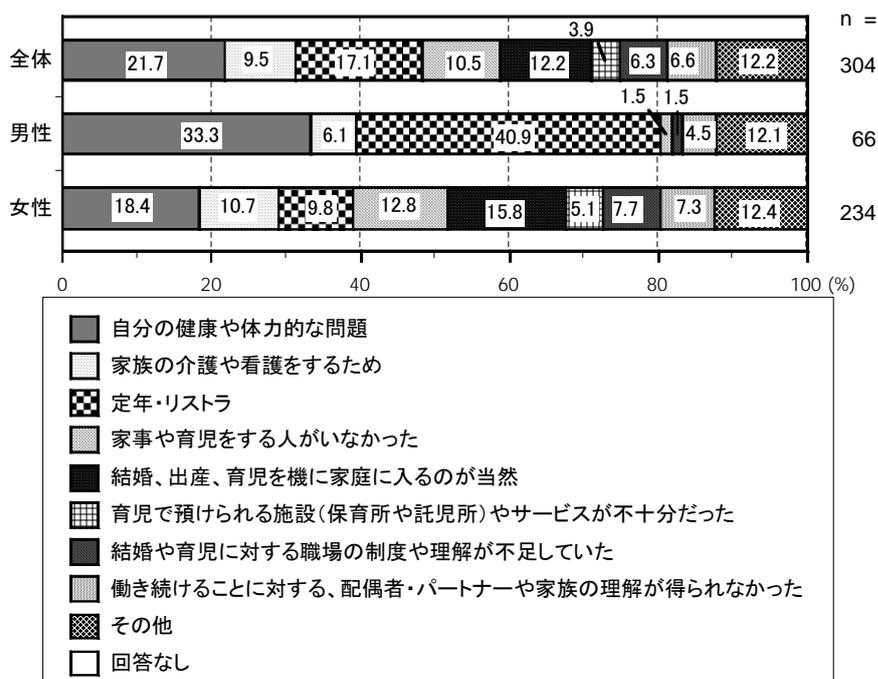
問15-1 仕事をやめざるを得なかった理由の一番は何ですか。【〇は1つ】

◆仕事をやめざるを得なかった理由としては、「自分の健康や体力的な問題」が約2割と最も多く、次いで、「定年・リストラ」、「家事や育児をする人がいなかった」となっています。

○仕事をやめざるを得なかった理由としては、「自分の健康や体力的な問題」が21.7%と最も多く、次いで、「定年・リストラ」が17.1%、「結婚・出産・育児を機に家庭に入るのが当然」が12.2%となっています。

○性別にみると、男性では「定年・リストラ」(40.9%)と「自分の健康や体力的な問題」(33.3%)を合わせて、74.2%と7割近くをしめています。また、女性では、「自分の健康や体力的な問題」が18.4%と、次いで、「結婚、出産、育児を機に家庭に入るのが当然」が15.8%となっていますが、どの項目も10%前後の回答があります。

図 仕事をやめざるを得なかった理由



(4) 女性の仕事について望ましい形

問16

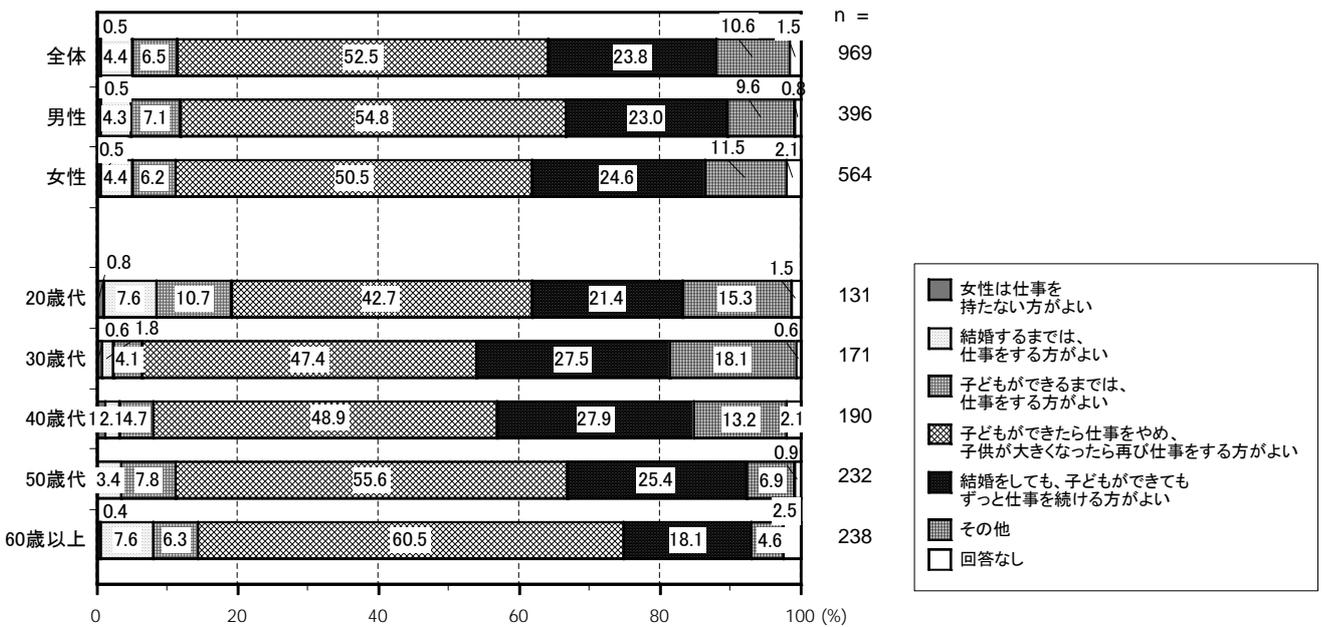
あなたは、女性の仕事について、どのような形が望ましいと思いますか。【○は1つ】

◆女性の仕事について、望ましい形としては、「子どもができたら仕事をやめ、子どもが大きくなったら再び仕事をする方がよい」が、性別や年代に関わらず、5割近くを占め、最も高い割合となっています。

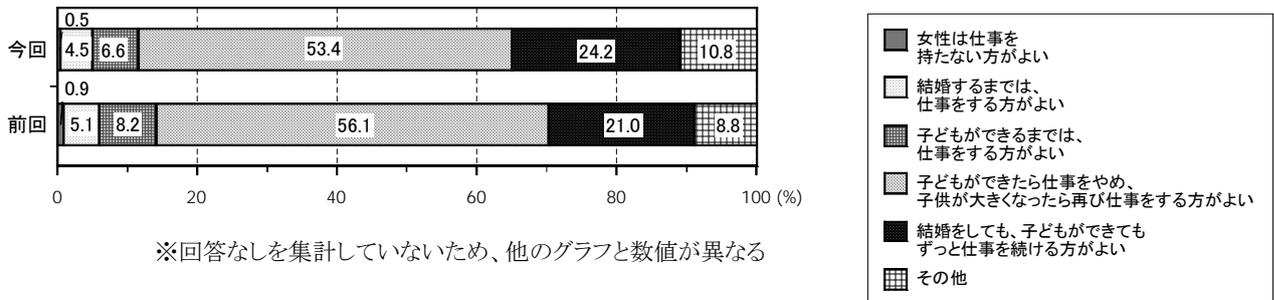
○女性の仕事について、望ましい形としては、「子どもができたら仕事をやめ、子どもが大きくなったら再び仕事をする方がよい」が52.5%と最も多く、次いで、「結婚をしても、子どもができてずっと仕事を続ける方がよい」が23.8%となっています。

○年齢別にみると、「結婚をしても、子どもができてずっと仕事を続ける方がよい」が30歳代で27.5%、40歳代で27.9%、50歳代で25.4%となっており、他の年代と比べて上回っています。

図 女性の仕事について望ましい形



<参考>図 女性の仕事について望ましい形（比較）



※回答なしを集計していないため、他のグラフと数値が異なる

(5) 育児や介護のための休業制度について

問17 働いている方又は働いていた方におたずねします。あなたの職場の育児や介護のための休業制度についてお答えください。【○は1つ】

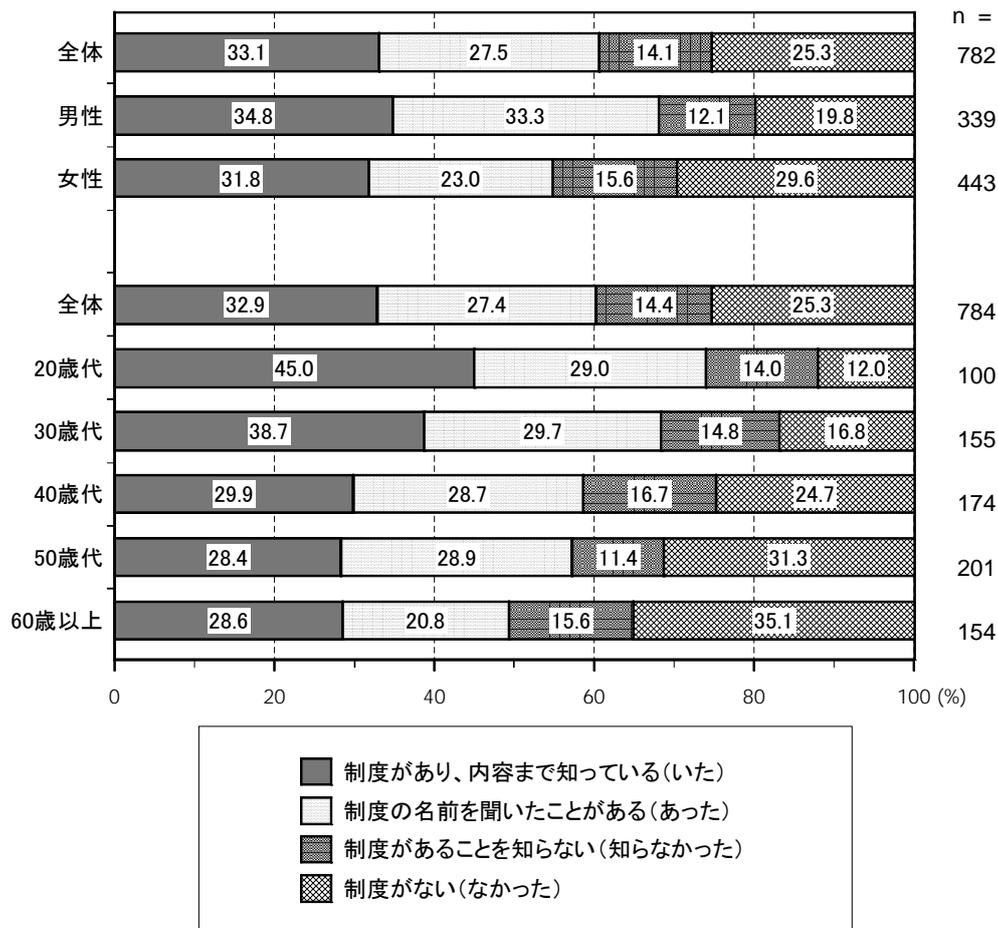
◆育児のための休業制度は、女性よりも男性で“認知している”割合が高くなっていますが、年代が高くなるにつれて、“認知していない”割合が高くなる傾向があります。

○職場の育児のための休業制度については、「制度があり、内容まで知っている（いた）」が33.1%と最も多く、次いで、「制度の名前を聞いたことがある（あった）」が27.5%となっています。

○性別にみると、男性では、「制度があり、内容まで知っている（いた）」（34.8%）、「制度の名前を聞いたことがある（あった）」（33.3%）を合わせた、“認知している”が68.1%と半数を超えています。また、女性では、“認知している”が54.8%となっており、13.3ポイントの差があります。

○年齢別にみると、年代が高くなるにつれて、「制度があり、内容まで知っている」割合は少なくなっています。

図 育児のための休業制度について



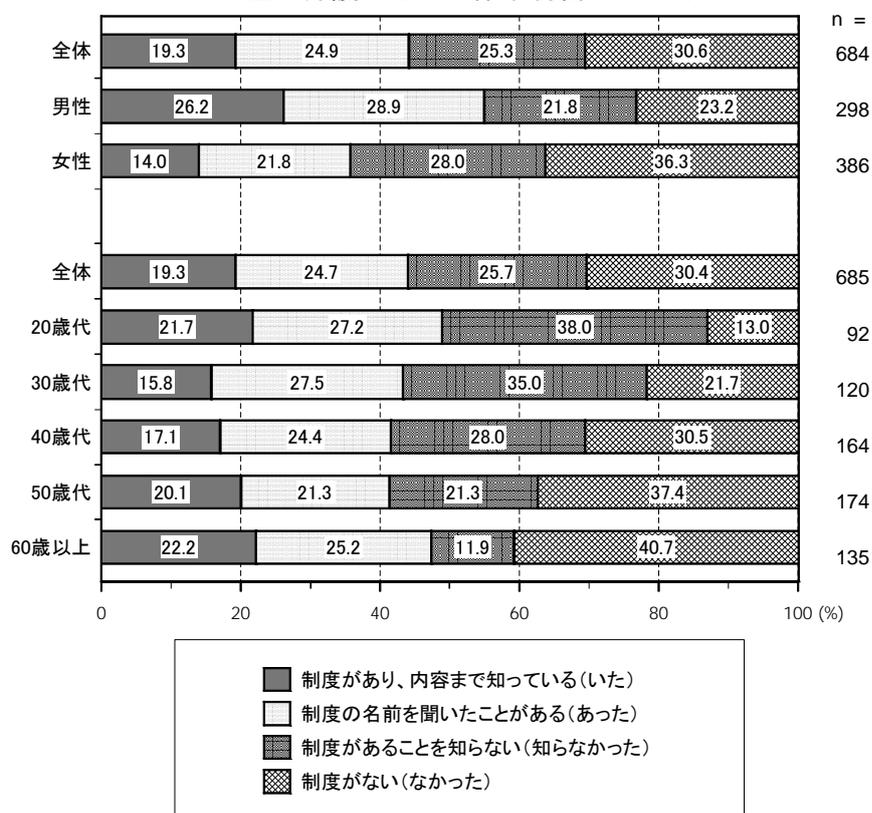
◆介護のための休業制度は、女性よりも男性で“認知している”割合が高くなっていますが、年代が高くなるにつれて、“認知していない”割合が高くなる傾向があります。

○職場の介護のための休業制度については、「制度がない」が30.6%と最も多く、次いで、「制度があることを知らない（知らなかった）」が25.3%となっています。

○性別にみると、男性では、「制度があり、内容まで知っている（いた）」（26.2%）、「制度の名前を聞いたことがある（あった）」（28.9%）を合わせた、“認知している”が55.1%となっています。また、女性では、“認知している”が35.8%となっており、19.3ポイントの差があります。

○年齢別にみると、年代が高くなるにつれて、「制度があることを知らない（知らなかった）」と「制度がない（なかった）」を合わせた“認知していない”割合が多くなっています。

図 介護のための休業制度について



問17で「A」、「B」に「1」が「2」と答えた方におたずねします。

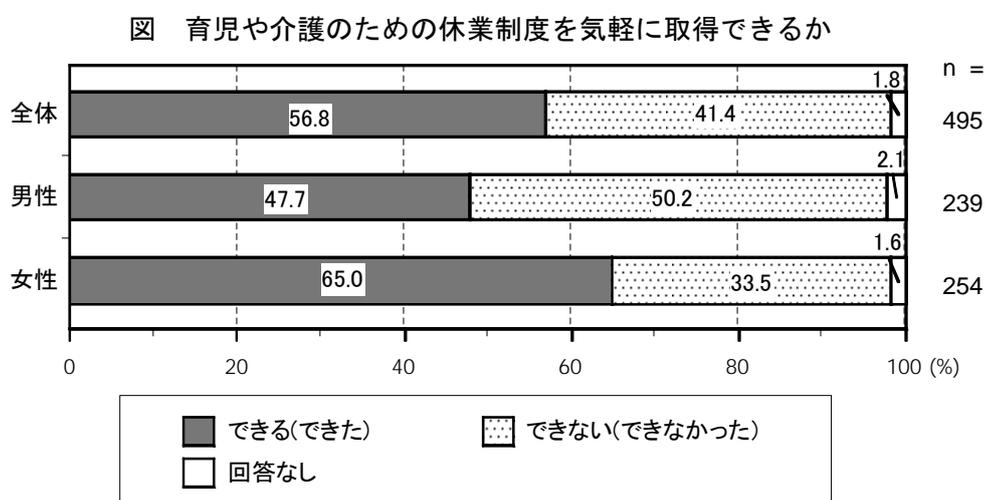
(6) 休業制度の取得について

問17-1 あなたの職場では、育児や介護のための休業制度を気軽に取得することができますか。【○は1つ】

◆育児や介護のための休業制度の取得は、男性に比べて、女性が「できる(できた)」割合が24.3ポイント上回っており、女性の方が取得しやすい状況が伺えます。

○育児や介護のための休業制度の取得については、「できる(できた)」が56.8%、「できない(できなかった)」が41.4%となっています。

○性別にみると、「できる(できた)」については、女性が65.0%、男性が47.7%であり、女性が17.3ポイント上回っています。



問17-1で「2」と答えた方におたずねします。

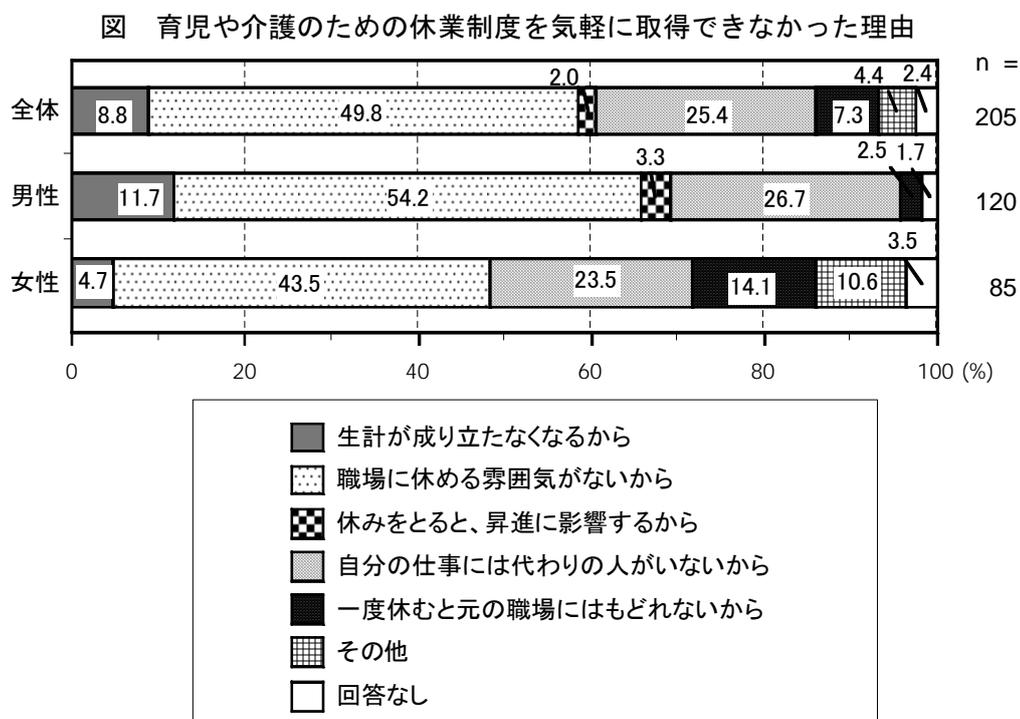
(7) 育児や介護のための休業制度を取得できなかった理由

問17-2 気軽に取得することができない(できなかった)理由について、あなたの考えに近いものを選んでください。【〇は1つ】

◆育児や介護のための休業制度を取得できなかった理由は、「職場に休める雰囲気がないから」が性別に関わりなく、最も高くなっています。

○育児や介護のための休業制度を取得できなかった理由は、「職場に休める雰囲気がないから」が49.8%と最も高く、次いで、「自分の仕事には代わり的人がいないから」で25.4%となっています。

○性別にみると、「一度休むと元の職場にはもどれないから」が、女性では14.1%となっており、男性の2.5%を11.6ポイント上回っています。



(8) 男性の育児・介護休業制度の取得について

問18

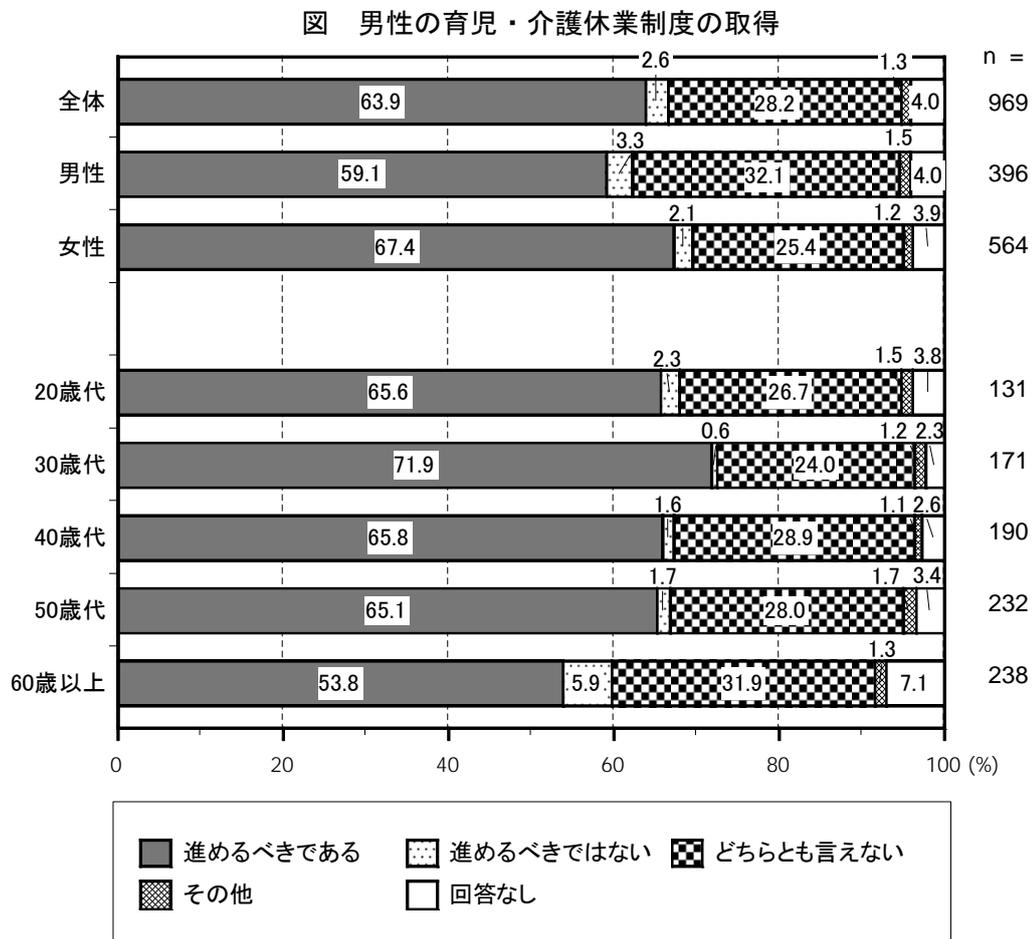
男性が育児や介護のための休業制度をとることを社会的に進めることについて、あなたの考えに近いものを選んでください。【〇は1つ】

◆男性の育児・介護休業の取得については、「進めるべきである」が6割を超えています、60歳以上では、少し低い割合となっています。

○男性の育児・介護休業の取得については、「進めるべきである」が63.9%で最も高く、次いで、「どちらとも言えない」が28.2%となっています。

○性別にみると、「進めるべきである」について、女性で67.4%となっており、男性の59.1%を8.3%上回っています。

○年齢別にみると、「進めるべきである」について、20歳代～50歳代は、6割を超えていますが、60歳以上で53.8%と、他の年代と比べて低い割合となっています。

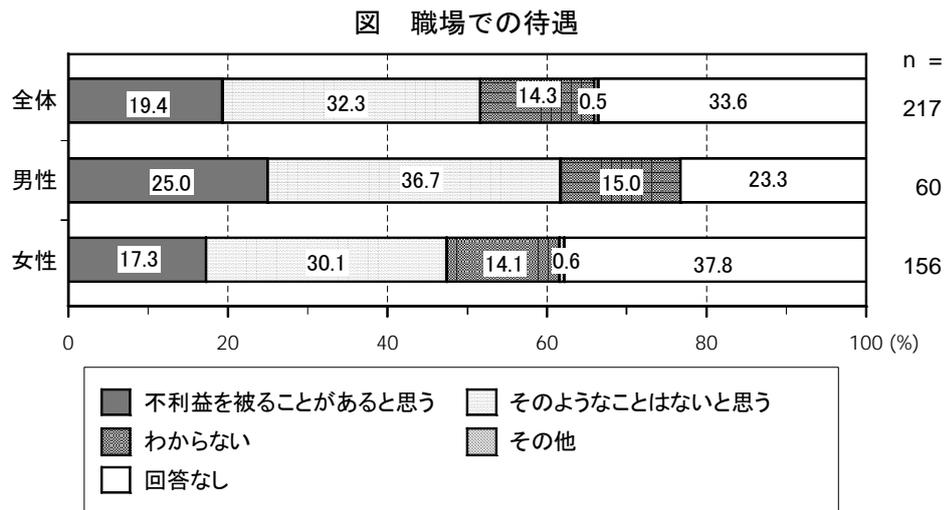


(9) 職場での待遇について

問19 現在働いている方におたずねします。現在の職場で、仕事内容や待遇面で女性であるという理由で男性に比べて不利益を被ることがあると思いますか。【○は1つ】

◆職場で、女性という理由で不利益を被ることについて、「そのようなことはないと思う」が、約3割と最も多くなっています。しかし、性別や年齢に関わらず、「回答なし」も4割程度と多くなっています。

○職場で、女性という理由で不利益を被ることについて、「そのようなことはないと思う」が、32.3%と最も多くなっていますが、「回答なし」も33.6%と多くなっています。
○性別にみると、「不利益を被ることがあると思う」について、男性が25.0%となっており、女性の17.3%を7.7ポイント上回っていますが、女性は「回答なし」も37.8%と高くなっています。



問19で「1」と答えた方におたずねします。

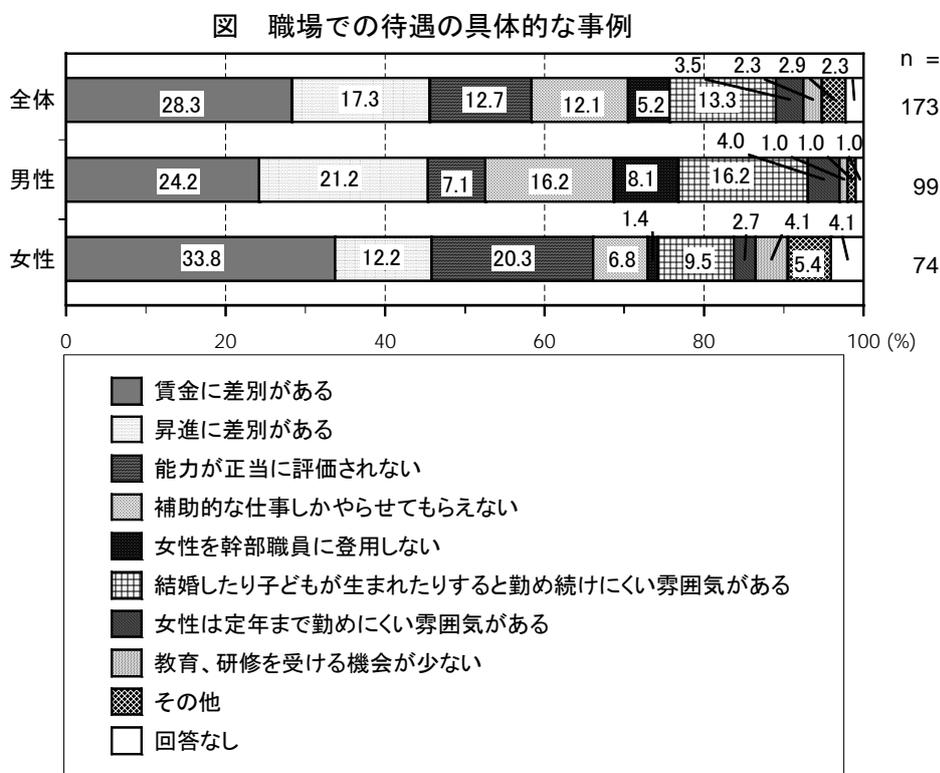
(10) 職場での待遇の具体的な事例

問19-1 具体的にはどのようなことですか。【○は1つ】

◆職場での待遇の具体的な事例として、「賃金に差別がある」が3割程度と最も高くなっていますが、女性では「能力が正当に評価されない」の割合も2割程度と高くなっています。

○職場での待遇の具体的な事例として、「賃金に差別がある」が28.3%と最も多く、次いで、「昇進に差別がある」が17.3%、「結婚したり子どもが生まれたりすると勤め続けにくい雰囲気がある」が13.3%となっています。

○性別にみると、「能力が正当に評価されない」について、女性は20.3%となっており、男性の7.1%を13.2ポイント上回っています。



(11) 生活の中で優先させたいもの（希望）・優先しているもの（現実）

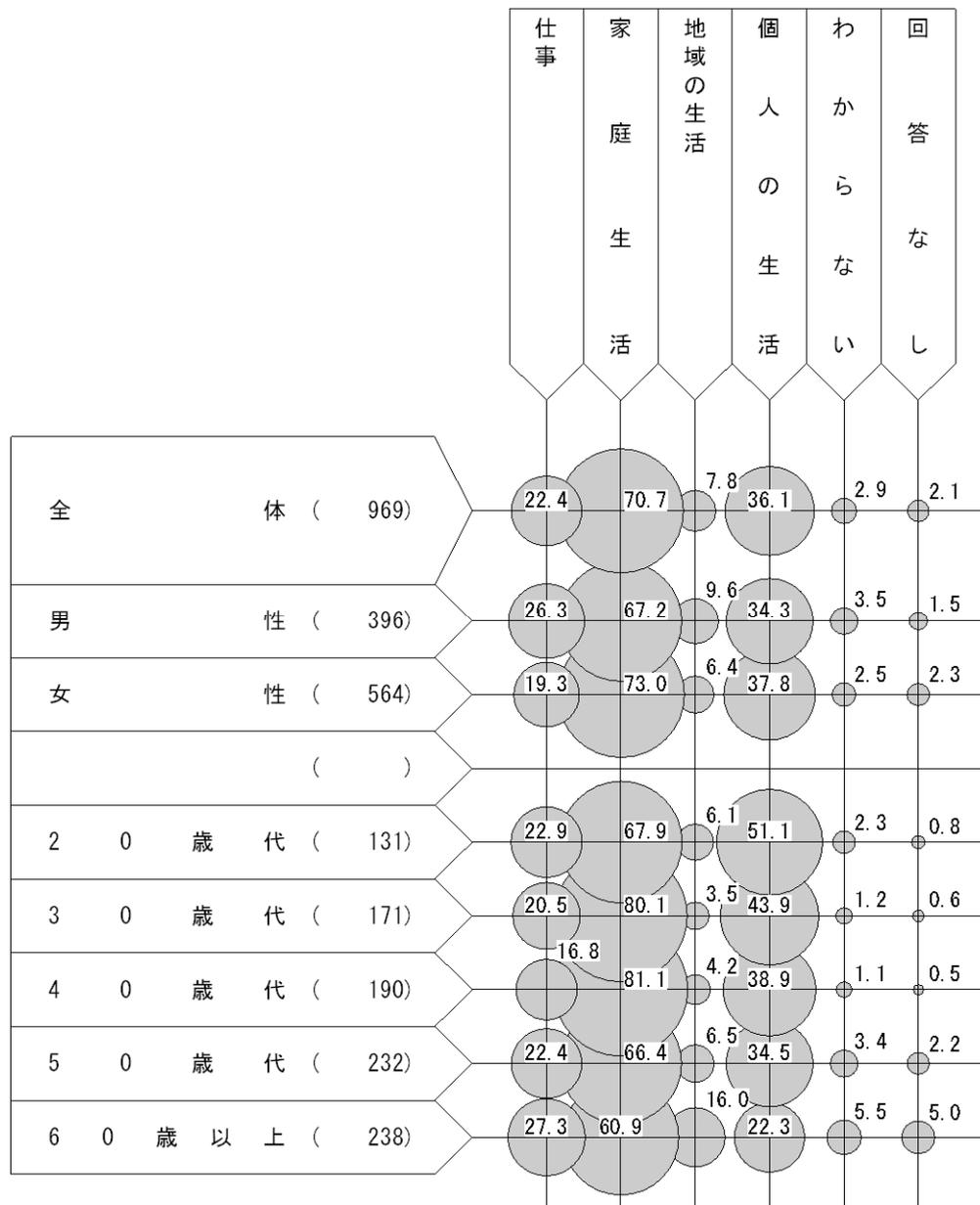
問20

生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域の生活」、「個人の生活」について、優先させたいものの希望と現実を教えてください。【〇はいくつでも】

◆生活の中で優先させたいもの（希望）は、性別や年齢に関わらず、「家庭生活」が6割を超えており、最も高くなっています。

- 生活の中で優先させたいもの（希望）は、「家庭生活」が70.7%と最も高く、次いで、「個人の生活」が36.1%、「仕事」が22.4%、「地域の生活」が7.8%となっています。
- 性別にみると、「仕事」について、男性が26.3%となっており、女性の19.3%と比べると、7ポイント上回っています。
- 年齢別にみると、「家庭生活」について、30歳代と40歳代では8割を超えていますが、他の年代では、6割程度に留まっています。また、「個人の生活」について、年代が高くなるほど、割合が低くなっています。

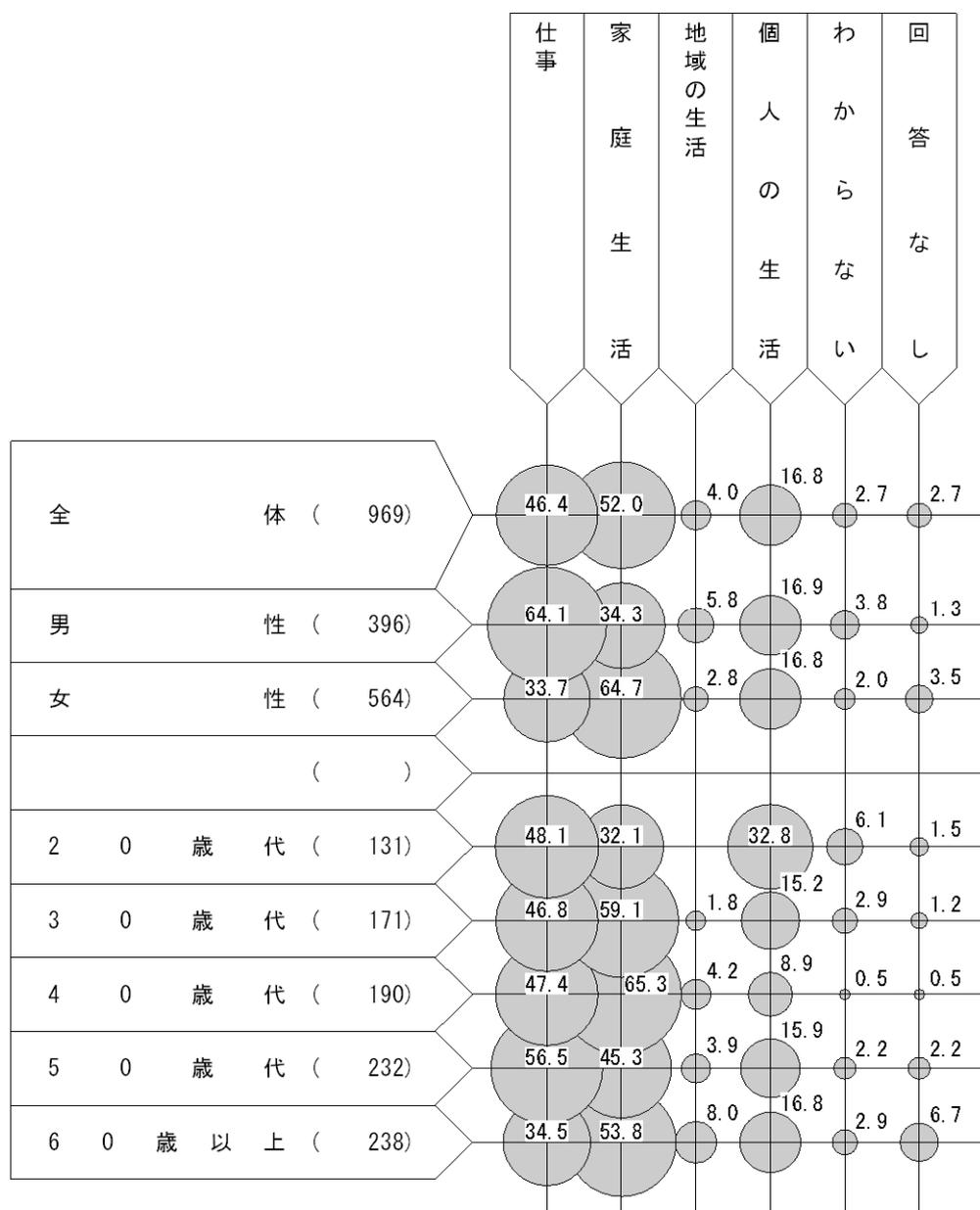
図 生活の中で優先させたいもの（希望）



◆生活の中で優先しているもの(現実)は、「家庭生活」が5割を超えており、最も多い割合となっていますが、男性では、「仕事」が、女性では「家庭生活」が6割を超えており、それぞれで優先しているものが異なることが伺えます。

- 生活の中で優先しているもの(現実)は、「家庭生活」が52.0%と最も高く、次いで、「仕事」が46.4%、「個人の生活」が16.8%、「地域の生活」が4.0%となっています。
- 性別にみると、「仕事」について、男性が64.1%となっており、女性の33.7%と比べると、30.4ポイント上回っています。また、「家庭生活」について、女性が64.7%となっており、男性の34.3%と比べると、30.4ポイント上回っています。
- 年齢別にみると、「家庭生活」について、20歳代では32.1%となっており、他の年代と比べると、低い割合となっています。

図 生活の中で優先しているもの(現実)



(12) ワーク・ライフ・バランスの認知度

問21 ワーク・ライフ・バランスという言葉についておたずねします。【○は1つ】

◆ワーク・ライフ・バランスの認知度については、「知らない」が、性別と年代に関わらず、6割を超え、最も多くなっています。特に女性の認知度が低い現状となっています。

○ワーク・ライフ・バランスの認知度については、「知らない」が63.0%で最も多く、次いで、「聞いたことがある」は25.4%、「内容まで知っている」は8.7%となっています。

○性別にみると、「内容まで知っている」と「聞いたことがある」を合わせた、“認知している”が女性は29.7%となっており、男性の39.9%と比べると、10.2ポイント下回っています。

○安城市のワーク・ライフ・バランスの認知度は、国とほぼ同じ割合となっています。

図 ワーク・ライフ・バランスの認知度

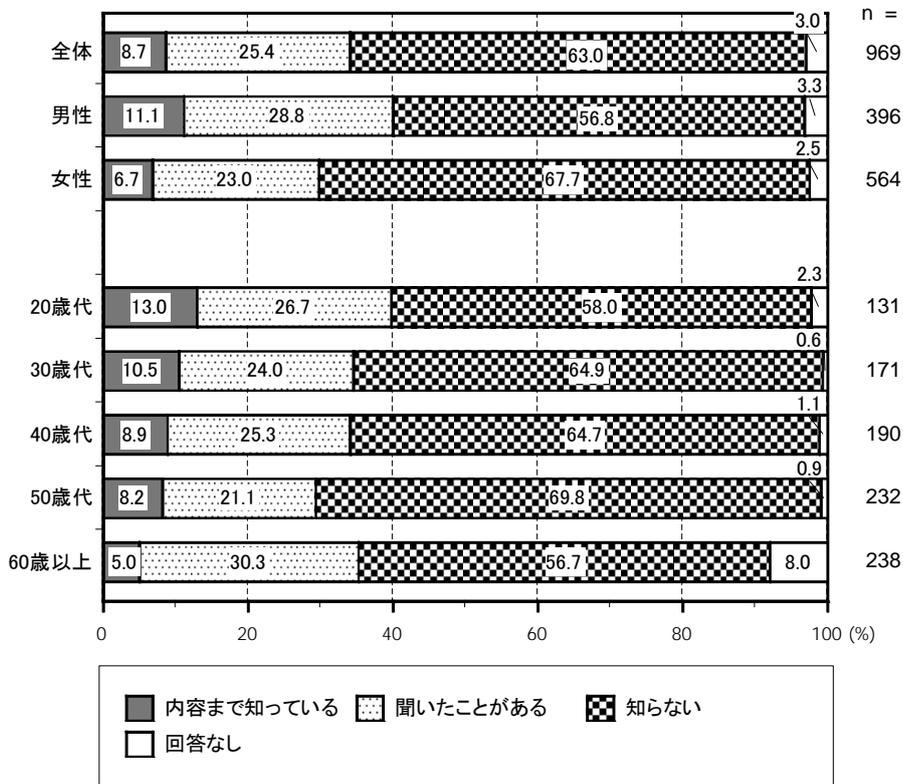
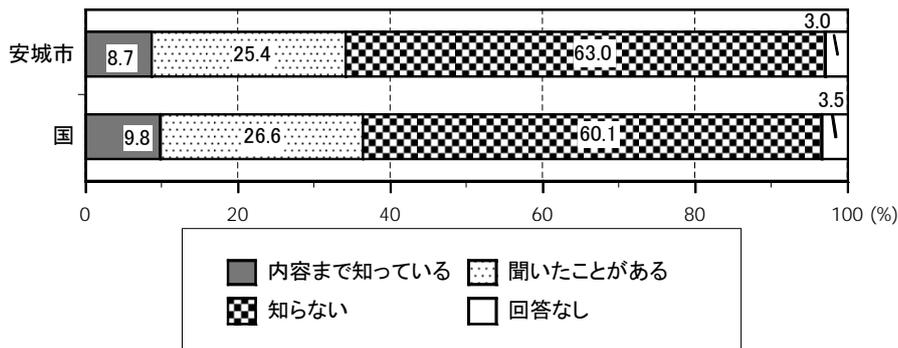


図 ワーク・ライフ・バランスの認知度（比較）



(13) ワーク・ライフ・バランス実現のための努力

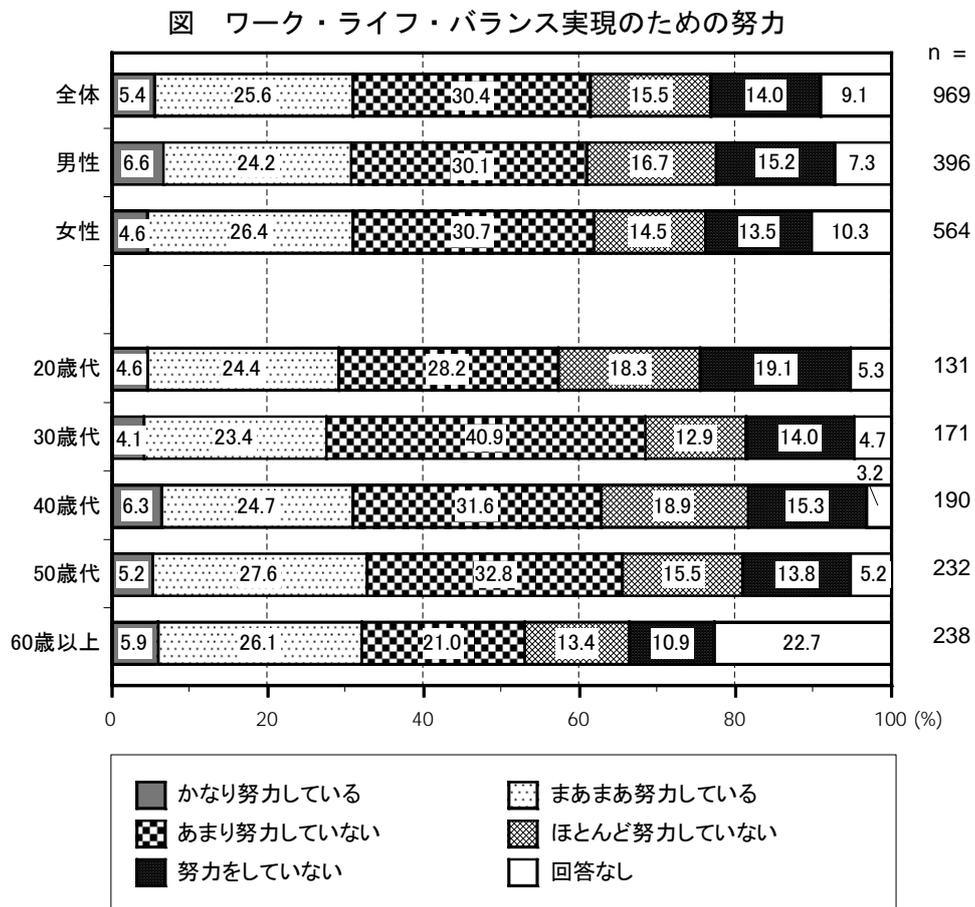
問22 あなたご自身のワーク・ライフ・バランス実現のための努力の状況について教えてください。【〇は1つ】

◆ワーク・ライフ・バランス実現のための努力は、“努力が不足している”が6割近くを占めていますが、60歳以上では、「回答なし」が2割を超えており、高齢者にとってはなじみがなく、分かりにくいものであることが推測されます。

○ワーク・ライフ・バランス実現のための努力は、「あまり努力していない」が30.4%と最も多く、次いで、「まあまあ努力している」は25.6%となっています。

○「努力していない」(14.0%)と「ほとんど努力していない」(15.5%)、「あまり努力していない」(30.4%)を合わせた、“努力が不足している”が59.9%となっています。

○年齢別にみると、「回答なし」について、60歳以上で22.7%となっており、他の年代と比べると、高い割合になっています。



問22で「1」か「2」と答えた方におたずねします。

(14) ワーク・ライフ・バランス実現のために行っていること

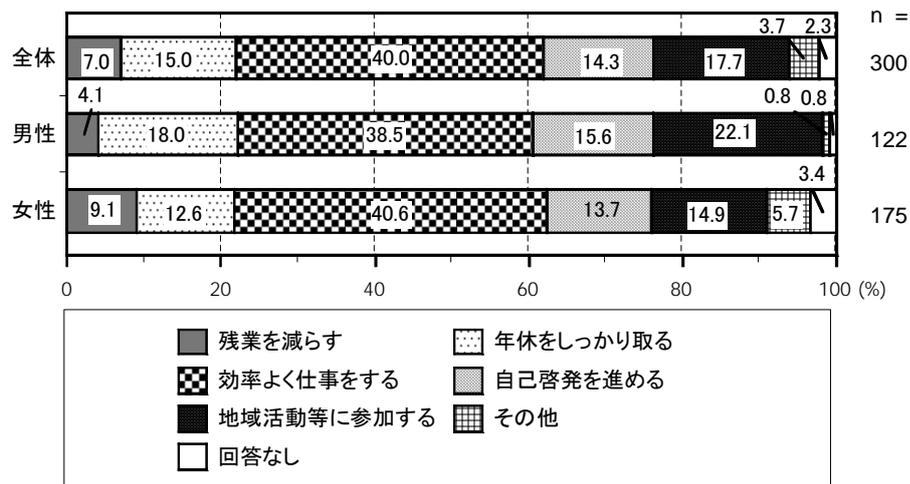
問22-1 あなたがワーク・ライフ・バランス実現のために行っていることをお答えください。
【〇は1つ】

◆「効率よく仕事をする」について、性別に関わらず、4割程度となっています。また、男性では、「地域活動等に参加する」について2割程度あり、女性よりも高い割合となっています。

○ワーク・ライフ・バランス実現のために行っていることは、「効率よく仕事をする」が40.0%と最も多く、次いで、「地域活動等に参加する」が17.7%、「年休をしっかりと取る」が15.0%となっています。

○性別にみると、「地域活動等に参加する」について、男性は22.1%となっており、女性の14.9%と比べると、7.2ポイント上回っています。

図 ワーク・ライフ・バランス実現のために行っていること



(15) ワーク・ライフ・バランス実現のために必要なもの

問23

ワーク・ライフ・バランス実現のために必要だと思うものをお答えください。
【〇は3つまで】

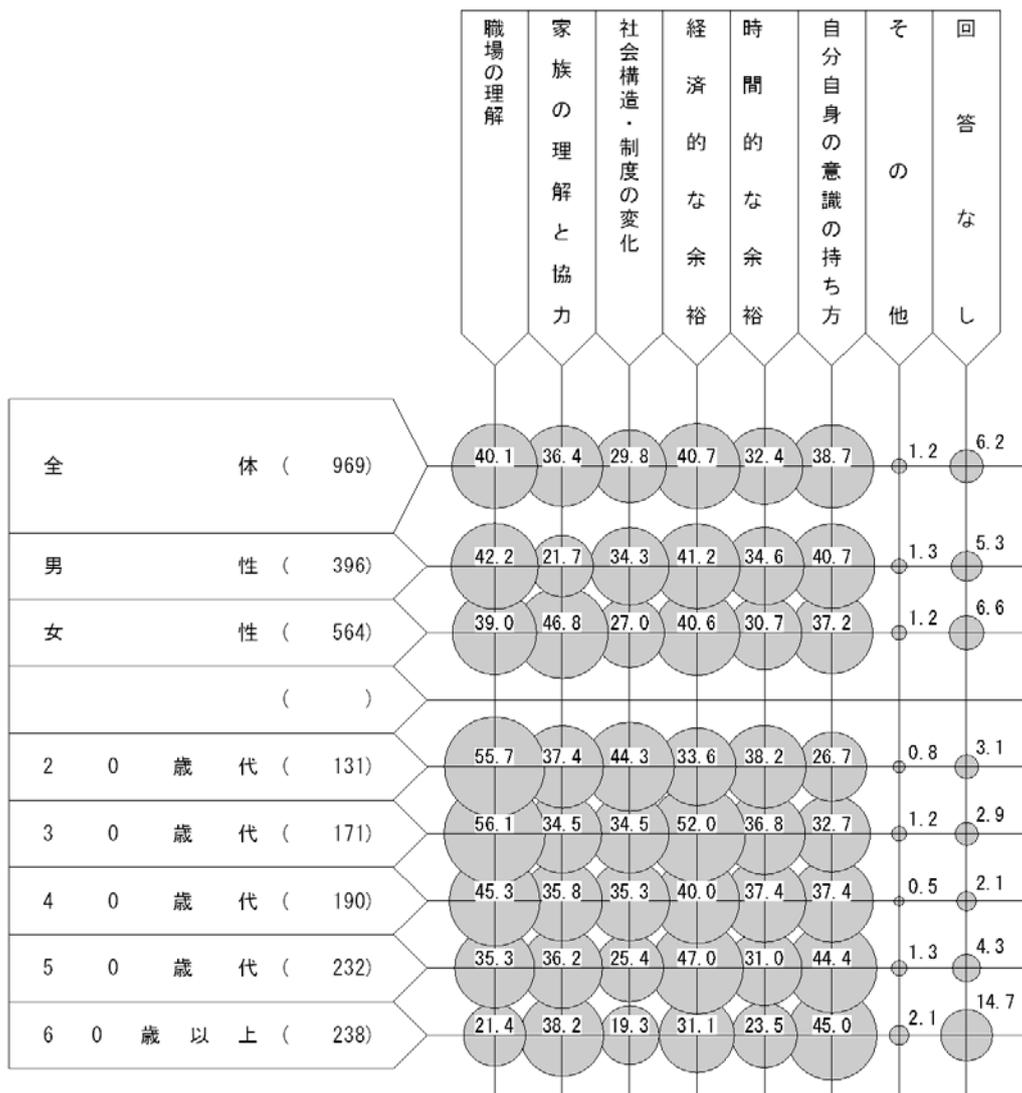
◆ワーク・ライフ・バランス実現のために必要なものは、いずれの項目でも3割から4割となっています。年代が低いほど、「職場の理解」や「社会構造・制度の変化」、「時間的な余裕」が必要だと考えている割合が大きくなる傾向があります。

○ワーク・ライフ・バランス実現のために必要なものは、「経済的な余裕」が40.7%と最も多く、次いで、「職場の理解」が40.1%、「自分自身の意識の持ち方」が38.7%となっています。

○性別にみると、「家族の理解と協力」について、女性では46.8%であり、男性の21.7%と比べると、25.1ポイント上回っています。また、「社会構造・制度の変化」について、男性では34.3%であり、女性の27.0%を、7.3ポイント上回っています。

○年齢別にみると、「職場の理解」や「社会構造・制度の変化」、「時間的な余裕」については、年代が低くなるにつれて割合が大きくなっており、「自分自身の意識の持ち方」については、年代が高くなるにつれて、割合が大きくなっていきます。

図 ワーク・ライフ・バランス実現のために必要なもの



6

地域活動

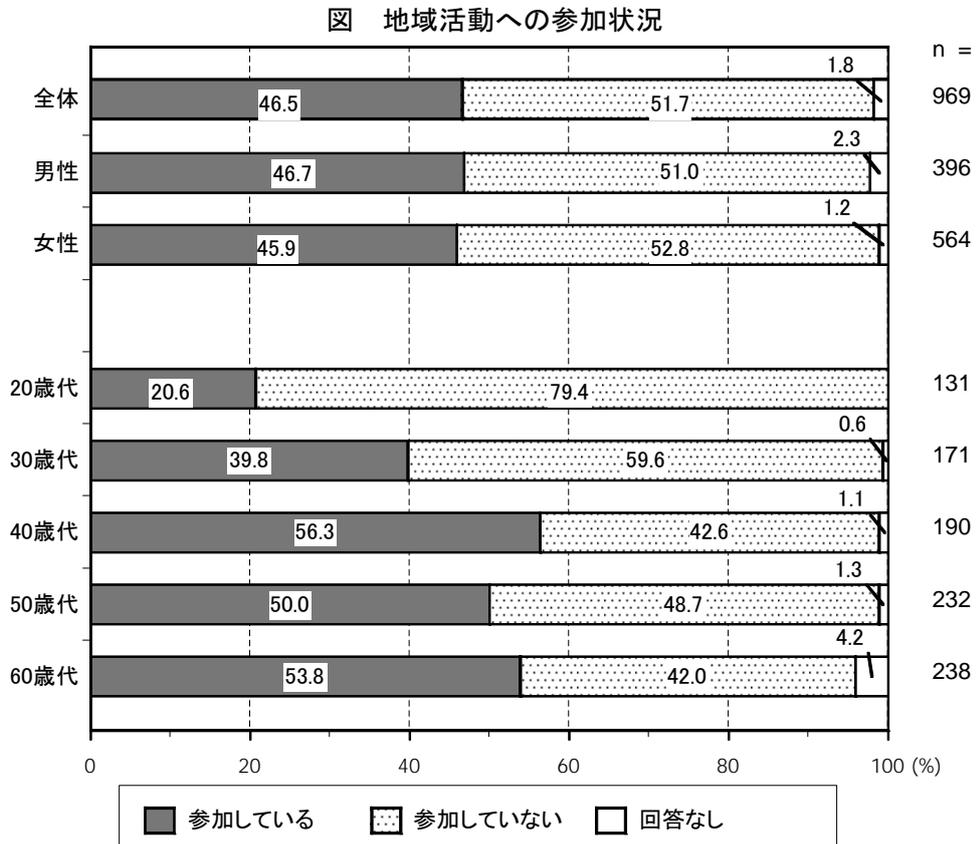
(1) 地域活動への参加状況

問24 あなたは、地域の活動に参加していますか。【○は1つ】

◆地域活動への参加状況は、性別による割合の差はありませんが、「参加している」について、20歳代と30歳代で、4割以下となっており他の年代と比べると、低い割合となっています。

○地域活動への参加状況は、「参加していない」が最も多く51.7%、次いで「参加している」が46.5%となっています。

○年齢別にみると、「参加している」について、20歳代で20.6%、30歳代で39.8%と、他の年代と比べると、低い割合となっています。



問24で「1」と答えた方におたずねします。

(2) 参加している地域活動

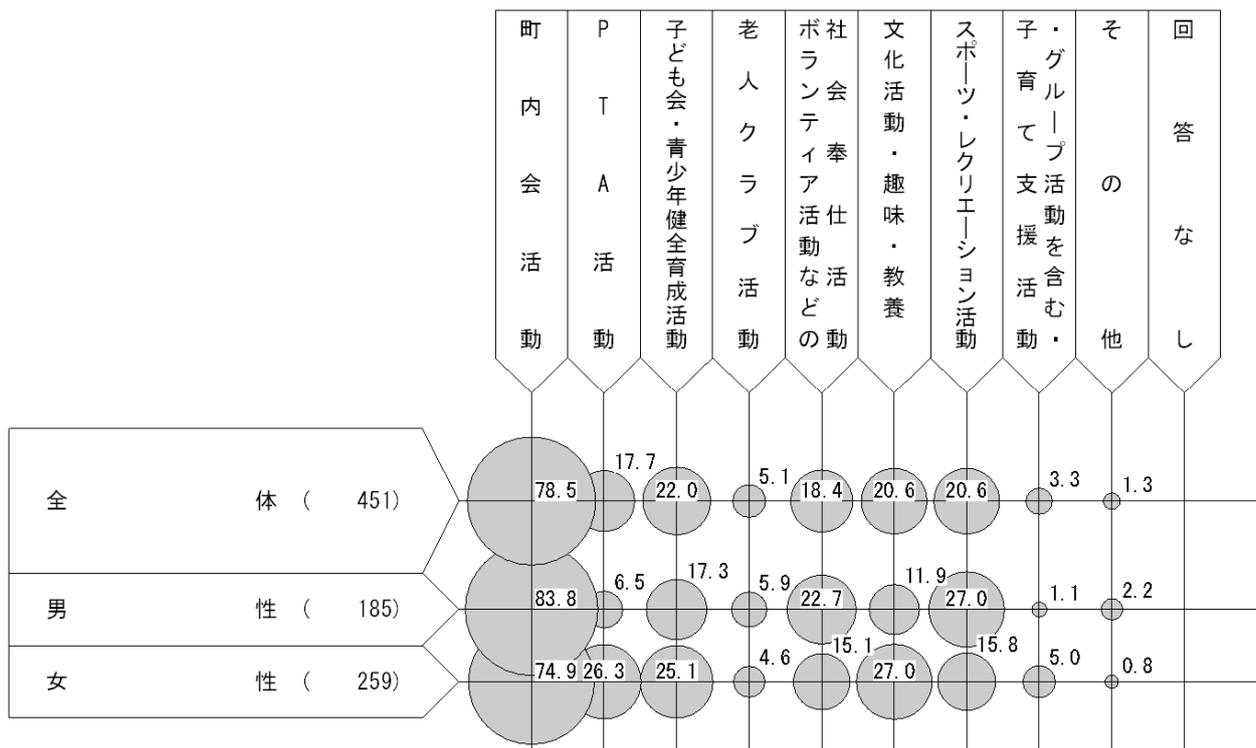
問24-1 あなたは、地域のどのような活動に参加していますか。【あてはまるものすべてに○】

◆参加している地域活動は、「町内会活動」が男性で83.8%、女性で74.9%と、最も高い割合となっています。

○参加している地域活動について、「町内会活動」が78.5%と最も多く、次いで、「子ども会・青少年健全育成活動」が22.0%、「文化活動・趣味・教養」と「スポーツ・レクリエーション活動」が20.6%となっています。

○性別にみると、「町内会活動」については、男性で83.8%、女性で74.9%と、ともに高い割合となっています。「PTA活動」や「子ども会・青少年健全育成活動」、「文化活動・趣味・教養」については、男性よりも女性の割合が高くなっており、「ボランティア活動などの社会奉仕活動」や「スポーツ・レクリエーション活動」については、女性よりも男性の割合が高くなっていきます。

図 参加している地域活動



問24で「2」と答えた方におたずねします。

(3) 地域活動に参加しない理由

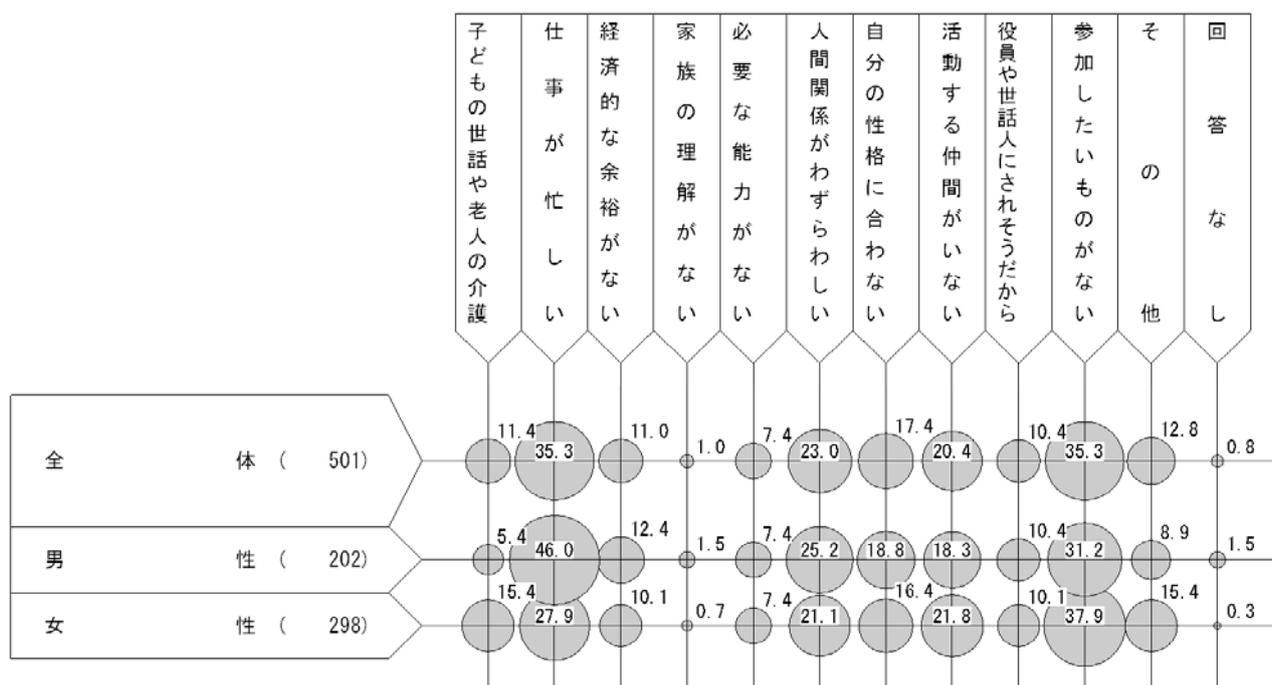
問24-2 地域の活動に参加しない理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

◆地域活動に参加しない理由は、「仕事が忙しい」と「参加したいものがない」が最も多く、約3割となっています。また、女性では、「子どもの世話や老人の介護」の割合が高くなっており、家庭生活が地域活動への参加を踏みとどまらせていると推測されます。

○地域活動に参加しない理由は、「仕事が忙しい」と「参加したいものがない」が、35.3%と最も多くなっており、次いで、「人間関係がわずらわしい」が23.0%、「活動する仲間がいない」が20.4%となっています。

○性別にみると、男性では、「仕事が忙しい」が46.0%であり、女性の27.9%を18.1ポイント上回っています。また、女性では、「子どもの世話や老人の介護」が15.4%であり、男性の5.4%を10ポイント上回っています。

図 地域活動に参加しない理由



(4) 今後地域で活動したいもの

問25 あなたは、今後何か地域で活動をしたいと思うものがありますか。【あてはまるものすべてに○】

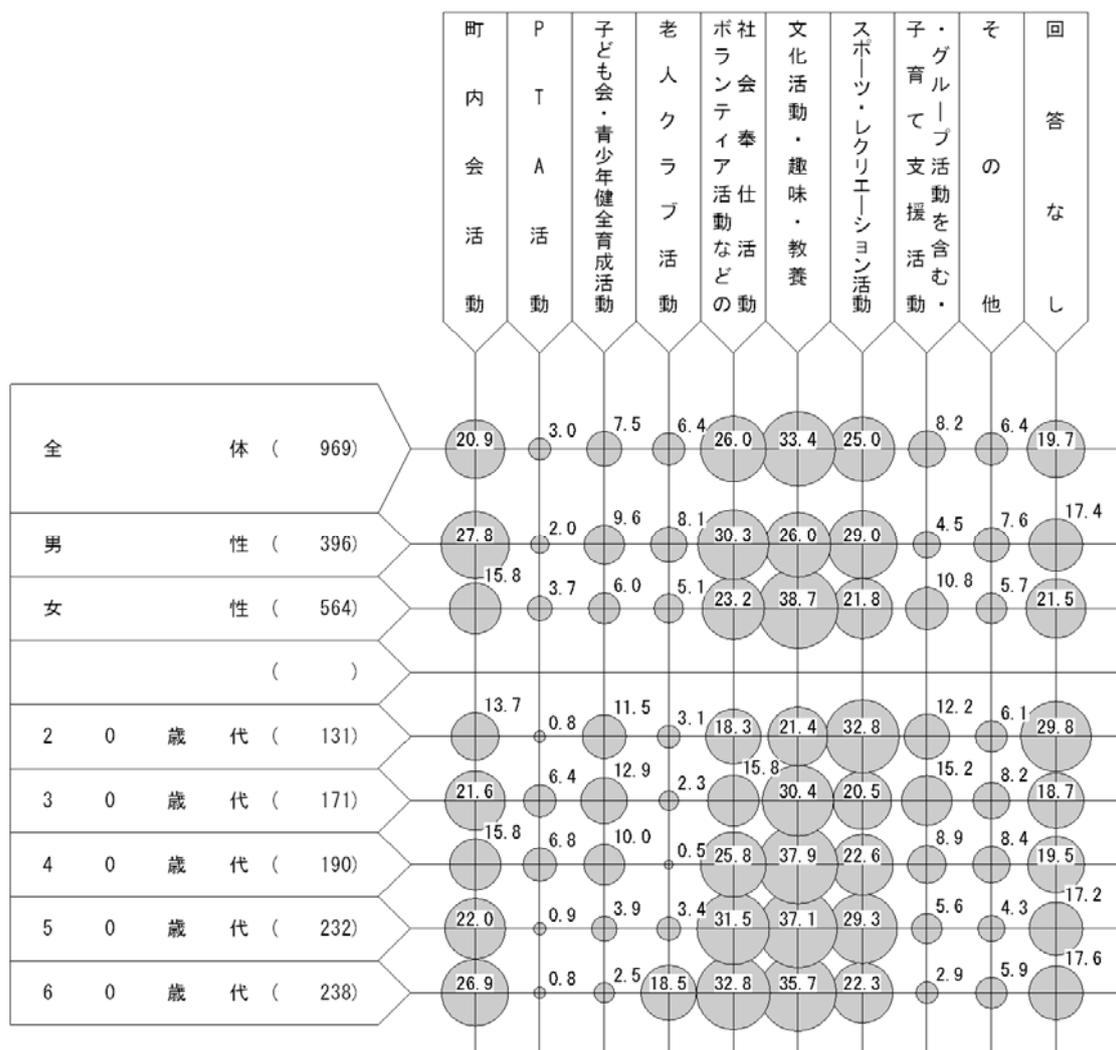
◆今後地域で活動したいものは、「文化活動・趣味・教養」が最も多くなっており、特に女性の約4割が関心を持っています。

○今後地域で活動したいものは、「文化活動・趣味・教養」が33.4%と最も多く、次いで、「ボランティア活動などの社会奉仕活動」が26.0%、「スポーツ・レクリエーション活動」が25.0%、「町内会活動」が20.9%となっています。

○性別にみると、「文化活動・趣味・教養」について、女性では38.7%であり、男性の26.0%を12.7ポイント上回っています。また、「町内会活動」について、男性では、27.8%であり、女性の15.8%を12ポイント上回っています。

○年齢別にみると、20歳代で「スポーツ・レクリエーション活動」が32.8%、30歳代で「文化活動・趣味・教養」が30.4%、40歳代で「文化活動・趣味・教養」が37.9%、50歳代で「文化活動・趣味・教養」が37.1%、60歳以上で「文化活動・趣味・教養」が35.7%と最も多くなっています。

図 今後地域で活動したいもの



7

ドメスティック・バイオレンス

(1) ドメスティック・バイオレンスの有無

問26

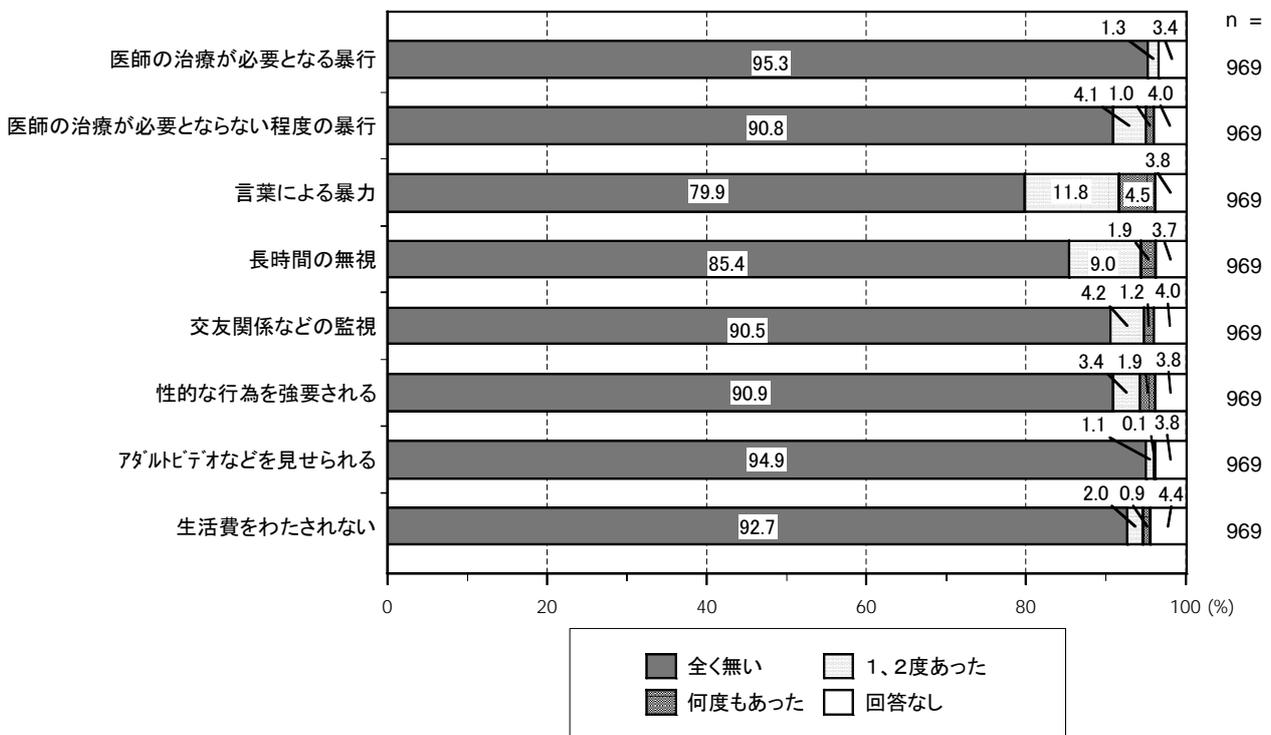
男性・女性に関わらず、おたずねします。あなたはこれまでに、配偶者や恋人などから次にあげるような行為を受けたことがありますか。【それぞれ○は1つ】

◆ドメスティック・バイオレンスについては、全ての項目で、8割近くの人が、「全く無い」と回答しています。

○ドメスティック・バイオレンスについては、全ての項目で、8割近くの人が、「全く無い」と回答しています。

○「1、2度あった」については、言葉による暴力が11.8%、長時間の無視が9.0%と、他の項目と比べると、多くなっています。

図 ドメスティック・バイオレンスの有無



◆安城市は、医師の治療が必要となる暴行や医師の治療が必要とされない程度の暴行については、国よりも“DVの経験がある”が、国よりも16.7ポイント下回っています。

◆前回と比較すると、全ての項目で、回答の割合に大きな変化はありませんが、“DVの経験がある”は無くなっていません。

○安城市は、医師の治療が必要となる暴行や医師の治療が必要とされない程度の暴行については、国よりも、「1、2度あった」と「何度もあった」を合わせた、“DVの経験がある”割合が、16.7ポイント下回っています。

○前回と比較すると、全ての項目で、回答の割合に大きな変化はありません。

図 ドメスティック・バイオレンスの有無（国・県との比較）

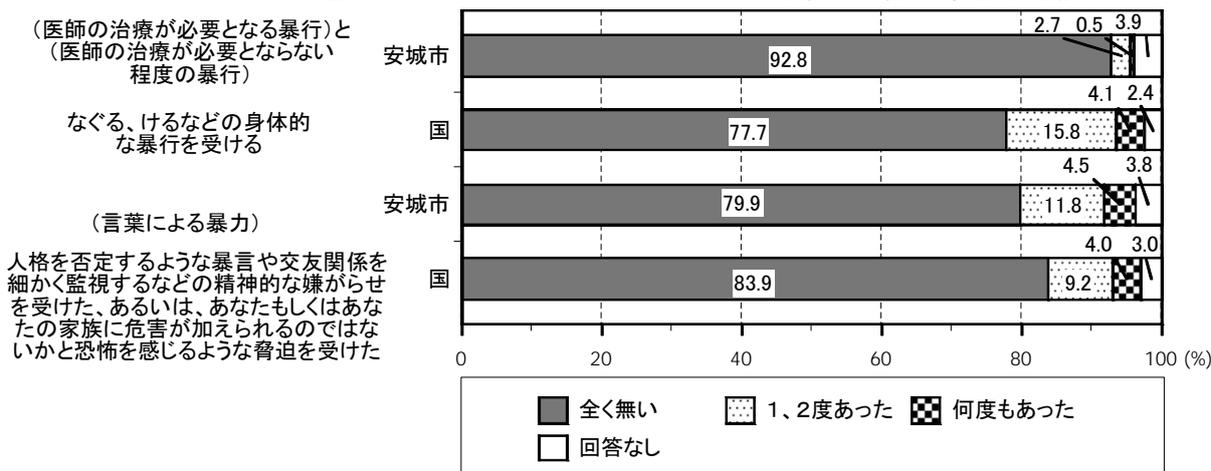
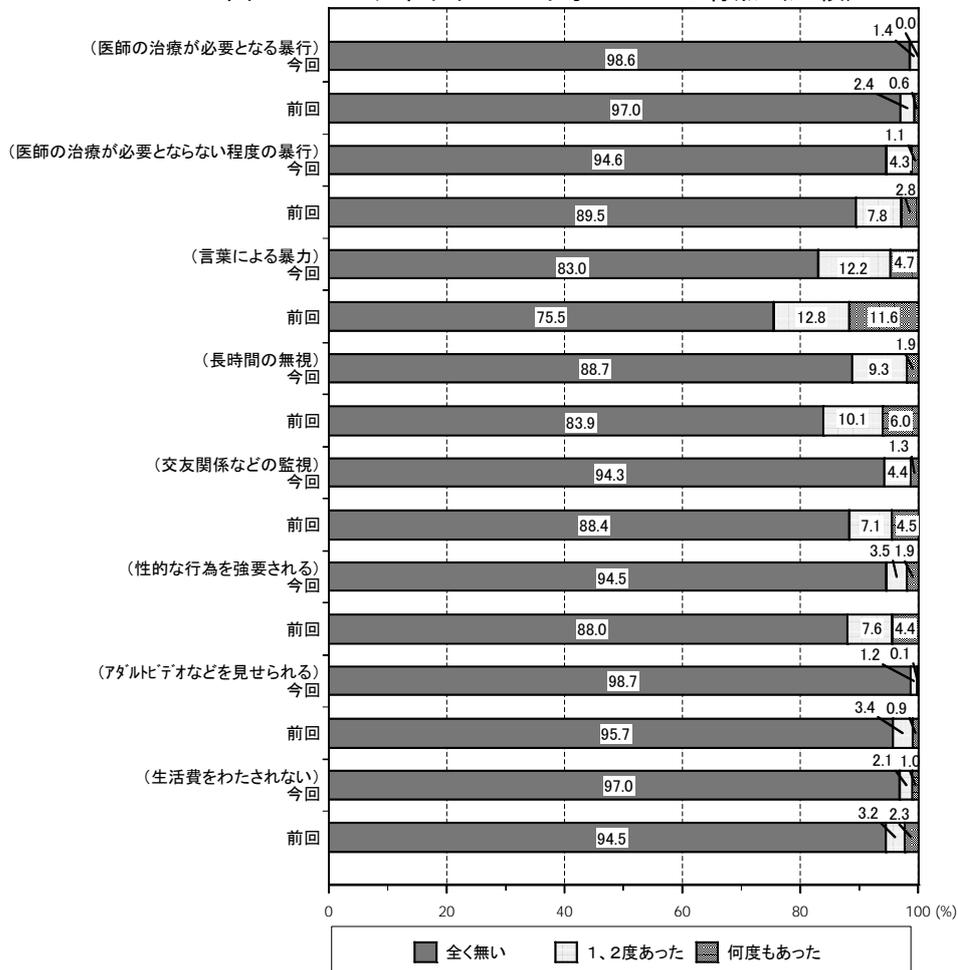


図 ドメスティック・バイオレンスの有無（比較）



問26で「1、2度あった」「何度もあった」に1つでも○をつけた方におたずねします。

(2) ドメスティック・バイオレンスの相談

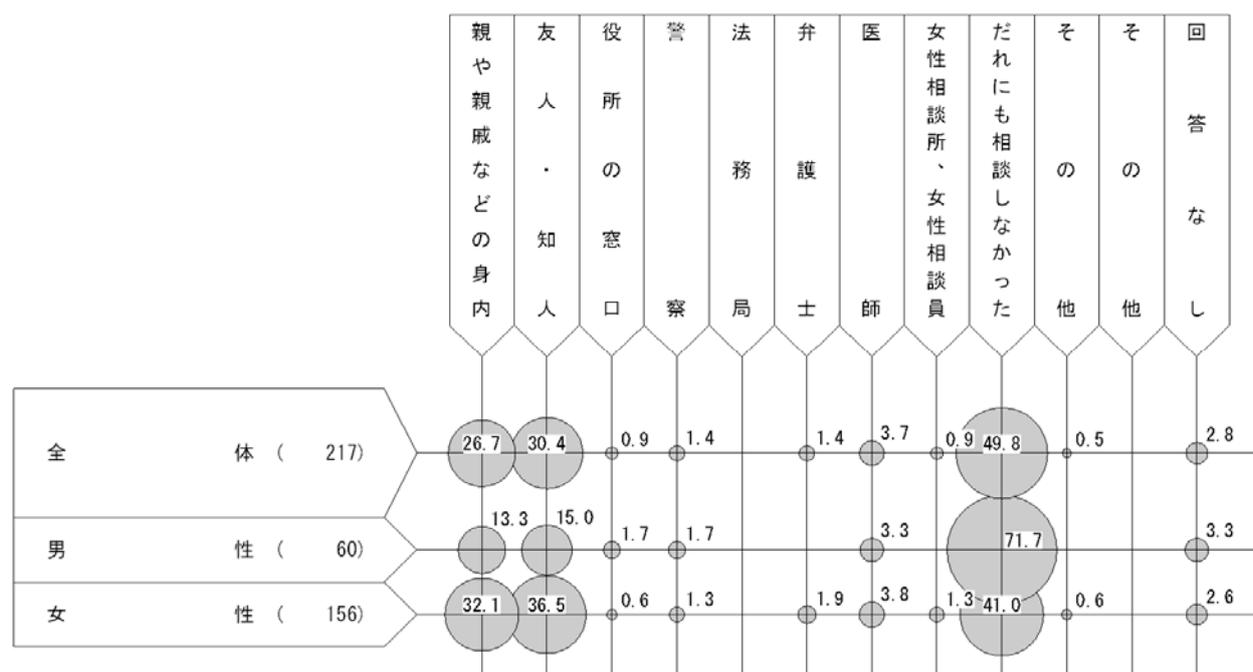
問26-1 そのような行為を受けた後、だれか(どこか)に打ち明けたり、相談したりしましたか。【○は3つまで】

◆ドメスティック・バイオレンスの相談は、「だれにも相談しなかった」が約5割となっています。一方、公的機関などへの相談は、8.3%に留まり、大変低い割合となっています。

○ドメスティック・バイオレンスの相談は、「だれにも相談しなかった」が49.8%と最も多く、次いで、「友人、知人」が30.4%、「親や親戚などの身内」が26.7%となっています。一方、「役所の窓口」、「警察」、「法務局」といった公的機関あるいは、「弁護士」、「医師」への相談は合わせて8.3%に留まっています。

○性別にみると、男性で「だれにも相談しなかった」が71.7%であり、女性の41.0%を30.7ポイント上回っています。女性では、「友人、知人」が36.5%であり、男性の15.0%を、21.5ポイント上回っています。また、「親や親戚などの身内」が32.1%であり、男性の13.3%を18.8ポイント上回っています。

図 ドメスティック・バイオレンスの相談



問26-1で「9」と答えた方におたずねします。

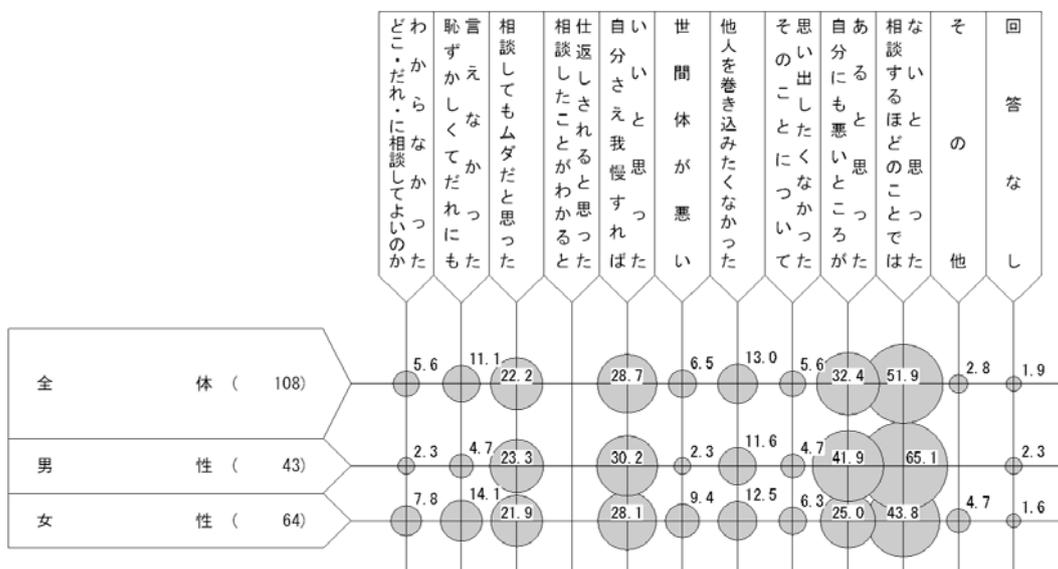
(3) だれにも相談しなかった理由

問26-2 だれにも相談しなかった理由はなんですか。【すべてに○】

◆だれにも相談しなかった理由は、「相談するほどのことではないと思った」が約5割となっています。

○だれにも相談しなかった理由は、「相談するほどのことではないと思った」が51.9%と最も多く、次いで、「自分にも悪いところがあると思った」が32.4%、「自分さえ我慢すればいいと思った」が28.7%となっています。

図 だれにも相談しなかった理由



(4) ドメスティック・バイオレンスに対して必要な行政の対応

問27

配偶者や恋人からの暴力(ドメスティック・バイオレンス:DV)に対して、行政はどのような対応をする必要があると思いますか。【〇は3つまで】

◆ドメスティック・バイオレンスに対して必要な行政の対応は、「DV被害者のための相談体制を整える」が49.8%と最も多くなっていますが、女性やDV経験者では、ともに「DV被害者が逃れるための緊急一時保護施設活動を支援する」が最も多くなっています。

○ドメスティック・バイオレンスに対して必要な行政の対応は、「DV被害者のための相談体制を整える」が49.8%と最も多く、次いで、「DV被害者が逃れるための緊急一時保護施設活動を支援する」が49.0%、「DV被害から逃れた人が自立して生活できるように支援する」が44.7%となっています。

○性別にみると、女性で「DV被害者が逃れるための緊急一時保護施設活動を支援する」が52.5%であり、男性の43.7%と比べると、8.8ポイント上回っています。

○DV経験者は、「DV被害者が逃れるための緊急一時保護施設活動を支援する」が49.8%と最も多く、次いで、「DV被害から逃れた人が自立して生活できるように支援する」で41.9%となっています。

図 DVに対して必要な行政の対応

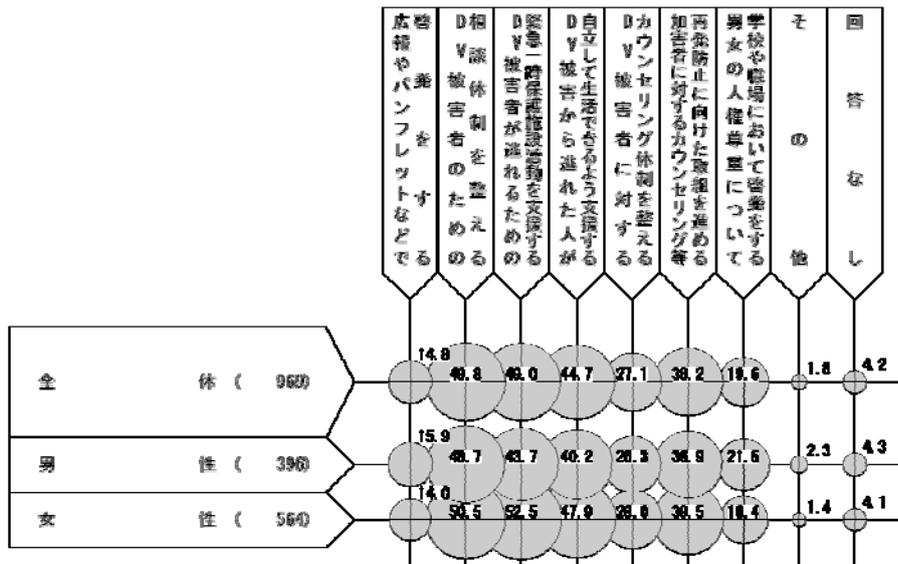
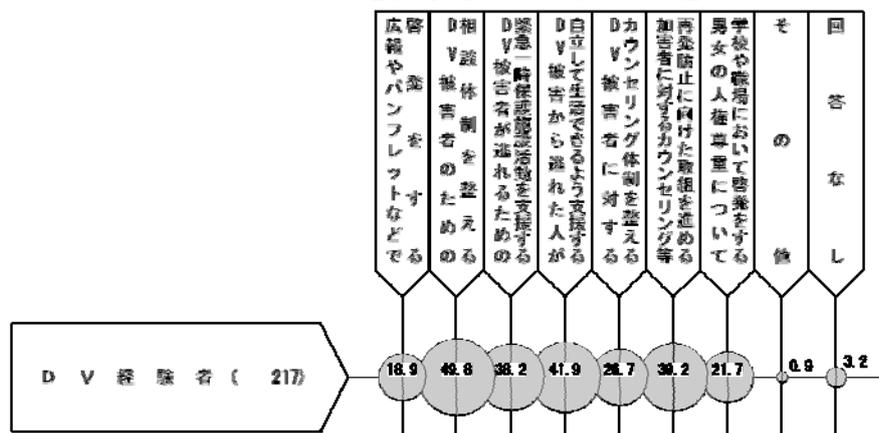


図 DVに対して必要な行政の対応 (DV経験者)



8

男性と女性の立場やありかた

(1) 男性・女性の立場やありかたについて

問28

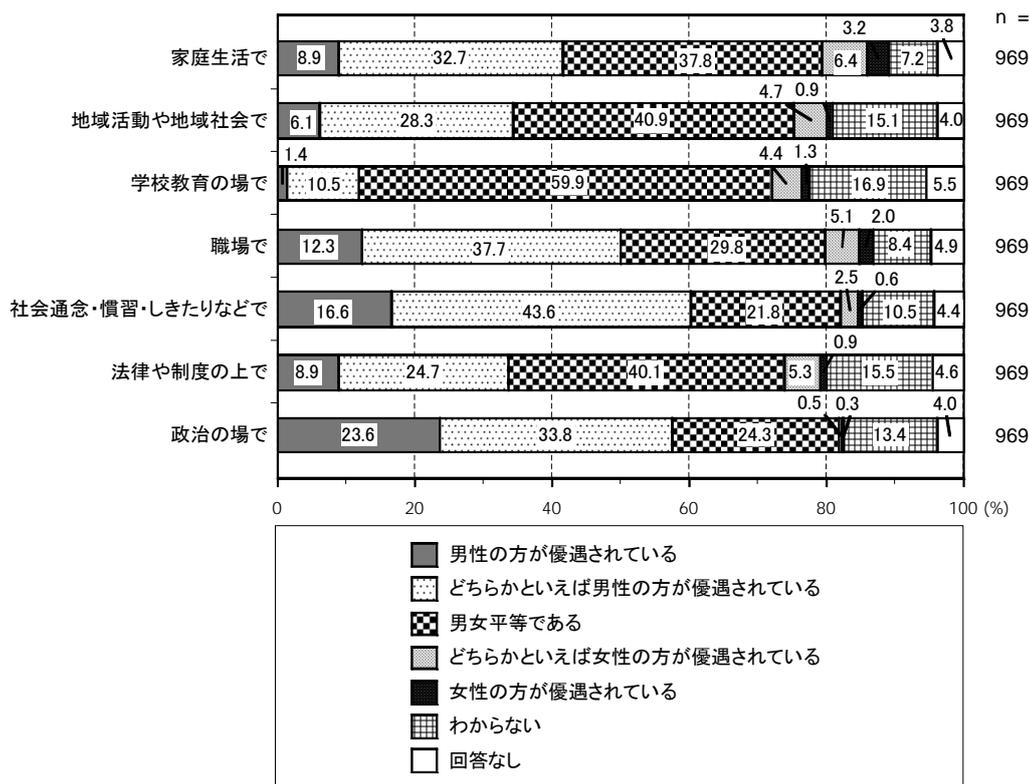
次にあげる項目において、男性と女性の立場やあり方はどのようだと思いますか。それぞれの項目について、あなたの考えにもっとも近いものをお答えください。【〇は1つ】

◆男性・女性の立場やありかたについて、「男女平等である」が5割を超えたのは、学校教育の場(59.9%)であり、その他の項目については、5割を下回っています。

○男性・女性の立場やありかたについて「男女平等である」は、学校教育の場で59.9%と最も多く、次いで、地域活動や地域社会で40.9%となっています。

○社会通念・慣習・しきたりなどで、「男性の方が優遇されている」と「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」を合わせた“男性が優遇されている”が60.2%と最も多く、次いで、政治の場で57.4%となっています。

図 男性・女性の立場やありかたについて

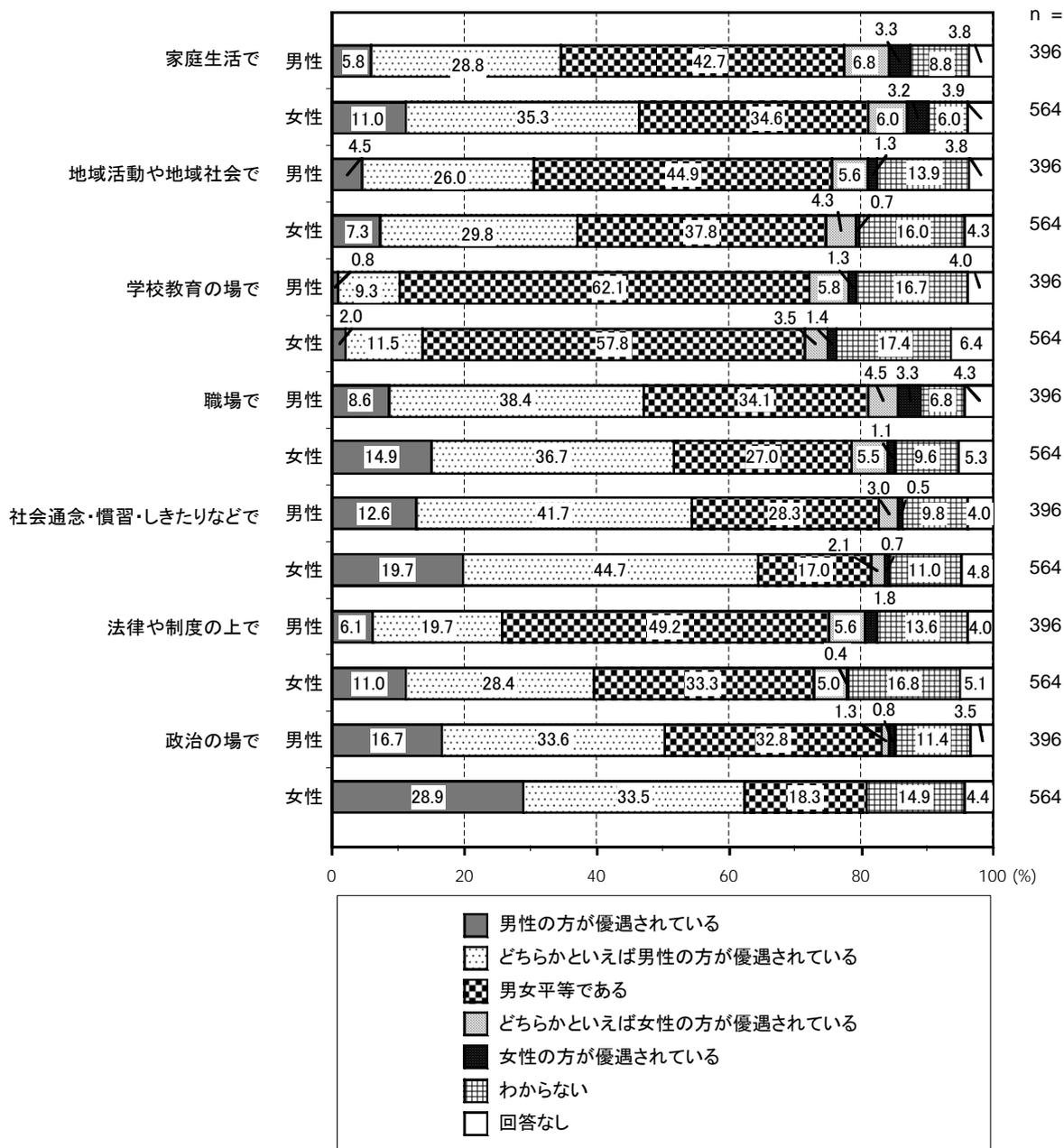


◆女性は、政治の場、家庭生活、社会通念・慣習・しきたりなどで、“男性が優遇されている”と考えています。

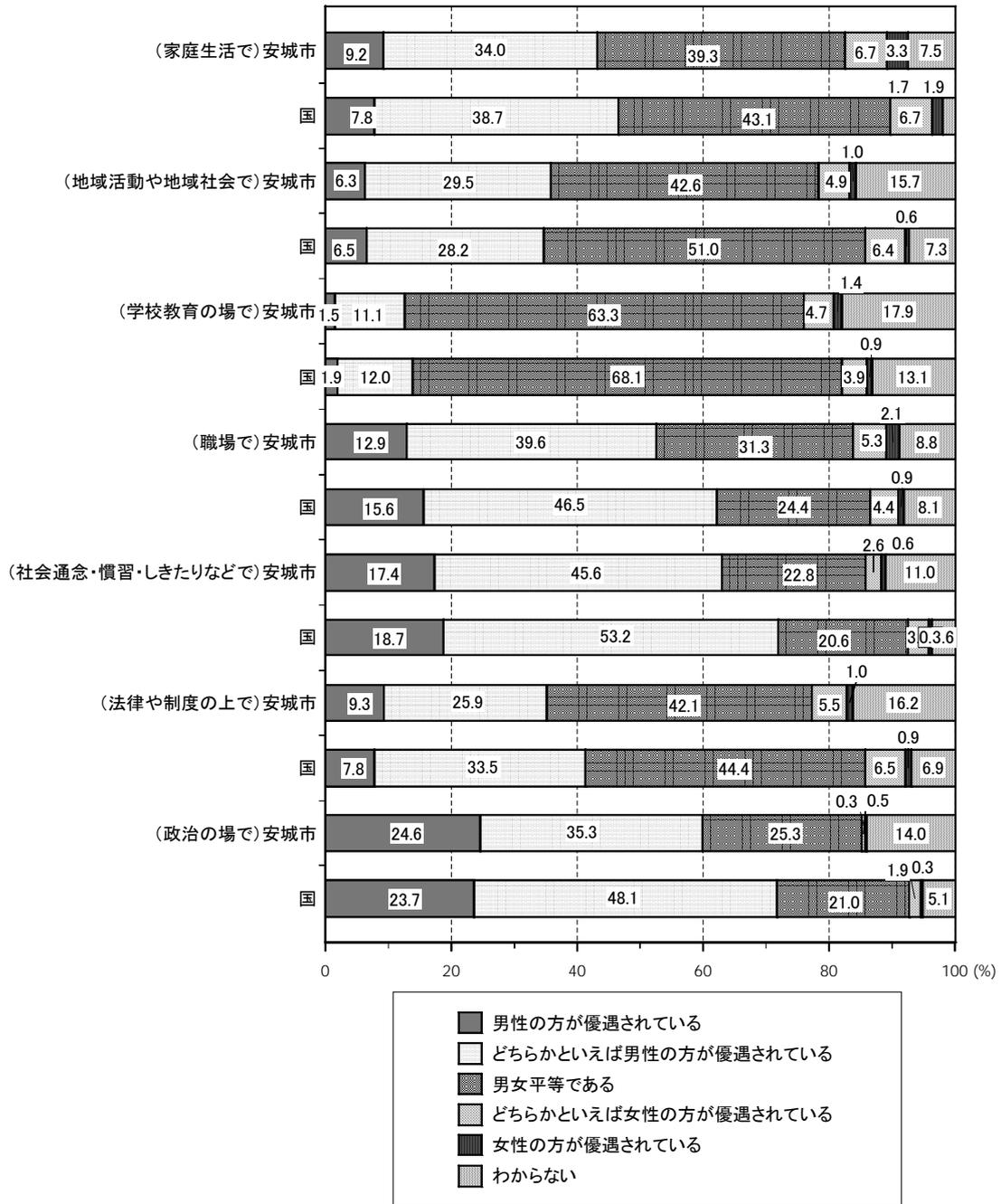
○性別にみると、女性で、政治の場で“男性が優遇されている”が62.4%であり、男性の50.3%と比べると、12.1ポイント上回っています。

○また、男性と比べて女性が“男性が優遇されている”と考えている項目としては、政治の場、家庭生活、社会通念・慣習・しきたりなどとなっており、10ポイント以上の差があります。

図 男性・女性の立場やありかたについて（性別）



<参考> 図 男性・女性の立場やありかたについて（国との比較）



※回答なしを集計していないため、他のグラフと数値が異なる

9

市政への女性意見の反映

(1) 社会問題や市政への関心の有無

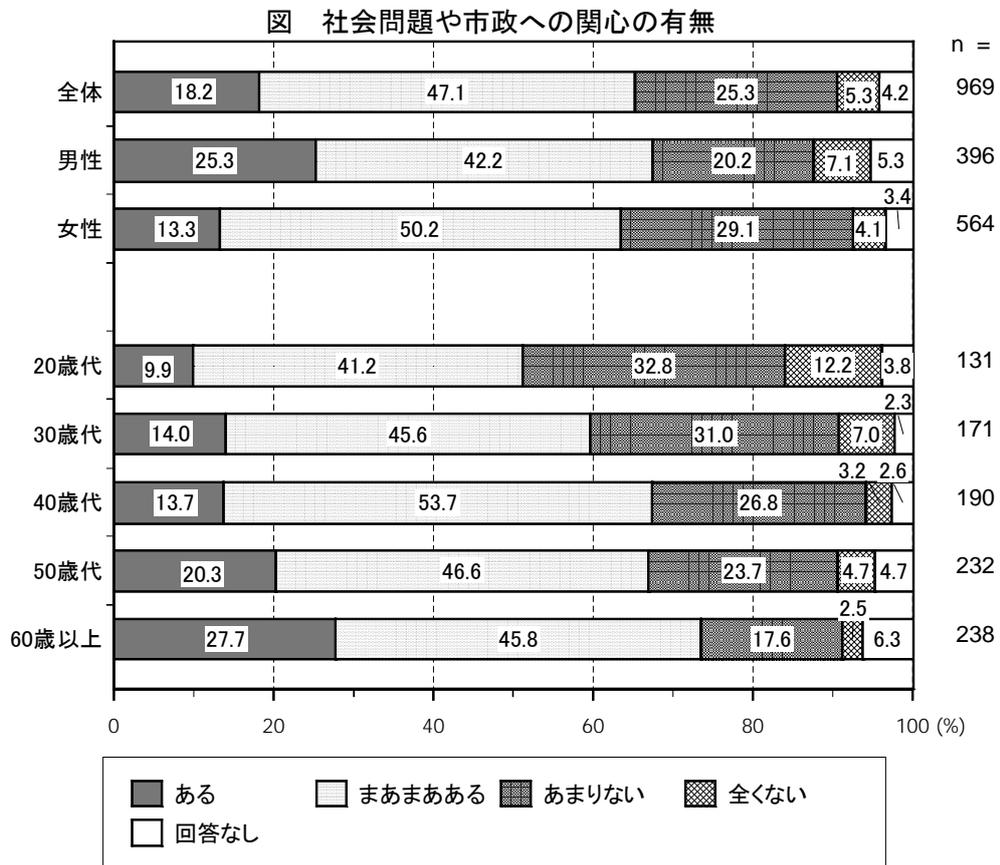
問29 あなたは、社会問題や市政について関心がありますか。【〇は1つ】

◆社会問題や市政への関心は、“なんらかの関心を持っている”が約7割を占めています。

○社会問題や市政への関心は、「まあまあある」が47.1%と最も多く、次いで、「あまりない」が25.3%、「ある」が18.2%となっています。「ある」と「まあまあある」を合わせた“なんらかの関心を持っている”割合は、65.3%となっています。

○性別にみると、男性で「ある」が25.3%となっており、女性の13.3%と比べると、12ポイント上回っています。

○年齢別にみると、年代が高くなるにつれて、“なんらかの関心を持っている”割合が多くなる傾向にあります。



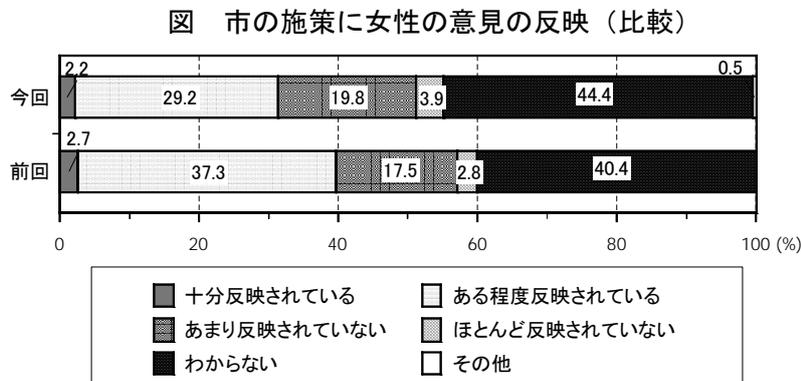
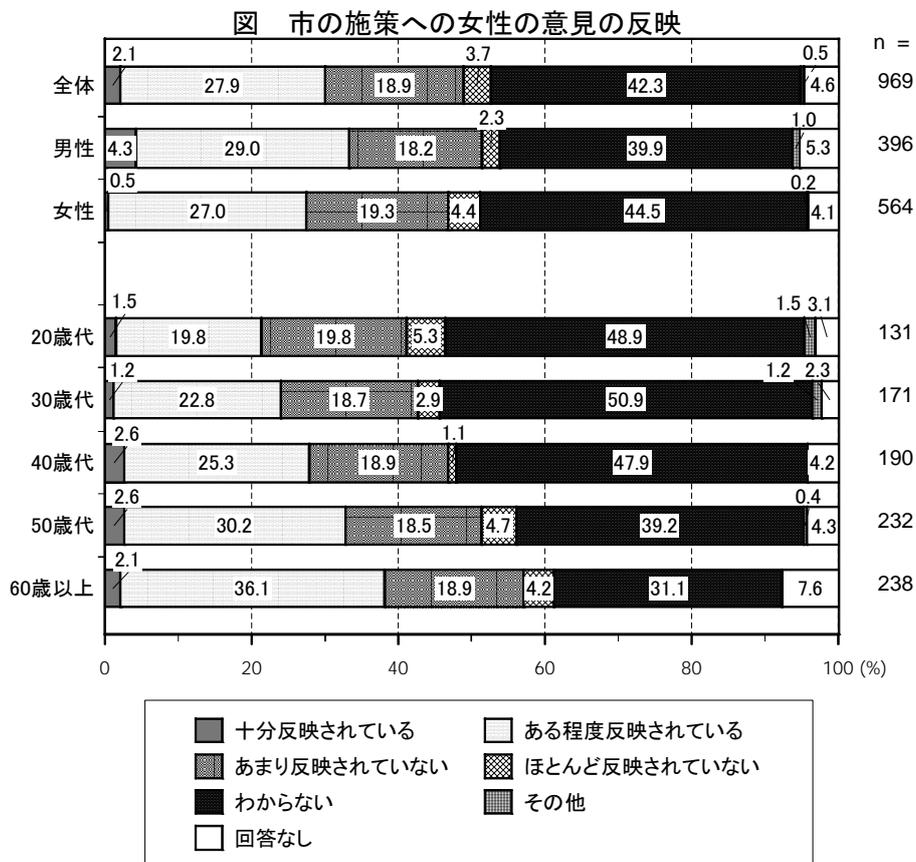
(2) 市の施策への女性の意見の反映

問30 市の施策に女性の意見や考え方が反映されていると思いますか。【○は1つ】

◆市の施策への女性の意見の反映は、「わからない」が約4割と最も多いものの、「ある程度反映されている」が約3割となっています。

○市の施策への女性の意見の反映は、「わからない」が42.3%と最も多く、次いで、「ある程度反映されている」が27.9%、「あまり反映されていない」が18.9%となっています。

○「ある程度反映されている」について29.2%となっており、前回と比較すると、8.1ポイント下回っています。



問30で「3」か「4」と答えた方におたずねします。

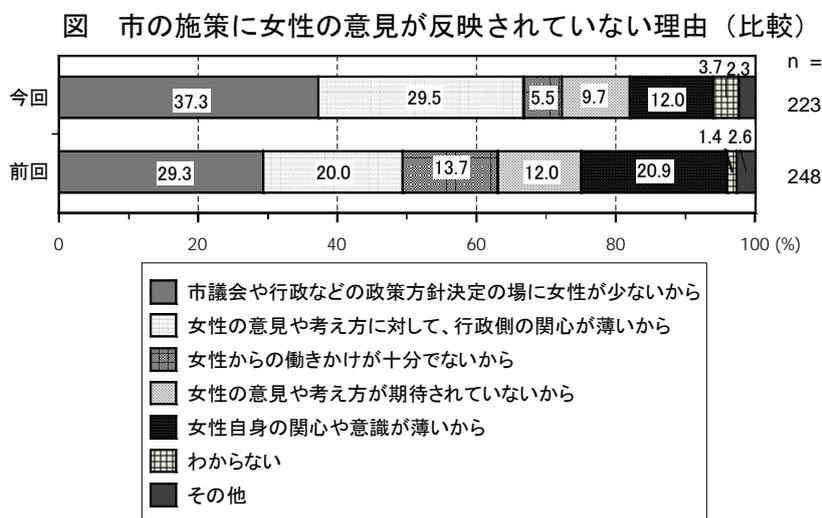
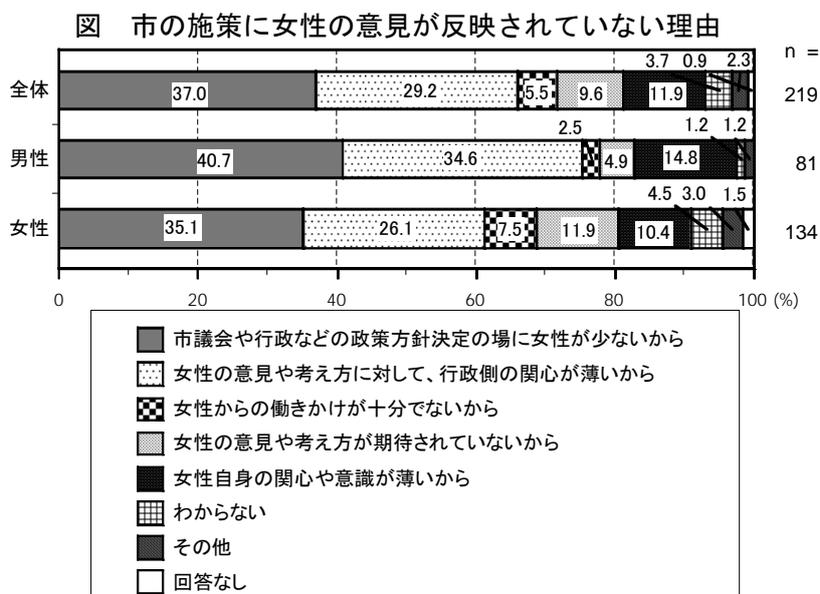
(3) 市の施策に女性の意見が反映されていない理由

問30-1 市の施策に女性の意見や考え方が反映されていないと思われる理由は何ですか。【〇は1つ】

◆市の施策に女性の意見が反映されていない理由は、「市議会や行政などの政策方針決定の場に女性が少ないから」が約4割、「女性の意見や考え方に対して、行政側の関心が薄いから」が約3割となっています。

○市の施策に女性の意見が反映されていない理由は、「市議会や行政などの政策方針決定の場に女性が少ないから」が37.0%と最も多く、次いで、「女性の意見や考え方に対して、行政側の関心が薄いから」が29.2%となっています。

○「市議会や行政などの政策方針決定の場に女性が少ないから」が8.0ポイント、「女性の意見や考え方に対して、行政側の関心が薄いから」が9.5ポイント、前回よりも上回っています。



10

男女共同参画に関する考え方

(1) 男女共同参画に対してできること

問31

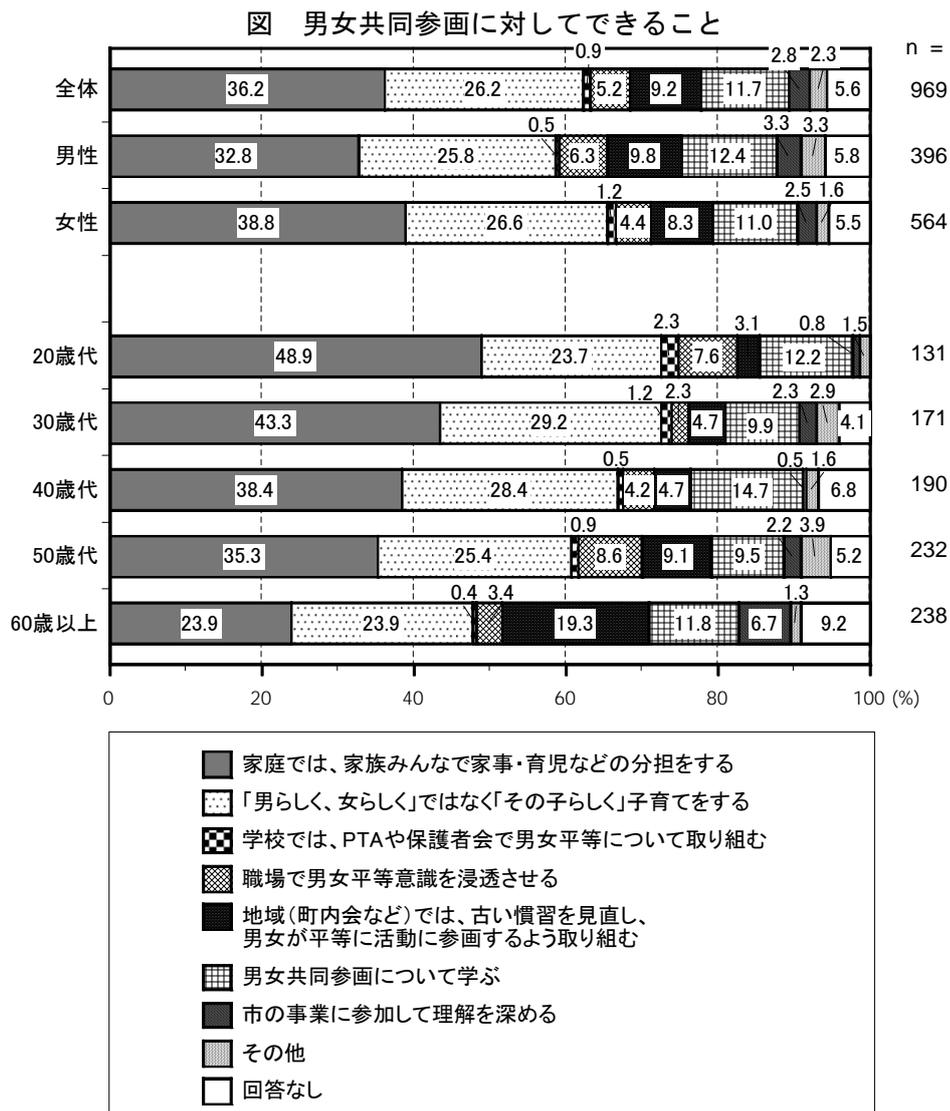
男女共同参画は、私たち一人ひとりの身近な課題です。あなたなら、どんなことができると思いますか。【○は1つ】

◆男女共同参画に対してできることは、「家庭では、家族みんなで家事・育児などの分担をする」が4割近くであり、最も多くなっています。

○男女共同参画に対してできることは、「家庭では、家族みんなで家事・育児などの分担をする」が36.2%と最も多く、次いで、「男らしく、女らしくではなく、その子らしく子育てをする」が26.2%となっています。

○性別にみると、女性で「家庭では、家族みんなで家事・育児などの分担をする」について38.8%となっており、男性の32.8%と比べると、6.0ポイント上回っています。

○年齢別にみると、年代が高くなるにつれて、「家庭では、家族みんなで家事・育児などの分担をする」割合が少なくなる傾向があります。



問32 男女共同参画に関する安城市の取り組みに関するご意見等、ご自由にお書きください。

◆自由意見については、約2割の人から回答があり、意見数は185件でした。

○自由意見については、696人中164人（16.9%）から回答があり、意見数は185件でした。

○自由意見の内、特に多かった項目としては、「男女共同参画の形成に必要なこと」（70件）、「男女共同参画社会に関する考え方について」（39件）などの意見でした。

男女共同参画について（19件）	性別	年齢	中学校区
若い人が進んで参画できる状態を整えて欲しい。	女性	60歳代	東山中学校
今まで男女共同参画に関して考えたことはありませんでしたが、これからの時代は男女平等があたりまえになってほしいと思う。	女性	40歳代	安城南中学校
男女共同参画事業については、男女が平等であるべき考えで大賛成。しかし、私のように昭和の始め生まれの者は男性社会で男優先の考え方がしっかりと入っていて、女性に対する優しさとか理解が無く、ほとんど自分本位に事を進め、女性は泣き寝入り状態が多いと思う。これからの若い人達には、人権を尊重し、男女平等等の考え方が普通の社会になるよう望む。	女性	70歳以上	桜井中学校
今回のアンケートで初めて「男女共同参画」を知った。とても良いことだと思うので、今後もっともっと推進していただきたいと思う。安城市の今までの具体的施策についても理解できていないので、これからは目にとめる事から始めようと思う。	女性	40歳代	安祥中学校
男女共同参画ですので、何事にも全員で協力をして、安城市又は国を盛り上げて行く事を望む。	男性	70歳以上	東山中学校
きちんと進められることを希望する。	男性	40歳代	安城北中学校
このアンケート結果に基づき、分析、確実な裏付け等を行い男女共同参画の施策の見直し及び実行を積極的に進めてほしい。	男性	60歳代	篠目中学校
68歳の男性だが、生まれ育った環境・価値観が男社会だった。女性の人権についても一つ一つ制度を見直していかなければならないと痛感した。まずできることを「家庭の中」で実行していく。このアンケートを機会として。	男性	60歳代	安城北中学校
一人の人間として男女関係なく友人は沢山いる。女性だからと言われると悔しくなる。一人で外国（インド・タイ・フランス・屋久島）に行くと外国人は驚いている。将来は外国で働いて生活するので、今は色々な事に努力している。男女共同参画大賛成、男性に頼らずバリバリ働きたい。	女性	20歳代	篠目中学校
それによって社会が変わっていったら良い。	女性	20歳代	東山中学校
存在を知らない取り組みだったので、とても考えさせられた。女の子なんだから、女の子らしくと口うるさく育ったので余計に反発してきた面、身にしみ付いているのをあらためて感じた。古き良き時代の考え方を持つ方が多くいるので難しい取り組みだと思うが、男女ではなく一人一人を尊重できるように、誰でも発言ができ希望を叶える可能性のある社会のなるとよいと思う。	女性	30歳代	わからない
男と女は生まれた時からそれぞれ役割が異なるから、男は家を守る、女はそれを補佐する、が理想と思う。だから、ある事については男性、ある事については女性と、その特性に合った立場に立った役割を行なっていくのが良いと思う。男の適した役、女の適した役、それを伸ばす様に進んで行けば良いと思う。	男性	60歳代	東山中学校
必要な取り組みに対する活動なら良いが、結果的に特権を得る人が出るようなら、このような活動は必要ない。	女性	30歳代	桜井中学校
男女共同参画は、男性、女性の概念をぶち壊し家庭や社会を破壊する悪になるものである。絶対反対。	男性	50歳代	安城北中学校

男女共同参画について（19件）	性別	年齢	中学校区
会社における男尊女卑は未だになくなることは無い。主人を見ていても「男は外で仕事するもの」痛感している。それが、ダメだとは思わない。私が幼いころはそれが当然だった。やはり、今の経済格差を見るに男女共同参画というものは理想でしかないと思っている。人を使い捨てにするこの社会でどうやってこれを実現できるのか…。でも、行動を起こさなければこのままであるのも確かである。	女性	40歳代	篠目中学校
男女の意見発想の違いが有るので全てを取り入れるのは無理がある。腹八分目、腹五分目を目指してほしい。	男性	50歳代	安城北中学校
男女平等にこだわり過ぎる必要ないと思う。男と女は違うもの。同じにしなくても、それぞれの考えを尊重すべき。働いている女性がすべて昇進したい訳ではない。家庭での仕事もあるのに平等さを求められても困る人もいると思う。	女性	40歳代	東山中学校
男女を平等に扱うことは大きく賛成するが、平等、足りないことを補うことには疑問を感じる。	男性	20歳代	安城北中学校
男女共同参画が目目されるようになったのは、働く女性が急激に増えたからこそ考えられた制度だと感じている。確かに女性だからと言って制限され、やりたいことができなかつたり、女性なのだからと自分らしさを見失っていた点は見直していく必要があると考えている。男も女も同じ人間なのだから、同じ対応をすべきだという意見に対しては同意するが、全てがいけない事ではないと思う。	女性	20歳代	桜井中学校

男らしさと女らしさについて（6件）	性別	年齢	中学校区
私の家庭では夫-自営業、妻-会社員で時間的自由度、収入の安定面から、子供の保育園の送り迎えや病院などを夫がほとんど行なっております。それはそれで良いのですが、周囲の目はだんなさん働いてないのかしら？とか、奥さんは育児してないのかしら？などと思われる事もあるようだ。これから変わっていくのかも知れないが、現状はまだまだ男は仕事、女は家庭といった考えが主流であるように思う。様々なスタイルがあつていいと認められる世の中、社会にしてもらいたい。	男性	30歳代	安城南中学校
「その子らしく」子育てをする事がとても難しいと思う。個性を伸ばす。	女性	50歳代	安城西中学校
ある程度、男らしさや女らしさを教えるべきだと思うが、最近は親がしつけないのか、コンビニで女の子が男の子を蹴り飛ばしたり、男の子は草食系などと言われ責任感の欠如、指示されなければ動かない若者の増加、昔の育児の方がよっぽど良い気がする。男女平等もよいと思うが…。	男性	30歳代	桜井中学校
子育ても終り近所付き合いもないので、安城市の男女共同参画に関する取り組みも、アンケートによって初めて知った。男女平等は大事だが、らしさ、はなくしてはならないことだと思う。女性が強くなるのは、同じ女性として考えものである。	女性	50歳代	安城南中学校
女性だから過ごしやすい環境もあるし、男性だから必死に頑張る支えることもあるので、悪い点を直すのはもちろんだが女性だからできること、性があるからできることを見つめ直して自分の今持っている性に対する意識は大切だと思う。よい現状も見て改めて考える場も必要になってくると思うし、せつかく性を受けて生まれてきたと分かってしまう子どもたちが増えてしまうのも考えものかもしれない。	女性	50歳代	安城南中学校
最近、女性が元気に強くなっている。生活力もあり結婚に対してもあまり積極的でない人も増えている。それに対して男性は少し気弱な気がする。男と女しかいない世の中、協力し助け合う原点を忘れずお互いを思いやる心、人のために何かしたいと思う心を小さいときから家庭で教えるよう大人が見本を示したいと思う。	男性	60歳代	安城西中学校

男女共同参画の形成に必要なこと（70件）	性別	年齢	中学校区
育児が大変で仕事が出来ない事は分かりきった事実なので、できるできないではなく、内職などで育児をしながらでもできる仕事を、これから増やしていけば良いと思う。保育所も簡単にできることではないと思うので、まず個人でできることを探すべきかと思う。	女性	30歳代	桜井中学校
ただ、小さい子を持つ女性が、その職場で「小さい子がいるのによく働いね」という目で見られることがまだ多い。皆一人一人の意識改革も必要。	女性	20歳代	東山中学校
市の取り組みを気にかけてことがなかったので、具体的に何が行われているか知らない。男女共同参画は、一人一人の意識の改善から行わないと難しいと思う。	女性	30歳代	桜井中学校

男女共同参画の形成に必要なこと（70件）	性別	年齢	中学校区
男女の特質をきちんと学ばせることにより、男として女としてどのように社会と関わっていくべきか考えていけば、片寄った男女共同参画というものにはならない。男によって女によって個人によって違う訳で、個人が自分で選んで参加できるようにするべきである。	男性	50歳代	安城西中学校
若い人自身はあまり抵抗ないと思う。あと何十年かしてその方達が引退されれば自然と良くなりそう。また、同性間でも子供を持つ働く主婦は何かと家庭を優先することを許され未婚の者にしわ寄せが来たりすることがある。残業が多く婚活どころじゃない！と独身者からすると腹立つこともある。これは職場の仕組みが悪いのだろうが…。何かと貧乏くじを引かされる独身者のヒガミである。	女性	30歳代	安祥中学校
以前仕事をしていたが、子供の学校の行事や子供の体調不良等で休みをもらおうとするとあまり良い顔をされなかった。働き始める時に「子供(家庭)が第一」と会社側にも言っていたが、やはりいざ休もうとすると困ると言われた事が何度かある。休みづらくなり結局は働くのをやめてしまったが、子育て中の女性がもっと働きやすくなれば嬉しい。	女性	20歳代	東山中学校
女の人はこき使われて損だ。中小企業の事務員は特にそうである。男は何もしない。妻がいつも、そう言っている。	男性	50歳代	桜井中学校
妊婦や乳幼児を優遇する体制が整っているのので、職場でも男性職員から理解を得られやすい。育休明け(育休中)の保育の条件等をもう少し緩和していただけるとありがたい。	女性	30歳代	安祥中学校
現在、子育てにおいて育児休暇がとれる環境がない。金銭面・社会的立場・仕事量等の改善なしで男女共同参画の実現は極めて厳しい。また、女性が働く事で不利益となるが多すぎる。	男性	20歳代	桜井中学校
女性がもっと普通に気持ち良く働ける職場を作って欲しい。昔と違って今の時代何でも男女平等にして欲しい。	女性	30歳代	安城南中学校
具体的に安城市の取り組みは分からないが、社会全体では女性が家事、育児をし、男性が仕事をするという風潮がいまだに強いと感じる。もっと女性には仕事ができる環境を、男性には家事、育児に関わる環境を整えてもらえるとうれしいと思う。	女性	30歳代	篠目中学校
就職について、女性だから入社できる、できないなど男女差別をしないように願う。	男性	40歳代	東山中学校
生活を支える職場での意識だけが取り残されていると思う。企業に対してもっと働きかけることが重要ではないかと思う。	女性	40歳代	安城西中学校
男性にも、育休や子供が病欠の時に職場を休みやすいように取り組むべきでは。最近では子育てに参加する男性が増えているのは良くわかる。	女性	20歳代	東山中学校
このアンケートを実施して初めて行政がこの活動に取り組んでいる事を体験した。私自身広報誌を殆ど読まない為、多くの人に知ってもらうための広報に工夫を凝らす必要があるのではないかと感じた。	男性	50歳代	安城南中学校
今まで男女の優劣あまり気にしていなかった。言いかえれば男女は平等ではないかと…。でも今回のようなアンケートや男女共同参画事業(刈谷市)に参加したりすると、自分の意見が違っていたのかなと思う。市をあげて、男女共同参画の行事を行なって頂き多くの方に(自分のように)気づいてもらいたと思う。(でも、最近女性方が優遇されているような…)	男性	40歳代	安祥中学校
また、Twitter,facebook で広げるのも良い。(時代は変わるので、時代ごとにマッチしたもので広報活動)	男性	20歳代	東山中学校
3.市政、社会に於いてはせつかく立派に育った人々が一人一人に合った、生きがいとなる職場を与えられるよう努力が必要。政治家、公務員という職業でいきている方は、プロなのだから様方向に向くよう専門家の意見を聴き改革する事は大きく改革し、皆が生き生きとした社会、実現のため、努力して欲しい。もちろん、市民(国民)皆で協力することは協力する。勇気ある強い政治を望んでいる。	女性	60歳代	安城南中学校
男女共同参画について、より大々的に広報誌、講演会等で取り上げてもらいたいと思う。安城市がどのような姿を理想としているのか、市民に分かりやすいように伝えて欲しい。	女性	30歳代	安城西中学校
「学校で」という言葉がアンケートの中に多く使われていましたが、現在の教育制度では、学校教育の中で男女共同参画の意識を徹底させるのは難しい。授業時間数が足りない。家庭・地域で考えられるよう行政として取り組んでいただきたい。	女性	20歳代	安城北中学校

男女共同参画の形成に必要なこと（70件）	性別	年齢	中学校区
このアンケートが来て、前から取り組みが有った事を知った。でも、知らない人の方が多いと思う。私もその一人。毎日の生活に追われ、ゆっくり資料などを見る時間もない。例えば、色々な相談がしたくても電話料金もかかるし、生活にゆとりがないから我慢するしか無いと考えた時もあった。時々ではなく、こういったアンケートや相談できる機会をもうけるようにしてもらえると、状況の悪化防止になると思う。	女性	40歳代	安城西中学校
今回のアンケートを頂いて男女共同参画という考え方、また取り組み行なわれている事を知った。とてもよい機会を与えて頂けたと思う。安城市のホームページも拝見させて頂き、委員の方々、議会なども開催されている事も知り、素晴らしい活動だと思った。ただ、私が無知なだけかもしれないが、この政策を知っている方が市民の何%程いるのか？認知度がまだまだ低いのでは？と思う。男女共同は仕事・家庭・学校など全てにおいて関係があるテーマなので、ぜひもっと大きな活動にしていって頂きたいと思う。	女性	30歳代	東山中学校
私が子育てをした時代は、まだ子供を預けて就職することは一般的ではなかった。事実、私は社宅で子供を幼・小・中・高と育てたが、ほとんどは子供が中学生くらいになってからパート・アルバイトを始める方が多く、私も息子が中学1年生になってからパートを始めた。今は施設など充実しているのだろうか？50代の私の時代は充実しておらず、子供の自立心がある程度出来てからしかパートなど行けなかった。施設等の充実を望む。	女性	50歳代	安城北中学校
共働きの世帯が理想と思うので、女性が出産・子育て等で仕事を休まなければいけない時の、再雇用を最優先でできる条件等をつくって欲しい。	男性	30歳代	桜井中学校
真に取り組む方向であるなら啓発活動の方法を見直す等も必要ではないだろうか。	女性	40歳代	安城西中学校
扶養の範囲、年間103万以内におさまっておけば、保健や年金、市県民税など、旦那さんとは別に払わなくても良い、という制度があるから、その中で働こうとするパートの女性などが増えるのであり、その制度が変われば(103万などの年収の枠を無くせば)もっとしっかりと働ける女性が増えると思う。しっかりと働ける女性が増える事で社会での女性の地位向上や就労しやすさも生まれると思う。今、夫の収入だけでは暮らせないから、妻も働かないと生活できないのに、夫が家事を手伝うのは当たり前のはずなのに「特別」(良い夫)な事になっているのがおかしいと思う。	女性	30歳代	安城南中学校
身近な問題ですがまだまだ市民には十分理解されていない様に思う。まず、身の回りから、家庭生活、愛和する事から始まると思う。「われも、人もの幸せ」を深く願いつつ行動する事から始まると思う。各、町内会や学校でも専門職員講義して頂くことをお勧めする。	女性	60歳代	明祥中学校
男女共同参画とは、具体的にどういう事なのか、よくわからない。こういう取り組みはなかなか細かい所まで市民に届かないことが多いように思うので、是非、具体的な取り組み内容を知らせて頂きたい。	女性	40歳代	安城南中学校
男女共同参画←この言葉は聞いた事はあるけれど、実際に安城市が何に取り組んでいるのかは、全く知らない。	女性	30歳代	東山中学校
男女共同参画に関する考え方というものを、今回、このアンケートで初めて良く考える事が出来ました。私のように安城市の取り組みを知らない方も多いのではないかと。広報などでより知らせて頂きたい。	女性	30歳代	安城南中学校
広報誌で大きく特集でもして下さい。正直、問題意識が薄いと自分自身感じました。	男性	30歳代	安城南中学校
市が推進しているという「男女共同参画」を知らない。市民にもっとアピールしてもらいたい。自分が回覧物を見ていないだけかも？	男性	50歳代	桜井中学校
まだまだ男性の方が優遇されていることが多いと思うので、男性、女性が平等でいられる様に一人一人が、意識を高められるような活動をしていって欲しい。	-	20歳代	明祥中学校
大阪、堺市では男女共同参画を熱心に取り組んでいる。どのようなことをやっているのか、確認してもいいのでは。	男性	40歳代	安城北中学校
行政も議会も、もっと女性の意見を発掘、採用すべきである。	男性	70歳以上	桜井中学校
時々、広報に男女共同参画についての記事が載っているような気がするが、正直関心がないため読まない。公民館講座、家庭教などに組み入れて、もっとビーアールしたらどうか。	女性	40歳代	安城西中学校
まだ結婚もしていないので考えてもいないことだが、これからは少しでも学んでいけたらと思う。その機会をたくさんふやしてほしい。	男性	20歳代	安祥中学校

男女共同参画の形成に必要なこと（70件）	性別	年齢	中学校区
短時間のパートやアルバイト等、中々条件の合う所を探すのは難しく、近所に身内がないため子どもの急な病気等で休みたい時など、職場に余計な気を使うのがいやで踏み出せずあきらめている人も多いのではないかと。もっと子育て中の女性に働きやすい制度や環境があればうれしいです。また、家族の看護等、父親が取れる単発的な休暇の制度もあればいいのと思う。	女性	30歳代	桜井中学校
男女共同参画という言葉を知っている人が少ないため、もっとアピールする方法を考えるべき。	女性	40歳代	東山中学校
市会議員の男女比率を条例で定める。女性議員を半数にする。そうすれば世の中が変わると思う。	男性	50歳代	東山中学校
男女共同参画に関する条例の施行等、一切のことについて知らなかった。アンケートの前に、もっとアナウンスが必要ではないかと思う。個の尊重も大切だと思うが、常識的に正しいことが行えるような法整備が必要だと思う。	男性	40歳代	安城南中学校
男女共同参画の行事や学ぶ機会に参加していないので、良く分からない。参加しやすい雰囲気とか内容とか宣伝とかしてほしい。	女性	70歳以上	安城南中学校
男女共同参画についての安城市の取り組み内容を全く知らない。このようなアンケートを取る前に、もう少し安城市が男女共同参画にどのような活動をしているか報道がないと、アンケート内容について十分答えられない。	男性	60歳代	東山中学校
男女共同参画に対するPRの強化。	男性	50歳代	安祥中学校
今後もPR活動をお願いしたい。	男性	50歳代	桜井中学校
男女共同企画がなぜ必要なのかを、なぜ安城市は推進しているかを、もっとPRして欲しい。このようなアンケートをもらって「ああ、活動しているのだな」と思ったが、アンケートが来なければ何をしているのか、わざわざ知ろうとしなければちっとも分からない、という事に問題がある。	女性	40歳代	安城南中学校
男女の問題、差別的発言、対応が問題。これをして〇年後どうしたいか？まずはビジョンを見せて欲しい。またそれまでの計画をしっかりと指示した上で進めて欲しい。効果がありやりぬくのであれば市民は協力する。	男性	40歳代	安祥中学校
未就園児を育てている母親だが、安城市は仕事をするにも地域活動に参加するにも、子供を気軽に預けられる制度が無い。パート程度の収入では未就園児の保育料で殆ど消え、地域活動に参加しようと思っても夜間・休日は子供を預ける保育園も無い。他の自治体では保育園の無料クーポンを配布している。幼い子供をもつ母親達が社会に参加しやすくなるためには、子供を気軽に預けられる制度が必要。	女性	30歳代	安城南中学校
女性が社会進出し経済的に余裕が出るほど離婚も増え可哀想な子供も増える。子供が小さいうちは母親が働かなくても暮らせる子供手当の充実を切望する。	女性	40歳代	明祥中学校
男女共同参画社会とはどのような構想なのか浸透していない。教科書に太字になっていて暗記した記憶しかない。正しい知識を広めることを絶えず行って欲しい。ワークライフバランスについては、浸透すれば本当に良い国になると思う。ぜひこの考えこそが現代を生きる上で当たり前になるよう精力的に広めてほしい。	男性	20歳代	篠目中学校
条例や目標については良く出来ていると思ったが、今後どのようにして目標を達成していく予定なのかプランの期間についても具体的なことが分からなかった。また、安城市にこのような取り組みがあることを初めて知り、おそらく他にも知らない人が多くいると思うので、人の目につくようなところにポスターを貼る等、広めていきまずは知ってもらうことが大切だと思う。	男性	20歳代	桜井中学校
男女共同参画は本気の取り組みが必要である。行政は部署間での責任の押し付け合いをしているように強く感じる。安城市が今後人口増加と子育てのしやすいまちづくりを本気で目指すのであれば、地域内では無理だと思う。他市や他県に比べて大きく子育て支援や参画に遅れている、困っている人はたくさんいるという現場を知り早急な対応をお願いしたい。	男性	30歳代	安城西中学校
男女共同参画のシンボルは政治への女性の積極的な進出だと思う。ぜひ安城市において女性市長が誕生するような環境となることを望んでいる。	男性	30歳代	安城南中学校
私立の女子高で学んできたので、女性論やジェンダーについて無意識に考えている。安城の公立でもそのようなジェンダーの知識を学ぶ機会をもっと作ると、将来家庭を持った時に活かされるのではと感じる。	女性	20歳代	安城北中学校
小さな子供がいると参加できるものが限られてしまうので、託児などを充実させて子連れママも参加しやすい環境を整えてもらいたいと思う。	女性	20歳代	安城南中学校
やはり家庭で取り組んで行くのが一番だと思う。	男性	40歳代	わからない

男女共同参画の形成に必要なこと（70件）	性別	年齢	中学校区
子供の頃からの男女共同参画の考えを学ぶことが大切である。家庭ではまだまだ、意識が低いので学校で学ぶ機会をつくって欲しい。例えば、小学校の運動会の競技で男女別のものは行なわず同じようにする。（騎馬戦は男子のみ etc.）	女性	40歳代	安城北中学校
子どもから変えていくしかないのである。	女性	40歳代	篠目中学校
1.家庭内では男女共同参画について親が子供に分かる様、生活態度で表すことが大切だと思う。	女性	60歳代	安城南中学校
学校という子供達が成長しながら教育を受ける場所で、意識を植えつける事が一番だと思う。	女性	40歳代	安城北中学校
社会と職場の意識、制度による改革が必要であると思う。	女性	40歳代	安城北中学校
男女など性差なく、その事自体意識せずにする為には、まず一番小さな個の集団である家庭の中で実践されるべき事だと思う。	女性	30歳代	安城北中学校
学校教育にもっと力を入れるべき。	男性	40歳代	明祥中学校
男女が平等に活動する場を増やす。	女性	50歳代	安城西中学校
イベント等の企画や審査に女性の意見を積極的に取り入れるべき。	男性	50歳代	安城南中学校
とても良いことだと思う。学生の時よりこのようなことを考える時間が、学校で持てるとよいと思う。もちろん家庭内での子どもへの教育も必要だと思う。	女性	50歳代	東山中学校
一人一人の意見、行動等が尊重される社会に向け学校で教育する。	女性	50歳代	明祥中学校
広報など、少、中、高の教科書に家庭では家族みんな助け合い、家事、育児などもしましよと書いてもらいたい。	女性	50歳代	桜井中学校
姉弟の子育てをしているので、あらためてその子らしく子育てをするということについて考えたいと思った。やはり子どものうちから学校等で平等意識を浸透させていくのが良いと思う。	女性	30歳代	篠目中学校
古い習慣として男性の優遇はあると感じるが、それを単に批判、否定するのではなく歴史背景をさぐる必要がある。女性、男性ではなく個々を認め合う社会に向けて相互理解は必要であり、集団にあつての自己の責任に対する意識を向上させていかないと個々の自由ばかりが強調され、かえってひずみを生むことも可能性としてあると考えられる。まず、身近な家庭というコミュニティを見つめ直すことが大切だと思う。行政主体では実現が難しいと思う。	男性	30歳代	桜井中学校

家庭生活等に関する意識について（4件）	性別	年齢	中学校区
家庭ごとに役割が違うので、どれが共同参画か正解はないと思う。その家庭で納得していれば良いと思う。	男性	50歳代	安城南中学校
男性も家事や育児をする事が当たり前になる様にバックアップして欲しい。	男性	30歳代	桜井中学校
難しいアンケートだった。私自身も男女平等に家事をするべきだと思っているが、実際のところは、イヤイヤながらも社会的に仕方ないかな、と思いながらやっている。やはり、小さい頃からの教育が大切なのかもしれない。	女性	40歳代	篠目中学校
安城市こそ、嫁という立場の人間がいかに大変な思いをし、頑張っているかを認めて力になってほしい。男女共同であるならば社会に出て同じように共働きしていても、夫はごろんと横になり妻は姑の分まで家事をする。50～70代が嫁扱いしている以上、男女共同は困難だと思う。共働きの多いであろう市役所職員の方はどう思うのか。家の中での男女共同のお手本を示してほしい。	女性	30歳代	桜井中学校

子育てについて（5件）	性別	年齢	中学校区
愛知県は子ども、動物に対しての虐待も全国ワースト1。交通事故事件も多く「親の心のゆとり」が問題だと思う。地域性もあるが（トヨタ系）夜勤など母親の負担も大きいと思う。同じ県民として情けないし切ない。子供は母と父あつてのこと。しっかりと深い愛情を注ぎ毎日抱きしめてあげて欲しい。子を抱きしめることで自分の心も抱きしめられる。土台がなっていないから、こうい結果になる。（ワースト1）「親の心の教育」が重要であると思う。学校の総会や参観時に適切な講師を招いて「親の教育」もする必要がある。	女性	30歳代	東山中学校
その子らしく、良い所は伸ばしてして育てていきたいと思うが、男らしく女らしくというの必要である。昔からの男は、頼れる強い男、女は心配りのできる優しい女と教えていてもよいのではと思う。男女平等もよいが、自分さえ良ければよい、そんなところが多いような気がする。もっと相手や周りを思いやれるようにしたい。	女性	40歳代	明祥中学校

子育て真っ最中で、子どもたちとの時間を大切にしたいと今は仕事をしていないが、経済的にも働くことを考えなければならないと思っている。	女性	30歳代	桜井中学校
出産のある女性は絶対に男女平等は難しい。男女共同参画、男女平等の意識は必要だが、現実にはまだ難しいし、女性が社会進出し子育ても赤ちゃんのうちから保育所や祖父母に任せ仕事に専念するのも好きではない。古い考えと言われても、3歳か小学校に上がるまでは母親が育てて欲しい。	女性	40歳代	明祥中学校
男性の短期間の育休は父性を高める為にも必要。	女性	40歳代	明祥中学校

仕事について（3件）	性別	年齢	中学校区
祥南小学校の校長先生が去年の4月に「中学校に負けないくらいの男性教諭を集めた。」と、誇らしげだった。女性として聞いていてつらかった。新任の女性教諭いたし産休明けの先生もいた。男女平等の女性の働きやすい未来はまだまだ遠いと感じて残念だった。	女性	30歳代	安祥中学校
現在は3女の育休中で、家事育児は当然のごとく私がやっていますが、仕事に復帰したら、また全く自分の時間がなくなり、毎日毎日時間に追われ、精神的にギリギリの生活が待っているのかと思うと嫌でたまりません。私も働いているのだから、もう少し家事を主人に手伝って欲しいと思っているが、自分以上に長い時間働き、収入も多いので、思っているだけで口にしたことは一度もありません。そういう”もやもや”は家庭の問題なのだと思うが、行政で何か取組みをして下さるのであれば嬉しく思う。それが、どのような形で我が家に影響してくるのか楽しみ。	女性	30歳代	わからない
何をしているのかよくわからない。2人で働いていると家事などは時間に余裕がある方がやるしかないし、仕事を探すと子どもがいると、どうしても残業などの問題があり女の人は正社員では雇ってもらえない。結局、女が家事、子育て、仕事になってしまう。これは市がどう動いてもどうにもならない気がする。家は、お金がないので女の私もしっかり働きたいのだが、どうしても子どもがいると難しい。子どもがもう一人ほしいが、お金がない。	女性	30歳代	安城南中学校

地域の活動への参加について（9件）	性別	年齢	中学校区
経済的余裕があればなるべく地域活動に参加すると良いと思う。	男性	60歳代	安城北中学校
前に居た時にPTA、町内会長をしていたが、地域でギャップがある。	男性	60歳代	安祥中学校
男女共にやりたくないことがある(町内会活動、ボランティア、PTA等の不参加したら後ろ指さされるような活動)これを女性がやってしまう事が不満の大きいところ。そもそも、やりたくない事が無ければ問題ないはず。	男性	20歳代	東山中学校
私はもう75才になりましたが、ボランティアグループに9ヶ所参加して、仲間も多くいて元気にやっている。女性の方も体育指導員や民生委員の方々を知っているが、交通指導員など女性の方に参加して欲しいと思う。「アイサツ」が人間生活において基本と思う。オハヨウ・コンニチワが言える世間になってほしい。	男性	70歳以上	篠目中学校
昨年までは町内会にも加入し、役員の仕事をし、自分なりに何年も頑張ってきました。けれど、結局女性だからというより、新参者という事の方が強く、仲間に入れてもらえなかった。子供のいない家では、ただでさえ地域の方と知り合う機会が少ないので大変残念でしたが、町内会は脱会しました。古い習慣を見直すためにも、まず、男女共同参画を学ばなくてはいけないのではないかと考える。	女性	40歳代	安城南中学校
一番関わってくるのは町内会。町内会は役員が決めた一方的な活動ではなくて、全世帯からアンケートを取り、増やしてほしい活動と無くしてほしい(減らしてほしい)活動についての、町民の意見を聞けば良いと思う。昔ながらのやり方では今の社会情勢や家庭のあり方とのギャップがあり、不満のある人もたくさんいると思う。特に、住んでいる町によって格差を感じる。負担の大きい町に住む人は大変だと思う。	女性	40歳代	東山中学校
安城市は真剣に取り組みに参加していると思う。(広報を読んでもその行動が見えてきますから)男性の方は定年後の方が社会に貢献できそう。女性の方は仕事を持っていると、休日でないボランティアに参加できないので、健康で助け合いが出来るように協力していきたい。	女性	50歳代	安城北中学校
男性が地域の行事に参加するには、会社を休まないといけなくて参加したくてもできない場合があるため、一部の会社で休みやすくなるような体制をつくるように市からも呼びかけてほしい。休みやすく、ではなく休まないといけなくて制度にならないとダメだと思う。	男性	30歳代	安城北中学校
学校や職場などはだいぶ男女共同参画になっているが、年配の方々はまだまだ男は男、女は女だからと、地域(町内会)の行事に参加して思う所が沢山あった。	女性	40歳代	桜井中学校

男性と女性の立場やあり方について（4件）	性別	年齢	中学校区
長男は結婚したら親と同居しなくてはならないという習慣を無くして欲しい。家庭の中で老両親の考えが先行していて、女性の立場は全く無く自分の意見や行ないたいことも言葉にできない。	女性	40歳代	安城西中学校
共働きの家庭では女性の負担が少しは減るかな？男性にも少し体験、経験してもらうことで、育児、介護をしてくれる人の気持ちや苦勞が分かると思う。男女平等というのはありえないと思っているので、男女差があって当たり前である。男性には男性に向いていること、女性には女性に向いていることがあると思っている。平等にという考え方が好きになれない。	女性	40歳代	安城西中学校
世の中には男性がすべきこと、女性がすべきことがあると思う。何でも同じではなくお互いに支え合う世の中を目指したい。以前は周りに求めることの方が多かったが、この年になって最近はそのそれぞれの相手が何を求めているかを考えられたら良いと思う。	女性	50歳代	明祥中学校
家事や子育ての分担も大切だが、どちらかがメインで家を支えるか、収入を得るかしないと人間らしい生活ができないと思う。男女共同でも無理に男女平等を唱えずに、個性を大切にされた方が良い。	女性	40歳代	東山中学校

その他 男女共同参画社会に関する考え方について（39件）	性別	年齢	中学校区
市の男女共同参画の講演会に出席した事があるが、男女平等はもう年齢的になかったもので、子供は男らしく女らしくの方が家庭生活は上手にいく気がする。今となり女性が強く男性が結婚しない人が増えた。	女性	60歳代	東山中学校
安城市が男女共同参画に何をしているのかよくわからない。	女性	70歳以上	安祥中学校
正直なところ男女共同参画に安城市が取り組んでいることが、あまり知られていないのでは？	男性	40歳代	わからない
男女良く話合っそれぞれが合っているやり方を探す。相手を尊重する様な生活をする。	男性	60歳代	安城北中学校
専門性の高い仕事や職人は代わりが効かない為、むずかしい職種はあると思う。もっと細分化してやれる事とやれない事で仕分けすると良い。	男性	20歳代	東山中学校
豊かな環境づくりを充実して欲しい。	女性	60歳代	安祥中学校
2.学校教育においては男性も女性もそれぞれの個性を尊重し、自立し、それぞれ一人でも生活できる人間を、目指す事が理想。	女性	60歳代	安城南中学校
いらん事するな。	男性	20歳代	安城北中学校
男女共同参画の目指しているゴールが分からない。仕事、家事、教育、地域活動の全てを夫婦で完全に同量(5:5)に分ける社会なのか？アンケートからはその様に感じた。でも、この姿を正しいとは思わない。男女それぞれ「ある比率」で従事しており、その目指している比率を決めて欲しい。	男性	20歳代	東山中学校
いばった男性の率が他の市より少ないような気がする。安城市では問題ないのではと思っている。	女性	40歳代	篠目中学校
男女共同参画に取り組む市政はよいことだと思う。ただ、能力というものはもって生まれたものがあり、男女平等というのは無理があるかもしれない。男の能力、女の能力が互いに高めあってよい社会ができるようお願いしたい。	女性	50歳代	安城西中学校
安城市が男女共同参画に取り組んでいる事を知らなかった。	男性	30歳代	篠目中学校
行政がいくら頑張っても無理。対象となるのは公務員だけではないのか。なかなか民間の会社まで反映出来ないと思う。だから、こんなことをしても公務員だけが良くなるだけではないかと思う。	男性	30歳代	篠目中学校
男女の偏見については、法制度を整えたいという時間をかけて啓発していく必要があると思う。男女の性差は事実としてある訳で、その差を認識しつつ男女平等の場を作っておくことが重要。	男性	40歳代	安城南中学校
アンケート用紙を受け取ったが、男女共同参画に関して、それ以上の事を知らない。私自身、特に女性だからという理由で不満を抱えた事がないだけかもしれないが、今のところどうい部分か男女不平等で問題になっているのかを、自分なりに少し調べてみるくらいしか関心がない。	女性	20歳代	安祥中学校
男女共同参画という言葉は聞いていましたが、関心がなく、すみません。	女性	60歳代	安城北中学校

その他 男女共同参画社会に関する考え方について (39件)	性別	年齢	中学校区
私の認識に誤りがあるかも知れないが、もう少し働く男性が取り組みに関われるような施策が必要ではないか？先生のエンパワーメントを育てるという意味では、女性が自分ごととして活動に積極的に関わるのは良い事、望ましい事と思うが、働く男性の関わりが少なすぎるのではないかと思う。	男性	50歳代	安城北中学校
活動の内容が分からない。具体的に何をしているかが分からない。掛け声倒れで成果が分からない活動になってしまう事を懸念している。	男性	40歳代	篠目中学校
行政が実施すれば簡単なことを回りくどいやり方で見掛けだけ「取り組んでいます」はやめれば良いと思う。「男女共同参画」自体、女性に対する見下しでは？	男性	60歳代	安城西中学校
男性が頭のかたい考え方をやめない限り無理だと思う。市の要職に女性が就いて、それが歓迎されないとダメ。安城市は田舎なので本当の意味の男女参画は無理ではないか。	女性	30歳代	安祥中学校
男女平等などと言っても、その言葉の定義が個人で異なっていれば議論など何の意味もない。広く普遍的な活動をするには明確に数値化された言葉の定義が必要である。数値不在の議論など無意味である。	男性	50歳代	安城北中学校
家庭、企業、行政が問題点を洗い出して補い合い、行政ができないところは民間にお願いすることが重要だと思う。	女性	50歳代	東山中学校
制度として男女平等の意識は必要だが、性差がある以上平等に扱われることが幸福につながる。個々自由选择できることが良いと思う。プータンの幸福度、生活は見直すこと、他と比べることはないと思う。	女性	50歳代	明祥中学校
頭では分かっているでも自分の生活に当てはめると中々行動できない。	女性	50歳代	明祥中学校
このアンケートで初めて男女共同参画という言葉を知った。今まで家事、子育て、仕事のトリプルをこなしてきたが、色々大変な思いをしてきた。やはり職場が個人経営だと、法律通りには認めてくれず悔しい思いをしたり、近くに助けしてくれる肉親がいないと両親が共稼ぎすることは難しいと実感した。だんだん男女平等ということが職場で実現されつつあるが、中小企業では中々実現することは難しいのではないかとと思う。娘の未来には少しでも改善できるよう望んでいる。	女性	40歳代	東山中学校
男女平等と言うけれど、体力、体格の違うものが平等にせよと言うのがおかしい。お互いに思いやりを持って、それぞれの人格を尊重して生活や活動すれば良いと思う。レディーファーストという思いやりの精神が必要。最近なんでも男女平等というのはおかしい。それぞれの人格を尊重し合うことが大切なことではないか。	女性	50歳代	安城南中学校
男女共同参画社会は確かに理想的な社会像ではあるが、人間の持つ優しさ紳士的な人間への理想がある限り完全なる男女平等を実現するのは不可能ではないだろうか。レディーファーストという言葉があるが、人間は女性を優先させることに美德を持っている。本当に男女平等を目指すなら、この考えは排除すべきだが男性と女性は性格も違い、それを無視することはできない。間違っただけではないのは男女平等を目指す場所であり、要は適用して良い場所とそうでない場所が存在するという事。そもそも男女平等という言葉を知るとぞっとする。	男性	20歳代	明祥中学校
全家庭、社会全体に同じ価値観を持たせることは不可能。このアンケートの質問自体が不快。男らしく女らしくあることが良いこともあれば、個性の尊重が望ましいこともあり決められない。男女が同じでないことに各々良いこともある。	女性	40歳代	篠目中学校
男女共同参画という事自体初めて聞いた。	男性	40歳代	安城南中学校
これまでではどちらかと言えば男らしく女らしくの考えに近かったので、男女共同に関心がなかった。このアンケートを通じて少し意識が高まった。	-	-	-
長年やってきた事を変えるのは大変だが、やってみるのも良い。やる前からその事について出来ないと言わず、男女問わず、たまには男性のやる仕事を女性が、女性がやる仕事を男性がやるなど体験して欲しい。	女性	40歳代	桜井中学校
仕事・家事・育児全て母親一人では負担が大きいので、分担には父親の理解と協力があれば良い。性別の違いで、出来ること・出来ないこともあるので(体力的・肉体的力のこと)なんでも男女平等の、ジェンダーフリーのような変な方向には行かないで欲しい。例えば同じ仕事・同じ量で、男女に差別的なものがあれば勿論反対だが、女であることを表に出しすぎ変な方向はやめて欲しい。	女性	30歳代	篠目中学校
男女共同参画については、一人一人が皆のため、男だから女だからではなく、一人の人間として自分の出来ることを地域活動などに皆で取り組み合えば良い。	女性	50歳代	篠目中学校
日常生活において、男女平等意識を気にしたことが無い、これは気にならないという事だ。	女性	40歳代	篠目中学校
かなり強力に取り組んでいる。	女性	70歳以上	安城西中学校

その他 男女共同参画社会に関する考え方について (39件)	性別	年齢	中学校区
ただ平等であれば良いという考え方には賛成できない。個々の出来る事出来ない事を踏まえた上での男女平等が大切である。誰もが全てをできるオールマイティな人間だらけの社会より。足りない所と足りる所を組み合わせた助け合いの社会が良い。	女性	-	安城南中学校
アンケートの答えが、何に役立つのか分からないし、考えは人それぞれである。	男性	50歳代	篠目中学校
何がなんだか分からないが、色々なことが平等でありたい。	女性	50歳代	篠目中学校
まず古い習慣の見直しは、男女間だけにとどまらず必要だと思う。個人的には男女差は必要だと思うが、昔から人間として始めからあるもので、男らしくも女らしくも人間らしい社会には本来必要である。ただ、それにしばられたり悪用する歴史的背景もあり改善すべきである。	女性	40歳代	東山中学校

アンケートについて (9件)	性別	年齢	中学校区
私の様に年を取ったものではなく子育て真っ最中の人を対象にした方が税を有効に使えたと思う。	女性	50歳代	桜井中学校
アンケート調査を定期的にして頂きたい。仕事をしているのもっとアンケートに参加しやすい方法等も検討して頂きたい。安城市、住みやすい町だと思っている。頑張ってください。	女性	20歳代	安城北中学校
アンケートのみに終わらず結果を出して欲しい。	女性	50歳代	安城北中学校
親が子供と接する時間も無く、一生懸命働く姿を見せる事が子育てにおいて一番大切な要素と考えているが、一般的に(今回の調査も同様だが)育児に携わる時間のみを問題にしている事が浸透していない様に感じている。	男性	40歳代	桜井中学校
安城市の取組みをDMとして市民へ送って欲しい。勿論、希望者のみ。毎月の市の財政状態や資金繰りのレポートも見てみたい。また、今回のレポート集計には2000人分の結果をまとめなければいけない。解答用紙をより見やすく集計しやすい様にして欲しかった。2000人分の集計は市の職員さんや委託先への負担になりかねない。	男性	20歳代	東山中学校
男女共同参画の目的がよくわからない。また、アンケートの中ごろから、どこが共同参画の回答か、よくわからないものが多いと思う。男女ではなく今の時代は年令をこえた共同参画に取り組みれるべきと思う。このアンケート及び取組みがいかにもお役所的で現実的ではないと思う。	男性	50歳代	明祥中学校
数年前にも男女共同参画のアンケートに答えたが、そのアンケートがどの様に活用されたのか全くわからない。私自身、このアンケートに参加しなければ日常生活において考えることのない問題。私の勉強不足なのかも知れないが、もう少し目的や方向性をしっかり見出し分かりやすく説明し、その上でアンケート等行なうべきではないか。ただ、アンケートを行なうだけでは税金のムダ使いではないだろうか。厳しいことを書かせて頂きましたが、市民として市役所の動きは敏感でありたいと考えているので頑張ってほしい。	女性	40歳代	安城西中学校
とても活用されるとは思わない。	男性	70歳以上	桜井中学校
アンケートが長い。	男性	20歳代	篠目中学校

その他 (男女共同参画に関係のない意見) (17件)	性別	年齢	中学校区
男女共同と言う前に一人一人個人の人間としてどうなのか?と思うことがある。人と人が支えられる世の中になると良いと思う。安城市がより良い町になることを祈っている。	女性	40歳代	安城南中学校
男女という以前の問題が存在するのかもしれない。例えば先日、ご近所でヘルパーさんの車が駐車禁止を貼られたと耳に入った。市の介護制度がどんなに良くなったとしても、これでは来客用の駐車場を有する家庭以外の利用が事実上不可能となる。この場合、市内のドラッグストア(介護ヘルパー利用者はドラッグストア利用者も多いので頼みやすい)等の駐車場や月極め等でも空きがあれば利用可能に協力を求めると同時に何かメリットを与えると同時にヘルパー等の不正利用が無いように利用時届け出を(メール可)必ず出させる等。何をすることも実りあるものと願う。大変な御働きかと思うがますます、よろしく願いたい。	女性	40歳代	安城南中学校
市としての人事異動への提言。職員個々の能力をより発揮出来る人員配置をお願いしたい。スポーツ施設はスポーツ団体(西三河や県)と交流のある人を配置することでもっと実のあるサービスが出来るはず。全員をただローテーションすると言う発想でなく市民への本当のサービスをするための人事を行なって欲しい。	男性	50歳代	東山中学校

その他（男女共同参画に関係のない意見）（17件）	性別	年齢	中学校区
無駄使いをやめて欲しい。	女性	40歳代	桜井中学校
また、病気や介護をしているなど家の事で手一杯の方もいらっしゃるの、何事も強制的なものはやめて頂けたらと思う。	女性	40歳代	安城南中学校
カタカナ言葉が多用されていて理解が正確にできない。日本語をもっと大事にすべきである。	男性	60歳代	桜井中学校
近隣との付き合いは以前に比べ少なくなってきたので、世代の差と割り切って毎日の生活をしている。	女性	50歳代	桜井中学校
60歳を過ぎている。仕事をしている。周囲の方々がいつ辞めるのか？待っているような気がして気兼ねしながら仕事している。昔、若い人は仕事の上で先輩を敬ったものだが今の若い方々は違って見える。もっと高齢者が気兼ねなく働けるようにして欲しい。	女性	60歳代	篠目中学校
ヒブなど来年度も公費として続けてほしい。	女性	30歳代	安城北中学校
JR 安城駅周辺を、昔のように活気がある町にしてほしい。今は風俗が多すぎて、今のままだと安城駅周辺は岡崎の康生、東岡崎みたいになってしまう。安城市が今以上に素晴らしい町であり続けるために、頑張してほしい。	女性	30歳代	安城南中学校
お年寄りが住みやすい優しい市。車のスピードを落としてほしい。自転車の携帯電話は怖い。一人一人が心に余裕のある優しい市ができるとよい。	女性	30歳代	桜井中学校
今の社会を見ていると、もっと人間らしくゆとりのある生活は、ますます厳しくなっている。こんな企画をお金や人を使ってやるよりは、もっと市民の立場に立ってほしい政策をしてほしい。子育て支援のため、働くひとのため保育園の充実を図るとか、お年寄りが多くなって介護施設の充実等。多くの若者が30～40代になっても結婚もせず、ますます少子化になり税金も減っていくという現実がある中、人に思いやりが生まれてくるのだろうか？もっと未来を見て真の政治を行ってほしい。人を疎かにすると行政はいつかダメになると思う。	女性	50歳代	安城南中学校
個人を大切にいじめのない明るい生活ができる様にして欲しい。市政にもっと気楽にどこでも意見が言える時間が大切ではないか。	女性	50歳代	桜井中学校
市役所で「奥さん」と大声で呼ばれた、自分は未婚なので別の呼び方をして欲しい。市役所は市民を守ってくれる所か？守ってくれない所と最近思った。	女性	40歳代	安城南中学校
議員が良い生活をしているのも不思議である。	女性	50歳代	篠目中学校
近所との付き合いにトラブルはつきものだが、全く関わりを持たないのはいけないと思う。今現在となり組で回覧したり組長を順番に行っているが、なくすことなく続けてもらいたい。民生委員に関しては、重責を与えず一人暮らし等の家庭を訪問するための役員をつかって民生委員に任せりにしない方法はないのか。	女性	50歳代	篠目中学校
引っ越したばかりで十分な回答ができない。	女性	70歳以上	安城北中学校

男女共同参画に関するアンケート調査のお願い

「仕事と生活のバランス（ワーク・ライフ・バランス）」

について考えた事がありますか？

仕事は、暮らしを支え、生きがいや喜びをもたらすものです。

家事・育児や介護、近隣との付き合いなども暮らしに欠かすことができないものです。

そして、それぞれの充実が人生をより豊かにしてくれます。

しかし、性別による固定的な役割分担によって、

仕事と生活の両立に悩んでいる人が多いようです。

性別にかかわらず、みんなが主役として、ともに輝く

「男女共同参画社会づくり」が、今、求められています。

《調査へのご協力のごお願い》

安城市では、平成12年度の安城市男女共同参画プランの策定以来、平成20年度に男女共同参画推進条例を制定するなど、男女共同参画施策を推進しています。

このアンケート調査は、平成24年度に予定している第3次安城市男女共同参画プランの基礎資料とするために実施します。この調査票は、安城市在住の20歳以上の方を対象として、無作為に2,000人を選ばせていただきお送りしました。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査にご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願ひいたします。

平成23年12月

安城市長 神谷 学

ご回答にあたってのお願い

調査票の取扱い

この調査票は、「男女共同参画」に関する施策策定の目的だけに使われるもので、それ以外の目的に使うことはありません。

記入方法

ご記入は、封筒あて名のご本人にお願いします。ただし、ご本人が何らかの事情で答えられない場合は、ご家族等と相談のうえお答えください。

設問の回答は、ご自身の考えに近い項目を選び、番号に○印を記入してください。

回答期限

ご記入いただいたこの調査票は12月15日（木）までに、同封している返信用封筒（切手は必要ありません）に入れて、ポストに投函してください。

お問合わせ 安城市役所 市民生活部 市民協働課 市民協働係

電話：0566-71-2218（直通） / FAX：0566-76-1112

すべての方におたずねします。

問5 あなた以外の同居家族を教えてください。【あてはまるものすべてに○】
(平成23年12月1日現在)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 6歳未満の方 | 2. 6歳～15歳未満の方 |
| 3. 15歳～65歳未満の方 | 4. 65歳～75歳未満の方 |
| 5. 75歳以上の方 | 6. 同居家族がない |
| 7. その他(具体的に_____) | |

ここに注意!!

「あなた」と一緒に生活している家族に○をしてね。



問6 あなたが、現在お住まいの中学校区はどこですか。【○は1つ】
中学校区がわからない場合は、ご住所をお書きください。

- | | |
|-------------------|-----------|
| 1. 安城南中学校 | 2. 安城北中学校 |
| 3. 明祥中学校 | 4. 安城西中学校 |
| 5. 桜井中学校 | 6. 東山中学校 |
| 7. 安祥中学校 | 8. 篠目中学校 |
| 9. わからない(_____)町 | |

ここに注意!!

中学校区がわからないときは、お住まいの町名を書いてね。



安城市マスコットキャラクター
「サルビー」

教えてサルビー!

「男女共同参画とは??」

「男だからこう」、「女だからこう」といった考え方に捉われずに、人間として平等に扱われるべきという考え方のことだよ。

日本では、平成11年に「男女共同参画社会基本法」が制定されたんだ。安城市では、平成12年度に「安城市男女共同参画プラン」を策定して以来、平成18年度に「第2次安城市男女共同参画プラン」、平成20年度に男女共同参画推進条例を制定するなど、男女共同参画施策を推進しているんだ。

「第2次安城市男女共同参画プランとは??」

保育・教育、家庭、地域社会といった生活の場における「男女平等の意識づくり」、地域生活や社会生活などの「あらゆる場での参画」、思いやりのこころを持ちながらともに助けあい、支えあう「男女の共生と自立・参画を進める環境の整備」を基本目標として、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現をめざしているんだ。

②あなたの家庭生活の意識についておたずねします。

**問7 次にあげる家事または日常的な行為は、だれが行っていますか。
現状と理想のそれぞれの枠に、1～6の数字を記入してください。**

- 選択肢** 1. いつも女性が行う 2. ほとんど女性が行うが、ときどき男性も行う
3. いつも男性が行う 4. ほとんど男性が行うが、ときどき女性も行う
5. 男女とも同じように行う 6. 該当する人がいない

	現状	理想		現状	理想
家の掃除			子どもの世話		
洗濯			子どもの勉強をみる		
食事の支度			子どもの遊び相手		
食事の片付け			家族の介護		
日常の買い物			家や日用品等の修理		
重い物などの買い物			庭や家庭菜園の世話		
家計（生活費）の管理			P T A行事への参加		
自家用車の管理			町内会行事への参加		
不動産や保険の管理			ご近所づきあい		

**問8 あなたが、家事・育児に携わる平日一日あたりの平均的な時間はどのくらいですか。
【〇は1つ】**

1. 30分未満 2. 30分～1時間 3. 1～2時間 4. 2～3時間
5. 3～5時間 6. 5～8時間 7. 8時間以上

問9 次にあげる考え方について、あなたはどのように思いますか。それぞれの項目について、該当するものを選んでください。【それぞれ1つに〇】

	1.そう思う	2.どちらかと言え ば そう思う	3.どちらとも 言えない	4.どちらかと言え ば そう思わない	5.そう 思わない
男性は外で働き、女性は家庭を守る方がよい	1	2	3	4	5
結婚は個人の自由だから、結婚してもしなくてもよい	1	2	3	4	5
夫は、妻や子どもを引っ張っていく方がよい	1	2	3	4	5
女性は結婚したら、仕事や自分自身のことより、夫や子どもなど家族中心に考えて生活した方がよい	1	2	3	4	5
男性は結婚したら、仕事や自分自身のことより、妻や子どもなど家族中心に考えて生活した方がよい	1	2	3	4	5

③あなたの子育てに関する意識についておたずねします。

問10 あなたが考える、「男らしさ」「女らしさ」とはどんなことですか。

それぞれの枠に、あなたの考えにもっとも近いものを1つずつ、下の1～18から選んで、数字を記入してください。

1. 男らしさ

2. 女らしさ

- | | | |
|---------------------------|------------|------------|
| 1. 自立心がある | 2. 元気が良い | 3. 気配りができる |
| 4. リーダーシップがある | 5. 頼れる | 6. 優しい |
| 7. 家事能力がある | 8. 経済力がある | 9. 控えめである |
| 10. カッコいい | 11. かわいらしい | 12. 決断力がある |
| 13. おとなしい | 14. 力が強い | 15. 学力が高い |
| 16. 「男らしさ」「女らしさ」と考えたことはない | 17. わからない | |
| 18. その他（具体的に_____） | | |

問11 「男の子は男らしく、女の子は女らしく」という子どもの育て方について、どのように考えますか。【〇は1つ】

- | | |
|--|---------|
| 1. 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てた方がよい ⇒問11-1へ | |
| 2. 男らしさ、女らしさにとらわれず、個性を尊重するように育てた方がよい ⇒問11-2へ | |
| 3. どちらとも言えない | } ⇒問12へ |
| 4. その他（具体的に_____） | |

問11で「1」と答えた方におたずねします。

問11-1 そう思う主な理由は何ですか。【〇は1つ】

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 性別が違うのだからできることも違う | 2. 自分もそう育てられた |
| 3. 社会の慣習がそうだから | 4. 将来的に子どものためになる |
| 5. その他（具体的に_____） | |

問11で「2」と答えた方におたずねします。

問11-2 そう思う主な理由は何ですか。【〇は1つ】

1. 性別にこだわると子どもの可能性を狭める
2. 自分もそう育てられた
3. 今の大人の社会では性差がない
4. 将来的に子どものためになる
5. その他（具体的に_____）

すべての方におたずねします。

問12 子育てをしながら働いている、あるいは働いていた方におたずねします。子育てをしながら働く中で悩んでいること、あるいは悩んでいたことはありますか。【〇は3つまで】

1. 自分のための時間が取りにくい
2. 仕事と育児・家事の両立が、体力的・時間的に難しい
3. 家族の理解・協力が得られない
4. 会社の理解が得られない
5. 子どもを預かってくれるサービス施設など子育て支援がない
6. 特に問題はない
7. わからない
8. その他（具体的に_____）
9. 子育てしていない

問13 子どもの男女共同参画の意識を育てるために、特にどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。【〇は1つ】

1. 男性が家事等へ参加する、互いに助け合うなど、家庭での取り組み
2. 一人ひとりの個性や能力を伸ばす教育など、学校における取り組み
3. 男女の地域活動への参加を促進するなど、地域における取り組み
4. 特にない
5. わからない
6. その他（具体的に_____）

④仕事と生活の調和についておたずねします。

問14 あなたが考える就業の理由の主なものは何ですか。【○は3つまで】

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 生計の維持のため | 2. 経済的なゆとりのため |
| 3. 自分の能力を生かすため | 4. 社会に貢献するため |
| 5. 社会や人との関わりを持つため | 6. 働くことが生きがいであるため |
| 7. 自由時間の活動のため | 8. 経済的な自立のため |
| 9. その他（具体的に_____） | |

問15 あなたは、働き続けたいけれど、仕事をやめざるを得なかったことはありますか。【○は1つ】

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. はい ⇒問15-1へ | 2. いいえ ⇒問16へ |
|---------------|--------------|

問15で「1」と答えた方におたずねします。

問15-1 仕事をやめざるを得なかった理由の一番は何ですか。【○は1つ】

- | | |
|--|--------------------|
| 1. 自分の健康や体力的な問題 | 2. 家族の介護や看護をするため |
| 3. 定年・リストラ | 4. 家事や育児をする人がいなかった |
| 5. 結婚、出産、育児を機に家庭に入るのが当然 | |
| 6. 育児で預けられる施設（保育所や託児所）やサービスが不十分だった | |
| 7. 結婚や育児に対する職場の制度や理解が不足していた | |
| 8. 働き続けることに対する、配偶者・パートナーや家族の理解が得られなかった | |
| 9. その他（具体的に_____） | |

すべての方におたずねします。

問16 あなたは、女性の仕事について、どのような形が望ましいと思いますか。【○は1つ】

- | |
|---|
| 1. 女性は仕事を持たない方がよい |
| 2. 結婚するまでは、仕事をする方がよい |
| 3. 子どもができるまでは、仕事をする方がよい |
| 4. 子どもができたら仕事をやめ、子どもが大きくなったら再び仕事をする方がよい |
| 5. 結婚をしても、子どもができてもずっと仕事を続ける方がよい |
| 6. その他（具体的に_____） |

問17 働いている方又は働いていた方におたずねします。あなたの職場の育児や介護のための休業制度についてお答えください。【○は1つ】

	育児	介護
A. 制度があり、内容まで知っている（いた）	1	1
B. 制度の名前を聞いたことがある（あった）	2	2
C. 制度があることを知らない（知らなかった）	3	3
D. 制度がない（なかった）	4	4

⇒こちらに1つでも○をした方は、問17-1へ
 ⇒すべてをこちらに○をした方は、問18へ

問17で「A」、「B」に「1」か「2」と答えた方におたずねします。

問17-1 あなたの職場では、育児や介護のための休業制度を気軽に取得することができますか。【○は1つ】

1. できる(できた)⇒問18へ 2. できない(できなかった)⇒問17-2へ



「育児休業制度」とは？

子どもが生まれたときに、一定期間仕事を休むことができる制度のことだよ。

法律では、原則、子どもが1歳になるまで休業することができるんだ。企業によっては、育児休業の取得を認めている企業も多く、また、休業期間の一部を有給にしている企業もでてきているよ。

問17-1で「2」と答えた方におたずねします。

問17-2 気軽に取得することができない(できなかった)理由について、あなたの考えに近いものを選んでください。【○は1つ】

1. 生計が成り立たなくなるから
2. 職場に休める雰囲気がないから
3. 休みをとると、昇進に影響するから
4. 自分の仕事には代わり的人がいないから
5. 一度休むと元の職場にはもどれないから
6. その他（具体的に_____）



「介護休業制度」とは？

家族が介護の必要な状態になったとき、通算93日までの介護休業を取得できることになっているよ。また、平成22年の改正により介護のための短期の休暇制度が創設されたんだ。

すべての方におたずねします。

問18 男性が育児や介護のための休業制度をとることを社会的に進めることについて、あなたの考えに近いものを選んでください。【○は1つ】

1. 進めるべきである
2. 進めるべきではない
3. どちらともいえない
4. その他（具体的に_____）

問19 現在働いている方におたずねします。現在の職場で、仕事内容や待遇面で女性であるという理由で男性に比べて不利益を被ることがあると思いますか。【○は1つ】

- 1. 不利益を被ることがあると思う ⇒問19-1へ
 - 2. そのようなことはないと思う
 - 3. わからない
 - 4. その他（具体的に_____）
- } ⇒問20へ

問19で「1」と答えた方におたずねします。

問19-1 具体的にはどのようなことですか。【○は1つ】

- 1. 賃金に差別がある
- 2. 昇進に差別がある
- 3. 能力が正当に評価されない
- 4. 補助的な仕事しかやらせてもらえない
- 5. 女性を幹部職員に登用しない
- 6. 結婚したり子どもが生まれたりすると勤め続けにくい雰囲気がある
- 7. 女性は定年まで勤めにくい雰囲気がある
- 8. 教育、研修を受ける機会が少ない
- 9. その他（具体的に_____）

すべての方におたずねします。

問20 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域の生活」、「個人の生活」について、優先させたいものの希望と現実を教えてください。【○はいくつでも】

1. 優先したいもの(希望)

- 1. 仕事
- 2. 家庭生活
- 3. 地域の生活
- 4. 個人の生活
- 5. わからない

2. 優先しているもの(現実)

- 1. 仕事
- 2. 家庭生活
- 3. 地域の生活
- 4. 個人の生活
- 5. わからない

問21 ワーク・ライフ・バランスという言葉についておたずねします。【○は1つ】

- 1. 内容まで知っている
- 2. 聞いたことがある
- 3. 知らない



「ワーク・ライフ・バランス」とは？

仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、様々な活動を自らの希望に沿った形で、バランスをとりながら展開できる状態のことだよ。

そうなることで、一人ひとりが様々な希望を実現させ豊かさを実感すると同時に、職場は活力に満ちた企業・組織に、家庭生活は充実し、地域社会も活性化するなど、よい循環が、期待されるんだ。

問22 あなたご自身のワーク・ライフ・バランス実現のための努力の状況について教えてください。【○は1つ】

- 1. かなり努力している
 - 2. まあまあ努力している
 - 3. あまり努力していない
 - 4. ほとんど努力していない
 - 5. 努力をしていない
- } ⇒問22-1へ
- } ⇒問23へ

問22で「1」か「2」と答えた方におたずねします。

問22-1 あなたがワーク・ライフ・バランス実現のために行っていることをお答えください。【○は1つ】

- 1. 残業を減らす
- 2. 年休をしっかり取る
- 3. 効率よく仕事をする
- 4. 自己啓発を進める
- 5. 地域活動等に参加する
- 6. その他（具体的に_____）

すべての方におたずねします。

問23 ワーク・ライフ・バランス実現のために必要だと思うものをお答えください。【○は3つまで】

- 1. 職場の理解
- 2. 家族の理解と協力
- 3. 社会構造・制度の変化
- 4. 経済的な余裕
- 5. 時間的な余裕
- 6. 自分自身の意識の持ち方
- 7. その他（具体的に_____）

⑤地域活動への参加状況についておたずねします。

問24 あなたは、地域の活動に参加していますか。【○は1つ】

1. 参加している ⇒問24-1へ

2. 参加していない ⇒問24-2へ

問24で「1」と答えた方におたずねします。

問24-1 あなたは、地域のどのような活動に参加していますか。【あてはまるものすべてに○】

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 町内会活動 | 2. PTA 活動 |
| 3. 子ども会、青少年健全育成活動 | 4. 老人クラブ活動 |
| 5. ボランティア活動などの社会奉仕活動 | 6. 文化活動（趣味、教養） |
| 7. スポーツ・レクリエーション活動 | 8. 子育て支援活動（グループ活動を含む） |
| 9. その他（具体的に_____） | |

問24で「2」と答えた方におたずねします。

問24-2 地域の活動に参加しない理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 子どもの世話や老人の介護 | 2. 仕事が忙しい |
| 3. 経済的な余裕がない | 4. 家族の理解がない |
| 5. 必要な能力がない | 6. 人間関係がわずらわしい |
| 7. 自分の性格に合わない | 8. 活動する仲間がいない |
| 9. 役員や世話人にされそうだから | 10. 参加したいものがない |
| 11. その他（具体的に_____） | |

すべての方におたずねします。

問25 あなたは、今後何か地域で活動をしたいと思うものがありますか。【あてはまるものすべてに○】

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 町内会活動 | 2. PTA 活動 |
| 3. 子ども会、青少年健全育成活動 | 4. 老人クラブ活動 |
| 5. ボランティア活動などの社会奉仕活動 | 6. 文化活動（趣味、教養） |
| 7. スポーツ・レクリエーション活動 | 8. 子育て支援活動（グループ活動を含む） |
| 9. その他（具体的に_____） | |

⑥ドメスティック・バイオレンスについておたずねします。



教えてサルビー！

「ドメスティック・バイオレンス」

夫婦や恋人などの親しいパートナー間で行われる暴力のことで、その多くは男性から女性に振るわれているんだ。殴る、蹴るなどの身体的暴力だけでなく、精神的暴力や性的暴力なども、DVに含まれるよ。

毎年、11月12日～11月25日は「女性に対する暴力をなくす運動」が行われているよ。この運動期間をきっかけに、女性に対する暴力について考え、暴力のない社会づくりを進めよう。

安城市では、市民相談室でDVに関する相談を受けているよ。

問26 男性・女性に関わらず、おたずねします。あなたはこれまでに、配偶者や恋人などから次にあげるような行為を受けたことがありますか。【それぞれ○は1つ】

	全く無い	1、2度あった	何度もあった
医師の治療が必要となるくらいの暴行を受ける	1	2	3
医師の治療が必要とされない程度の暴行を受ける	1	2	3
ののしる、おどす、大声でどなるなどの言葉による暴力を受ける	1	2	3
何を言っても長時間無視し続けられる	1	2	3
交友関係や電話を細かく監視される	1	2	3
嫌がっているのに性的な行為を強要される	1	2	3
見たくないのに、アダルトビデオなどを見せられる	1	2	3
生活費を渡されない	1	2	3

すべてをこちらに
○をした方は問27へ

こちらに1つでも○をした方は
問26-1へ

問26で「1、2度あった」「何度もあった」に1つでも○をつけた方におたずねします。

問26-1 そのような行為を受けた後、だれか(どこか)に打ち明けたり、相談したりしましたか。
【○は3つまで】

- | | | |
|------------------------|----------------|----------|
| 1. 親や親戚などの身内 | 2. 友人、知人 | 3. 役所の窓口 |
| 4. 警察 | 5. 法務局 | 6. 弁護士 |
| 7. 医師 | 8. 女性相談所・女性相談員 | |
| 9. だれにも相談しなかった ⇒問26-2へ | | |
| 10. その他(具体的に_____) | | |

問26-1で「9」と答えた方におたずねします。

問26-2 だれにも相談しなかった理由はなんですか。【すべてに○】

- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| 1. どこ(だれ)に相談してよいのかわからなかった | 2. 恥ずかしくてだれにも言えなかった |
| 3. 相談してもムダだと思った | 4. 相談したことがわかると、仕返しされると思った |
| 5. 自分さえ我慢すればいいと思った | 6. 世間体が悪い |
| 7. 他人を巻き込みたくなかった | 8. そのことについて思い出したくなかった |
| 9. 自分にも悪いところがあると思った | 10. 相談するほどのことではないと思った |
| 11. その他(具体的に_____) | |

すべての方におたずねします。

問27 配偶者や恋人からの暴力(ドメスティック・バイオレンス:DV)に対して、行政はどのような対応をする必要があると思いますか。【○は3つまで】

1. 広報やパンフレットなどで、啓発をする
2. DV被害者のための相談体制を整える
3. DV被害者が逃れるための緊急一時保護施設(シェルター)活動を支援する
4. DV被害から逃れた人が自立して生活できるように支援する
5. DV被害者に対する(自立支援のための)カウンセリング体制を整える
6. 加害者に対するカウンセリングなど、再発防止に向けた取り組みを進める
7. 男女の人権尊重について、学校や職場において啓発をする
8. その他(具体的に_____)



教えてサルビー！

「緊急一時保護施設(シェルター)」

ドメスティック・バイオレンス被害女性とその家族を、一時保護する施設のことだよ。

①男性と女性の立場やあり方に関する意識についておたずねします。

問28 次にあげる項目において、男性と女性の立場やあり方はどのようなだと思いますか。それぞれの項目について、あなたの考えにもっとも近いものをお答えください。【○は1つ】

	男性の方が 優遇されている	どちらかといえば 男性の方が優遇され ている	男女平等である	どちらかといえば 女性の方が優遇され ている	女性の方が 優遇されている	わからない
家庭生活で	1	2	3	4	5	6
地域活動や地域社会で	1	2	3	4	5	6
学校教育の場で	1	2	3	4	5	6
職場で	1	2	3	4	5	6
社会通念・慣習・しきたりなどで	1	2	3	4	5	6
法律や制度の上で	1	2	3	4	5	6
政治の場で	1	2	3	4	5	6

⑧市の施策への女性意見の反映についておたずねします。

問29 あなたは、社会問題や市政について関心がありますか。【〇は1つ】

- | | |
|----------|-----------|
| 1. ある | 2. まあまあある |
| 3. あまりない | 4. 全くない |

問30 市の施策に女性の意見や考え方が反映されていると思いますか。【〇は1つ】

- | | | |
|-------------------|---|---------|
| 1. 十分反映されている | } | ⇒問31へ |
| 2. ある程度反映されている | | |
| 3. あまり反映されていない | } | ⇒問30-1へ |
| 4. ほとんど反映されていない | | |
| 5. わからない | } | ⇒問31へ |
| 6. その他（具体的に_____） | | |

問30で「3」か「4」と答えた方におたずねします。

問30-1 市の施策に女性の意見や考え方が反映されていないと思われる理由は何ですか。【〇は1つ】

1. 市議会や行政などの政策方針決定の場に女性が少ないから
2. 女性の意見や考え方に対して、行政側の関心が薄いから
3. 女性からの働きかけが十分でないから
4. 女性の意見や考え方が期待されていないから
5. 女性自身の関心や意識が薄いから
6. わからない
7. その他（具体的に_____）

⑨男女共同参画に関する考え方についておたずねします。

問31 男女共同参画は、私たち一人ひとりの身近な課題です。あなたなら、どんなことができると思いますか。【〇は1つ】

1. 家庭では、家族みんなで家事・育児などの分担をする
2. 「男らしく、女らしく」ではなく「その子らしく」子育てをする
3. 学校では、PTAや保護者会で男女平等について取り組む
4. 職場で男女平等意識を浸透させる
5. 地域（町内会など）では、古い慣習を見直し、男女が平等に活動に参画するよう取り組む
6. 男女共同参画について学ぶ
7. 市の事業に参加して理解を深める
8. その他（具体的に_____）

問32 男女共同参画に関する安城市の取り組みに関するご意見等、ご自由にお書きください。

アンケートは以上で終わりです。

長時間にわたりご協力いただき、ありがとうございました。

最後に記入漏れや回答間違いがないか、もう一度ご確認をお願いいたします。

集計結果は、男女共同参画の基礎資料として

大切に、有効に活用させていただきます。

